

北海道立帯広美術館年報
令和元年－2年度

目 次

目次	3
展覧会事業	
コレクション・ギャラリー一覧	5
新収蔵品展	6
パリを彩る	7
絵画は躍る?!	8
コレクション・セレクション～写真～	9
季節のおもかげ	10
道東プリントアートの地平	11
旅立ち—作家たちの青春	12
イマジネーション—日常の彼方に	13
特別展一覧	14
球体のパレット	16
チームラボ	
学ぶ！未来の遊園地と、花と共に生きる動物達	21
北斎展	24
居串佳一とオホーツクの画家たち	31
アートの翼ひろげて	36
中島潔 “今” を生きる	41
蜷川実花展	47
池田 緑 展	51
ロビー展示	
大樹町酪農アーティスト展	57
洞内由紀子展	58
教育普及事業	
美術講演会／アーティスト・トーク等	60
特別展セミナー	61
ギャラリー・ツアー	62
トーク＆ワーク／トーク＆レクチャー	63
ミュージアム・ミステリー	64
キッズ・ツアー	65
キッズ・ミュージアム	66
ワークショップ等	67
映写室	68
コンサート	69
芸術週間	70
おびひろ氷まつり協賛事業／冬の美術館フェスタ	71
団体オリエンテーション	73
セルフガイド（クイズ）	74
教員研修プログラム	75
出張アート教室	76
学校教育との連携	77
他団体との連携	78
その他	79
美術作品の収集	
令和元年度作品収集状況	80
受贈・保管	80
令和２年度作品収集状況	81
受贈	81
図版目録	82
美術作品の貸出	88
特別観覧	89
貸館事業	89
名簿	89
館内案内図	91
建築概要	91
設備概要	92
沿革	93
観覧者数一覧	94

コレクション・ギャラリー一覧

令和元年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	備 考
1	新収蔵品展	4 月16日(火)～ 6 月19日(水)	57	
2	パリを彩る ーメディア・アートとしてのポスター	7 月 6 日(土)～ 9 月 1 日(日)	51	
3	絵画は躍る?!	9 月14日(土)～11月24日(日)	63	
4	コレクション・セレクション～写真～	12月14日(土)～ 3 月15日(日)	75	2 月29日～ 3 月15日臨時休館

令和2年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	備 考
1	季節のおもかげ	4月25日(土)～6月24日(水)	52	4月1日～4月12日臨時開館 (4月6日を除く) 4月25日～5月24日臨時休館
2	道東プリントアートの地平	7月4日(土)～9月6日(日)	56	
3	旅立ち－作家たちの青春	9月19日(土)～12月6日(日)	69	
4	イマジネーション－日常の彼方に	12月19日(土)～3月21日(日)	74	

新収蔵品展

会期＝平成31年 4月16日(火)－6月19日(水) 57日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日、こどもの日(5月5日)が無料
()内は10名以上の団体の割引料金

平成30年度に新たに加わった10作品を展覧した。それらは、ポップ・アートを代表するロイ・リクテンスタインの大作版画や、道東の抽象絵画を牽引した寺島春雄の絶筆と言われる油彩。また、社会に鋭く切り込む作品を発表し続ける郭徳俊の版画や、平成30年度に当館で展覧会を開催した音更在住の木彫作家・岡沼淳一の抽象彫刻も加わった。また、以前より寄託を受けていた近藤みどりの油彩と戸張良彦の写真が、改めて収蔵の運びとなった。

本展では新収蔵の10作品に加え、これらの作家の他作品も併せて展示し、新収蔵作品を多面的に紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	寺島春雄	屠殺場	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	72.8×56.0
2	寺島春雄	赤の原野	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	131.3×194.3
3	寺島春雄	無題	1965 (昭和40)	油彩、キャンバス	100.0×72.5
4	寺島春雄	一輪のバラ	1965 (昭和40)	油彩、キャンバス	40.7×31.7
5	近藤みどり	慰する旅人 I	2004 (平成16)	油彩、キャンバス	182.0×227.5
6	ロイ・リクテンスタイン	睡蓮と雲	1992	シルクスクリーン、ステンレス	167.6×114.3
7	ロイ・リクテンスタイン	青い床の室内が描かれた壁紙	1992	シルクスクリーン、紙	259.0×387.5
8	郭 徳俊	WEIGHT-SCALE EVENT 811	1981 (昭和56)	シルクスクリーン、鉛筆、方眼紙	75.5×53.5
9	郭 徳俊	WEIGHT-SCALE EVENT 812	1981 (昭和56)	シルクスクリーン、鉛筆、方眼紙	75.5×53.5
10	郭 徳俊	WEIGHT-SCALE EVENT 813	1981 (昭和56)	シルクスクリーン、鉛筆、方眼紙	75.5×53.5
11	郭 徳俊	クリントンと郭	1993 (平成5) 刷り：不明	シルクスクリーン、紙	54.3×41.2
12	郭 徳俊	クリントンIIと郭	1997 (平成9) 刷り：1997(平成9)	シルクスクリーン、紙	51.5×37.3
13	戸張良彦	143. 270480, 42. 762508 273°	2010 (平成22)	デジタル C プリント	100.0×150.0
14	戸張良彦	143. 121065, 43. 567846 96°	2013 (平成25)	デジタル C プリント	100.0×150.0
15	戸張良彦	143. 618034, 42. 699446 107°	2015 (平成27)	デジタル C プリント	100.0×150.0
16	岡沼淳一	far away	1992 (平成4)	埋もれ木 (ニレ)	48.5×18.5×44.0
17	岡沼淳一	雨のち晴れ	2017 (平成29)	埋もれ木 (ニレ)	49.0×22.0×265.0
18	岡沼淳一	WINTER	1996 (平成8)	埋もれ木 (ニレ)	173.5×11.5×245.0

* 寸法は、平面作品は縦×横、立体作品は幅×奥行×高さ。

* 作品は全て北海道立帯広美術館蔵 (nos. 13, 14は作者寄託)。

パリを彩る —メディア・アートとしてのポスター—

会期＝令和元年7月6日(土)－9月1日(日) 51日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日が無料

道みんの日(7月17日)はすべての方が無料

()内は10名以上の団体の割引料金

20世紀初頭、近代的な市民生活を実現させたパリでは、ありとあらゆるものを宣伝するポスターが、街の壁を埋め尽くした。産業化が進み、自動車も行き交うようになるこの時代、一目でその意味を把握でき、かつ人々の印象に強く残る広告が求められるようになる。それを叶えたのが、レオネット・カピエロであった。彼は暗い背景に広告内容を印象づけるイラストを描き、一目見ただけで理解しやすい、簡潔なデザインのポスターを生み出し、一世を風靡した。

また、続く1920年代、カピエロの影響を受けたカッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)、ポール・コラン、ジャン・カルリュ、シャルル・ルポーらは、直線や曲線を巧みに使い分け、明快で力強いデザインを生み出している。

本展では、20世紀初頭から1930年代にかけて制作されたフランスのポスターを紹介するとともに、そのメディアとしての役割や芸術性に焦点を当てた。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	レオネット・カピエロ	食前酒「モーラン・キナ」	1906	リトグラフ、紙	150.3×110.5
2	レオネット・カピエロ	甘草入りドロップ「カシュ・ラジョーニー」	1920	リトグラフ、紙	144.0×92.0
3	レオネット・カピエロ	速乾ペンキ「ニトロリアン」	1929	リトグラフ、紙	152.4×112.8
4	レオネット・カピエロ	新聞「ル・プティ・ドーフィノワ」	1933	リトグラフ、紙	109.6×152.9
5	不詳	シトロエンの在庫	1923	リトグラフ、紙	156.0×116.0
6	フレデリコ・リバス・モンテネグロ	マルケス・デル・メリト、ワインとコニャック	1920	リトグラフ、紙	152.0×109.0
7	オガロ (マリウス・ロシヨン)	自転車タイヤ「ミシュラン」	1920頃	リトグラフ、紙	100.0×76.0
8	ポール・コラン	ジョセフィン・ペイカー	1925	リトグラフ、紙	80.0×60.0
9	ポール・コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
10	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	北方急行―フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.9×75.0
11	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	フランス北部鉄道	1929	リトグラフ、紙	100.0×62.3
12	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	ノルマンディー号―トランザトランティック総合会社	1935	リトグラフ、紙	96.7×58.4
13	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	ジャンシアヌス＝キナ酒「ボナル」	1933	リトグラフ、紙	154.2×114.5
14	ジョルジュ・フェーヴル	ビール「ティタン」	1933	リトグラフ、紙	150.0×113.5
15	ジョルジュ・フェーヴル	自転車「ディレクタ」	1930	リトグラフ、紙	110.5×74.2
16	シャルル・ルポー、ジャン・カルリュ	石鹸「モンサヴォン」	1936	リトグラフ、紙	64.8×46.0
17	ロベール・ファルキュッチ	服地「ベリー」	1936	リトグラフ、紙	156.2×116.5
18	エティエンヌ・ベネール	アールウ	1937頃	リトグラフ、紙	126.0×90.0
19	不詳	「ムニエ・チョコレート」	1929	リトグラフ、紙	112.4×72.5
20	ドナルド・ブラン	パータ	1940頃	リトグラフ、紙	127.4×91.0

* 寸法は縦×横。

* 作品は全て北海道立帯広美術館蔵

絵画は躍る?!

会期＝令和元年 9 月14日(土)－11月24日(日) 63日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日が無料

開館記念日(9月23日)、芸術週間(11月1日～7日)は、
すべての方が無料

()内は10名以上の団体の割引料金

関連事業

ミュージアム・ミステリー2019オクターム

「アートなカルタをつくろう!あそぼう!」

日時＝9月28日(土) 午前10時～12時

会場＝当館コレクション・ギャラリー、
講堂(小学生参加無料、応募制、定員10名)

静止している絵画の中に表現された躍動感、作品に生き活
きとした魅力を与える。生命力あるモチーフの描写、スピード
感を演出する巧みな構図、作者の手の動きを感じさせる筆致な
どは、鑑賞する私たちの心まで躍らせてくれることであろう。

本展では、当館のコレクションのなかから、まるで今にも動
き出しそうな躍動感あふれる作品を紹介する内容で構成。油彩
画、日本画、版画、ポスターなどに描き出されたダイナミック
な表現のみられる作品12点を展示した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	ジュール・シュレ	ミュージック・ホール「エルドラド」	1894	リトグラフ、紙	55.8×37.3
2	ジュール・シュレ	グレヴァン博物館(文字刷り前のポスター)	1900	リトグラフ、紙	116.5×84.5
3	ウジェーヌ・オジェ	自動印刷機「シクロスティル」	1900頃	リトグラフ、紙	139.0×100.0
4	薮 嘯	オープニング或いは再び田園	1992(平成4)	シルクスクリーン、紙	各105.0×157.0(2点組)
5	福井正治	野の鳥	1988(昭和63)	油彩、キャンバス	162.1×112.1
6	不詳	自動車「ベルリエ」	1926	リトグラフ、紙	138.0×95.0
7	六郎田天鈴	春曉崇座献「エベレスト鈴湖生誕寿舞曲」	1988(昭和63)	紙本彩色	180.0×510.0
8	小谷博貞	シルバー・シャワー	1986(昭和61)	シルクスクリーン、紙	46.6×33.5
9	八重柏冬雷	花鳥風月～寂韻の響き～	2012(平成24)	墨、白抜き剤、和紙	各180.0×90.0(4点組)
10	檜原武正	冬の街(E)	1979(昭和54)	油彩、キャンバス	96.5×130.0
11	矢柳 剛	宇宙と人間D	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	161.7×112.1
12	森 健二	光年の導「道」	1983(昭和58)	油彩、キャンバス	130.0×162.0

* 寸法は縦×横。

* 作品は全て北海道立帯広美術館蔵。

コレクション・セクション～写真～

会期＝令和元年12月14日(土)－令和2年3月15日(日)
75日間

＊2月29日(土)－3月15日(日)臨時休館

主催＝北海道立帯広美術館

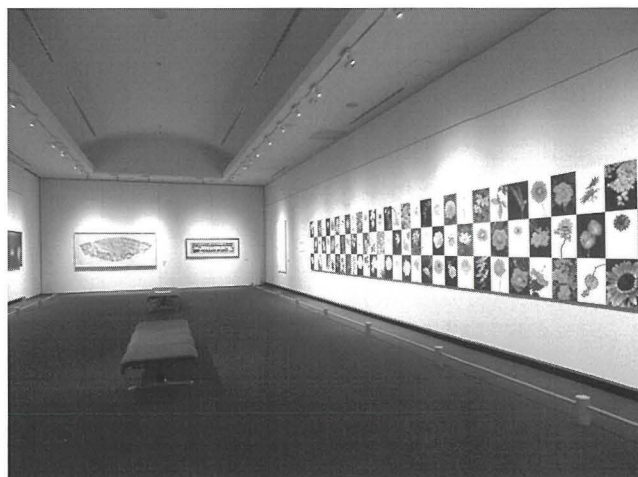
観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日が無料

()内は10名以上の団体の割引料金

写真は、現代の私たちにとって非常に身近な存在と言える。携帯電話の普及に伴い、スマートフォンで写真を撮ることが日常的になっている。本展覧会では約850点にのぼる当館所蔵作品の中から、写真を用いた作品を紹介した。花という身近な存在をクローズアップして取り上げた作品や、複数の写真を組み合わせる複層的な空間を作り出した作品。あるいは画像をパソコンで加工した作品や、自然の中に素材を絶妙に配置して撮影した作品。いずれも写真という技術を用いながら、普段目にする世界から一步踏み込みあるいは遊離して、現実を捉え直し創造しようというものである。これらの作品を通じて、写真を用いた美術作品の広がりを楽しんでいただいた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月29日(土)から臨時休館となり閉幕を迎えた。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	岡本和行	Flower Garden	2009 (平成21)	インクジェットプリント、紙	各42.9×29.7 (99点組)
2	岡本和行	Bourgogne	2009 (平成21)	インクジェットプリント、紙	165.0×106.0
3	デイヴィッド・ホックニー	京都 1993年4月24日	1993	カラー・レーザー・プリント、紙	43.2×160.2
4	デイヴィッド・ホックニー	グランド・キャニオンの北側を見る 1982年9月	1982	フォト・コラージュ (写真、印画紙)	114.0×252.7
5	奥野稔和	96V-0505X	1996 (平成8)	インクジェットプリント、ポリフィルム	89.0×149.0
6	奥野稔和	94D-Museum-N-2	1994 (平成6)	タイプCプリント	119.5×137.0
7	奥野稔和	94V-0202X	1994 (平成6)	タイプCプリント	100.0×185.0
8	ニルス＝ウド	ロードデンドロンの葉、松葉／フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖、1987年	1987	イルフォクローム	99.9×99.7
9	ニルス＝ウド	氷面、シダの葉／フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖、1987年	1987	イルフォクローム	99.8×99.8
10	ニルス＝ウド	マロニエの葉／フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ、1985年	1985	イルフォクローム	74.3×74.4

* 寸法は縦×横。

* 作品は全て北海道立帯広美術館蔵。

季節のおもかげ

会期＝令和 2 年 4 月25日(土)－6 月24日(水) 52日間
＊ 4 月 1 日(水)－4 月12日(日)臨時開館、
4 月25日(土)－5 月24日(日)臨時休館
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円
中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料
高校生は、毎週土曜日とこどもの日(5 月 5 日)が無料
()内は10名以上の団体の割引料金

季節によって様々に変化する北海道の風景は、多くの作家達によって表現されてきた。四季の風景を主題とした作品は、作家によって異なる季節感の表し方を伝えるものである。
本展では、所蔵品の中から主に北海道出身の作家たちによる北海道の四季の風景を描いた油彩画、日本画、ポスターなどを紹介した。栗谷川健一や能勢眞美、手島圭三郎をはじめとした主な所蔵作家の作品や帯広、道東ゆかりの画家の作品で展示を構成した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	竹山義雄	早春山野	1978 (昭和53)	油彩、キャンバス	130.6×162.0
2	小林満枝	叢原	1985 (昭和60)	紙本彩色	112.0×145.4
3	栗谷川健一	緑に歌う	1960 (昭和35)	オフセット、紙	103.3×73.2
4	栗谷川健一	サイロの夏	1956 (昭和31)	オフセット、紙	105.5×74.4
5	栗谷川健一	風車	1959 (昭和34)	オフセット、紙	103.1×72.8
6	高坂和子	晩夏のレクイエム	1980 (昭和55)	油彩、キャンバス	130.7×162.1
7	羽生 輝	晩照 (悠々釧路湿原)	2014 (平成26)	岩絵具、板	181.5×227.1
8	手島圭三郎	しまふくろうとやどり木	1988 (昭和63)	木版、紙	53.0×75.0
9	伊藤隆二	初秋	1935 (昭和10)	油彩、キャンバス	80.7×116.8
10	長尾栄三	晩秋の高原	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	130.3×161.8
11	望月正男	暮雪	1956 (昭和31)	油彩、キャンバス	97.2×145.7
12	能勢眞美	池畔雪景	1933 (昭和 8)	油彩、キャンバス	130.5×162.3
13	能勢眞美	春近き日	1960 (昭和35)	油彩、キャンバス	65.0×100.0

＊ 寸法は縦×横。
＊ 作品は全て北海道立帯広美術館蔵 (Nos. 1, 9は帯広市寄託)。

道東プリントアートの地平

会期＝令和2年7月4日(土)－9月6日(日) 56日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日が無料

道民の日(7月17日)はすべての方が無料

()内は10名以上の団体の割引料金

関連事業

ミュージアム・ミステリー2020サマー

「美術館で見つけよう！アートな動物」

日時＝7月25日(土) 午前10時～12時

会場＝当館コレクションギャラリー、

講堂(小学生参加無料、応募制、定員10名)



会場風景

十勝を中心とした道東地域では、多くの版画家を輩出している。本展では、当館のコレクションの中から道東ゆかりの美術家が手がけた多彩なプリントアートの作品を展示した。帯広出身の版画家・渋谷栄一と画家、版画家・矢柳剛、帯広在住の版画家・中谷有逸、紋別出身の木版画家・手島圭三郎、本別出身の銅版画家・多賀新の作品に加えて、2019年度に収蔵した根室出身の銅版画家・池田良二の作品を紹介した。

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	矢柳 剛	愛の動物誌 (A)	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	40.5×72.5
2	矢柳 剛	子供の夢	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙	26.8×89.8
3	矢柳 剛	海の彼方の影	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙	57.4×89.5
4	手島圭三郎	ふくろうと少女	1972 (昭和47)	木版、紙	75.0×53.0
5	手島圭三郎	しまふくろうの夢・古木	1982 (昭和57)	木版、紙	53.0×75.0
6	手島圭三郎	しまふくろう・なく	1990 (平成2)	木版、紙	53.0×75.0
7	多賀 新	飛来	1977 (昭和52)	エッチング、アクアチント、紙	48.0×36.5
8	多賀 新	太古の夢 (ユニコーン)	1993 (平成5)	エッチング、アクアチント、紙	36.5×23.1
9	多賀 新	The Lovers	1981 (昭和56)	エッチング、アクアチント、紙	26.2×21.5
10	池田良二	The depth of the desert (砂漠の深淵)	2007 (平成19)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、ベラン・アルシュ紙に雁皮刷り	70.0×56.8
11	池田良二	Ochiishi Nemuro and the North Saskatchewan River II	1994 (平成6)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ベラン・アルシュ紙に雁皮刷り	91.0×55.0
12	池田良二	Afternoon at the ebb (退潮する午後)	1992 (平成4)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、ベラン・アルシュ紙に雁皮刷り	57.0×57.0
13	渋谷栄一	ある女	1968 (昭和43)	エッチング、シュガーアクアチント、紙	60.0×36.5
14	渋谷栄一	Animal A	1986 (昭和61)	シュガーアクアチント、エッチング、コラージュ、紙	41.5×77.7
15	渋谷栄一	5-B	1993 (平成5)	カラーコピー、紙	27.7×135.8
16	中谷有逸	鳥の碑 (地)	1963 (昭和38)	木版、紙	79.0×54.7
17	中谷有逸	鳥のいる風景	1970 (昭和45)	凹凸併用版、シルクスクリーン、謄写版、紙	69.0×48.8
18	中谷有逸	碑 (アナトリアの人)	1990 (平成2)	凹凸併用版、紙	41.0×57.0

* 寸法は縦×横。

* 作品は全て北海道立帯広美術館蔵。

旅立ち—作家たちの青春

会期＝令和 2 年 9 月19日(土)－12月 6 日(日) 69日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円
中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料
高校生は毎週土曜日が無料
開館記念日(9月23日)、芸術週間(11月1日～7日)は、
すべての方が無料
()内は10名以上の団体の割引料金

作家たちの画業の出発点にあたる時期に制作された作品からは、自身の技術や表現を確立するための様々な試行錯誤の跡をみることができる。後年に主題や表現を大きく変えた作家たちがいる一方で、画業の初期に生涯の作風を確立させた作家も見受けられる。
本展は帯広美術館のコレクションの中から、20代を中心に所蔵作家の画業の初期に制作された作品を紹介し、若き日の作家たちの模索と意気込みが残された25点を展示した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	伊藤隆二	曇り日	1932 (昭和7)	油彩、キャンバス	53.1×72.9
2	中谷有逸	鳥の碑 (白)	1963 (昭和38)	木版、紙	79.2×54.7
3	中谷有逸	鳥の碑 (弧)	1964 (昭和39)	木版、紙	78.8×55.0
4	井田照一	tie up	1963 (昭和38)	リトグラフ、紙	47.0×58.0
5	井田照一	Summer No.2	1967 (昭和42)	リトグラフ、紙	52.4×66.4
6	北岡文雄	祖国への旅—出発	1947 (昭和22)	木版、紙	11.0×13.0
7	北岡文雄	祖国への旅—母と子	1947 (昭和22)	木版、紙	17.5×13.0
8	北岡文雄	祖国への旅—雨の日	1947 (昭和22)	木版、紙	10.8×12.9
9	北岡文雄	祖国への旅—船艀	1947 (昭和22)	木版、紙	13.9×18.5
10	矢柳 剛	原始時代	1958 (昭和33)	油彩、水彩、クレヨン、紙	64.9×50.0
11	矢柳 剛	心の太陽	1962 (昭和37)	油彩、水彩、クレヨン、紙	65.2×50.2
12	矢柳 剛	ブラジルの叫び	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	196.6×119.5
13	おおと ひでお	太陽をとる王様	1965 (昭和40)	油彩、紙、板	160.9×120.9
14	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60
15	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ヴィクトル・ジョゼ著「ドイツのバビロン」	1894	リトグラフ、紙	122×86.7
16	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	北極星号—フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.9×75.0
17	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	北方急行—フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.7×75.4
18	里見宗次	コート・ダジュール	1934	リトグラフ、紙	98.7×62.4
19	多賀 新	傍観者 (自画像)	1974 (昭和49)	エッチング、アクアチント、紙	24.0×21.3
20	多賀 新	女と止揚	1974 (昭和49)	エッチング、アクアチント、メゾチント、紙	42.0×36.5
21	多賀 新	合体図	1976 (昭和51)	エッチング、紙	48.0×36.5
22	レンブラント・ファン・レイン	羊飼いに現われた天使	1634	エッチング、紙	25.2×21.5
23	ジュール・デュブレ	ソローニュの風車	1835	リトグラフ、紙	19.6×14.0
24	ジュール・デュブレ	ノルマンディー地方の風景	1835	リトグラフ、紙	13.7×20.7
25	ジュール・デュブレ	イギリス風景	1836	リトグラフ、紙	12.9×20.7

* 寸法は縦×横。
* 作品は全て北海道立帯広美術館蔵 (No.1は帯広市寄託)。

イマジネーションー日常の彼方に

会期＝令和2年12月19日(土)－令和3年3月21日(日)
74日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日が無料

()内は10名以上の団体の割引料金

現代作家による幻想的な油彩画、版画、写真を用いたプリントアート、日本画を紹介した。日常生活を送る中で目にするものをモチーフとしていながら、描く対象の組み合わせ方や表現技法によって、鑑賞者の想像をかき立てるような作品を中心に選んだ。2019年度新収蔵作品である小笠原洋子《漂う船》(2003年)を展示した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	奥野稔和	96V-0505X	1996 (平成8)	インクジェットプリント、ポリフィルム	89.0×149.0
2	大浦一志	杉並区阿佐ヶ谷南3丁目23-13 〰 普賢岳 (川は水を必要としていた)	1994 (平成6)	ミクストメディア (土、石、灰、木、合成樹脂、印画紙)	169.0×225.0
3	小谷博貞	海霧	1996 (平成8)	シルクスクリーン、紙	43.4×28.3
4	小谷博貞	シルバー・シャワー	1986 (昭和61)	シルクスクリーン、紙	46.6×33.5
5	出店久夫	地と母子像	2010-2011 (平成22-23)	ゼラチンシルバープリント、着彩、パネル	182.0×182.0
6	浅川 茂	重い風景	1988 (昭和63)	油彩、板	162.5×183.0
7	小笠原洋子	漂う船	2003 (平成15)	油彩、石粉、パーライト、板	194.0×162.0
8	近藤みどり	慰する旅人 I	2004 (平成16)	油彩、キャンバス	182.0×227.5
9	松樹路人	コタン・クル・カムイの詩	1988 (昭和63)	油彩、キャンバス	181.8×227.3
10	市成太煌	鴉の詩 3	1978 (昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
11	小林敬生	陽はまた昇る 一緑の星・08D-	2008 (平成20)	木口木版、紙	100.0×257.5
12	森 健二	光年の導へ「心象」	2012 (平成24)	油彩、キャンバス	112.0×145.6

* 寸法は縦×横。

* 作品は全て北海道立帯広美術館蔵。

特別展一覧

令和元年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主催・後援ほか	備 考
1	タグチ・アートコレクション 球体のパレット	4月16日(火)～ 6月19日(水)	57	主催／北海道立帯広美術館 協賛／帯広信用金庫、北海道クリーン・システム株式会社 企画協力／株式会社タグチプロジェクト、アート・オフィス・シオバラ	
2	チームラボ 学ぶ！未来の遊園地と、 花と共に生きる動物達	7月6日(土)～ 9月1日(日)	51	主催／北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、チームラボ 学ぶ！未来の遊園地帯広実行委員会 協力／キレイキレイ、エフエムおびひろ、帯広シティーケーブル 後援／帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町、十勝町村会、帯広商工会議所、札幌テレビ放送、北海道テレビ放送、北海道放送 協賛／株式会社エフリード、王子製紙株式会社、マテックグループ、宮坂建設工業株式会社、よつ葉乳業株式会社、株式会社ロゴスホーム、NTTタウンページ株式会社、帯広信用金庫、クランベリー、JT北海道支社、聖教新聞社、有限会社高橋商事 タイヤワールド館 BEST帯広店、株式会社ダイイチ、株式会社東京機械製作所、株式会社東京ニュース通信社、日本製紙株式会社、日本電気株式会社、日本甜菜製糖株式会社、ノベルズグループ、橋本総業株式会社、東北海道ヤナセ株式会社 メルセデス・ベンツ帯広、古河電気工業株式会社、北洋銀行、北海道コカ・コーラボトリング株式会社	
3	北斎展 師と弟子たち	9月14日(土)～ 11月24日(日)	63	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、北海道新聞社、北斎展実行委員会 協力／帯広美術館振興会 後援／NHK 帯広放送局 監修／中右 瑛 (国際浮世絵学会常任理事) 企画協力／ステップ・イースト	
4	網走市立美術館コレクション選 居串佳一とオホーツクの画家たち	12月14日(土)～ 3月15日(日)	75	主催／北海道立帯広美術館 協力／網走市立美術館、帯広美術館振興会 後援／NHK 帯広放送局	2月29日～ 3月15日 臨時休館

令和2年度

No.	展覧会名	会期	開催日数	主催・後援ほか	備考
1	道立釧路芸術館・釧路市立美術館・ 道立帯広美術館 コレクション選 アートの翼ひろげて	4月25日(土) ～ 6月24日(水)	52	主催／北海道立帯広美術館 後援／NHK 帯広放送局 協賛／帯広信用金庫、北海道クリーン・シス テム株式会社	4月25日～ 5月24日 臨時休館
2	中島潔 “今” を生きる —そして伝えたいこと	7月4日(土) ～ 9月6日(日)	56	主催／北海道立帯広美術館 特別協力／大椿山六道珍皇寺 企画協力／有限会社アトリエ・ウメ、株式会 社アートカフェ 協賛／株式会社ズコーシャ、株式会社北洋防 災工業所、北海道クリーン・システム 株式会社	
3	蜷川実花展 —虚構と現実の間に—	9月19日(土) ～ 12月6日(日)	69	主催／北海道立帯広美術館・帯広市・帯広市 教育委員会・十勝毎日新聞社・NPO 十勝文化会議、蜷川実花展帯広実行委 員会、読売新聞社、美術館連絡協議会 協力／富士フイルムイメージングシステムズ、 東京リスマチック、フレームマン、東 京スタジオ 特別協力／STV 札幌テレビ放送 企画協力／ラッキースター、小山登美夫ギャ ラリー 企画プロデュース／後藤繁雄+G/P gallery 協賛／株式会社エフリード、クレオユニオン 株式会社、損保ジャパン、株式会社第一 飼料、大日本印刷、有限会社高橋商 事 タイヤワールド館 BEST 帯広店、 税理士法人 竹川会計事務所、中井会 計事務所、株式会社 日本 HP、ブラ イダルプラザ衣舞、北洋銀行、北海道 コカ・コーラボトリング株式会社、北 海道拓殖バス株式会社、マテックグルー プ、宮坂建設工業株式会社、よつ葉乳 業株式会社、ライオン、株式会社ロゴ スホーム、株式会社ワイドバンドコン ピュータ	
4	池田 緑 展	12月19日(土) ～ 3月21日(日)	74	主催／北海道立帯広美術館 特別協賛／平原社美術協会 協賛／FLOWMOTION cafe and gallery	

タグチ・アートコレクション 球体のパレット

会期＝平成31年 4月16日(火)－令和元年 6月19日(水)

57日間

主催＝北海道立帯広美術館

協賛＝帯広信用金庫、北海道クリーン・システム株式会社

企画協力＝株式会社タグチプロジェクト、アート・オフィス・シオバラ

観覧料＝一般900(700)円、高大生600(400)円、中学生以下は無料
高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

()は10名以上の団体、前売り、リピーター、相互割引料金

関連事業

スペシャル・トーク

講師＝田口美和氏 (タグチ・アートコレクション)

塩原将志氏 (有限会社アート・オフィス・シオバラ代表)

日時＝6月8日(土) 午後2時～(約90分)

会場＝当館講堂(聴講無料)

ぶっちゃけギャラリー・トーク

講師＝田口美和氏 (タグチ・アートコレクション)

塩原将志氏 (有限会社アート・オフィス・シオバラ代表)

日時＝6月8日(土) スペシャル・トーク終了後～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ギャラリー・ツアー

日時＝4月27日(土)、5月25日(土) 午後2時～(約40分)

案内＝野田佳奈子(当館学芸員)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ツアー

日時＝5月11日(土) 午後2時～(約30分)

案内＝野田佳奈子(当館学芸員)

会場＝当館主展示室(要観覧券、中学生以下無料)

キッズ・ミュージアム「ちょうちょヒラヒラ とぶかな？」

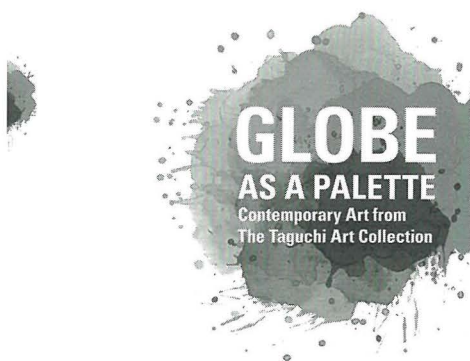
日時＝6月15日(土) 午後1時30分～3時30分(受付は午後3時まで)

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」



ポスター



図録

規格=25.0×18.0cm／総頁数128ページ

構成=ごあいさつ／ご挨拶／田口美和「北海道巡回展に寄せて」
／天野太郎「美術におけるコレクションとは」／岩崎直人
『球体のパレット』にみる多文化と現代美術／作品図版／作家作品解説／掲載図版リスト

関連記事

大庭イサク「とかちフォトギャラリー 世界の現代美術凝縮」
北海道新聞（帯広・十勝版）／5月9日（休）

野田佳奈子「おびひろミュージアム通信 世界の現代アート展示」
釧路新聞／5月13日（月）

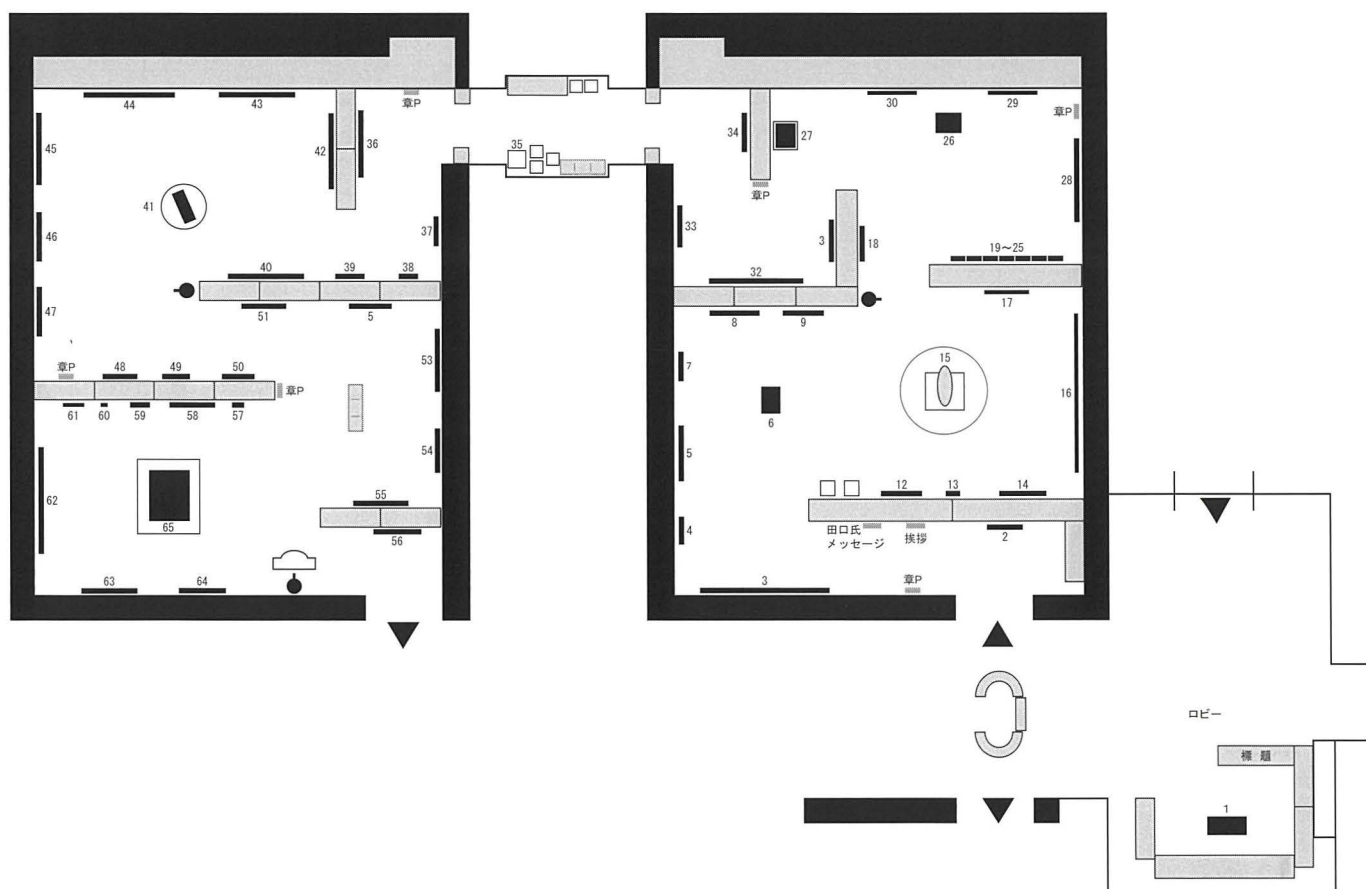
野田佳奈子「球体のパレット 作品紹介①～⑤」十勝毎日新聞
／5月18日（土）、20日（月）、22日（水）、27日（月）、28日（火）

池田緑「編集余録 球体のパレット」十勝毎日新聞／5月29日（水）

多種多様な人々が暮らすこの地球。住む場所や民族がたとえ同じであっても、その考え方や文化はそれぞれ異なる。それでも人々は互いを認め合い、尊重し、しかしそれ故にいがみ合うこともある。人々が隣り合い混じり合う様を絵の具のパレットに見立てると、現代美術は、この地球という“球体のパレット”から色をすくい取って表現することと言い換えられるだろう。

世界で繰り広げられる多様なアートを収集したのが「タグチ・アートコレクション」。本コレクションは、日本の実業家・田口弘氏と、その長女・美和氏が親子二代にわたって築き上げ、アジア、アメリカ、中東、アフリカ、ヨーロッパ各国のアーティストによる作品から構成されており、所蔵作品数は480点を超える。

その中から65点を厳選した本展は、世界中の現代美術がひとところに凝縮した展覧会となった。独創的で機知とユーモアに富む作品を通じ、現代美術に親しんでいただける機会となった。来場者数は4,198名。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
■日本					
1	川俣正	Iwamizawa project model-1	2016	木製の模型、絵具	60.0×97.0×35.0
2	草間彌生	INFINITY-NETS THROW	2008	アクリル、キャンヴァス	162.0×130.3
3	浅井裕介	あるくであう	2016	板に土、アクリルレジン、ペンキ、アクリル	235.0×490.0×2.0
4	奈良美智	サイレント・ヴァイオレンス	1996	アクリル、綿キャンヴァス	120.0×110.5
5	奈良美智	コズミック	2007	アクリル、キャンヴァス	291.0×218.5
6	奈良美智	ANYMORE FOR ANYMORE	2010	セラミック	71.5×54.0×99.0
7	村上隆	黄色い麦藁帽子の女の子	2010	アクリル、プラチナ箔、キャンヴァス、アルミフレーム	120.0×120.0
8	森村泰昌	セルフポートレイト (女優) ／ビビアン・リーとしての私-1	1996	クロモジェニック・プリント	160.0×200.0
9	森村泰昌	セルフポートレイト (女優) ／バルドーとしての私-2	1996	クロモジェニック・プリント	200.0×160.0
10	照屋勇賢	告知ー森 (ティファニー)	2009	紙袋、接着剤	10.0×20.5×21.5
11	照屋勇賢	告知ー森 (ラルフローレン)	2009	紙袋、接着剤	10.0×33.0×27.0
12	丸山直文	リバー I	2003	アクリル、綿キャンヴァス	130.0×162.0
13	杉戸洋	Untitled	2016	油彩、キャンヴァス	52.5×65.0
14	大庭大介	UROBOROS (spectrum)	2009	アクリル、綿キャンヴァス、木製パネル	180.0×180.0
15	名和晃平	PixCell-Deer #51	2018	ミクストメディア	219.7×189.0×150.0
16	鴻池朋子	第2章 巨人	2005	アクリル、墨、雲肌麻紙、木製パネル	220.0×630.0
17	大竹伸朗	網膜／境界景 4	1990／2015	クロモジェニック・プリント、樹脂、木製パネル	230.5×176.5×10.5
18	杉本博司	Sea of Japan, Hokkaido	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	119.4×149.2
19	鈴木ヒラク	GENZO #84	2015	シルバースプレー、シルバーインク、紙	77.0×55.0
20	鈴木ヒラク	GENZO #29	2014	シルバースプレー、シルバーインク、紙	77.0×55.0
21	鈴木ヒラク	GENZO #8	2014	シルバースプレー、シルバーインク、紙	77.0×55.0
22	鈴木ヒラク	GENZO #4	2014	シルバースプレー、シルバーインク、紙	77.0×55.0
23	鈴木ヒラク	GENZO #28	2014	シルバースプレー、シルバーインク、紙	77.0×55.0
24	鈴木ヒラク	GENZO #2	2014	シルバースプレー、シルバーインク、紙	77.0×55.0
25	鈴木ヒラク	GENZO #1	2014	シルバースプレー、シルバーインク、紙	77.0×55.0
26	オノ・ヨーコ	信頼して駒を進めよ	1966／2015	木製チェス台、2脚の木製椅子、32ピースのチェス (すべて白塗装)	サイズ可変
27	塩田千春	存在の状態——ドレス	2013	鉄棒、糸、衣服、アクリル塗料	150.0×100.0×80.0
■中東、アフリカ					
28	エリアス・サイム	タイトロブ・モバイル	2009-14	再生電子ワイヤー、パネル	274.3×325.1
29	タル・アール	The Looooook	2007	油彩、キャンヴァス	200.5×200.5
30	ミリアム・ハダド	祈り	2017	油彩、キャンヴァス	250.0×200.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
■アジア					
31	ジン・メイヤーソン	ラムスプリング (掟からの解放)	2003	油彩、パネル	190.5×165.1
32	トックラル&タグラ	空中楼阁 4	2008	油彩、アクリル、キャンヴァス	244.0×366.0
33	N・S・ハルシャ	土星周辺からの遭難連絡	2011	アクリル、キャンヴァス、金箔、加工皮革、木 (楽器)	290.0×168.0
34	ラキブ・ショウ	ボビーの花の聖セバスティアヌス	2011-12	油彩、アクリル、エナメル、グリッター、ラインストーン、木製パネル (カバ)	152.0×152.0
35	ムン・ギョンウォン & チョン・ジュンホ	妙香山館	2014	HD フィルム [22分9秒]	
ヨーロッパ					
36	マーク・クイン	世界の始まり	2010	油彩、キャンヴァス	168.5×261.5
37	ダミアン・ハースト	トリエタノールアミン	2008	家庭用グロスペンキ、キャンヴァス	106.7×116.8
38	リネッテ・イアドム=ボアキエ	問題にすべきことはどこにもない	2015	油彩、キャンヴァス	140.3×70.5
39	ジュリアン・オビー	赤いショールをまとったマリア・テレジア	2008	アクリル、アルミフレーム	147.8×108.8
40	ジャナイナ・チェッペ	プリマヴェーラ	2006	水彩、紙	152.4×302.3
41	ジョアン・マリア・グスマン & ベドロ・バイヴァ	ナルシストなアヒル	2015	ブロンズ	48.0×128.0×70.0
42	エリック・シュミット	信仰告白	2008	油彩、キャンヴァス	270.0×360.0
43	ゲルト&ウーヴェ・トビアス	無題	2014	木版、キャンヴァス	200.0×300.0
44	ナイジェル・コーク	セイレーン	2011	油彩、帆布で裏打ちされた亜麻布	220.0×369.9
45	トーマス・ルフ	基層 33 I	2007	クロモジェニック・プリント	184.8×282.8
46	セクンディーノ・エルナンデス	無題	2014	グアッシュ、アクリル、アルキド塗料、油彩、キャンヴァス	300.0×201.0
47	セクンディーノ・エルナンデス	無題 (パレット・ペインティング)	2017	グアッシュ、アクリル、アルキド塗料、油彩、キャンヴァス	235.0×205.0
■北米					
48	キース・ヘリング	無題 #4	1988	油彩、キャンヴァス	152.0×152.0
49	アンディ・ウォーホル	ダブル・ミッキーマウス	1981	スクリーンプリント、ダイヤモンドダスト、紙	77.5×109.2
50	マシュー・バーニー	Ms. グッドイヤー	1995	Cプリント、光沢プラスチック	107.0×130.0
51	ライアン・マッギンレー	からし色の草地	2012	Cプリント	121.3×182.3
52	ケヒンデ・ワイリー	ホワイト・オーキッド	2005	油彩、キャンヴァス	209.5×182.8 (フレームを含む)
53	ベンジャミン・バトラー	無題 (葉のない木)	2006	油彩、キャンヴァス	152.4×243.8
54	ウエンディ・ホワイ特	エラン (高梨沙羅)	2015	インクジェット、アクリル、キャンヴァス、金色にコーティングされたポリ塩化ビニル	250.8×172.7
55	エミリオ・ベレス	涙の洪水が大海に	2006	アクリル、ラテックス、パネル	182.8×213.4
56	ロブ・ブルイット	ハイ、バーイ (赤)	2008	グリッター、エナメル、キャンヴァス	243.8×182.9



3 浅井裕介「あるくとであう」©Yusuke Asai/Courtesy of ANOMALY, Tokyo. Photo: 木奥恵三 Keizo Kioku



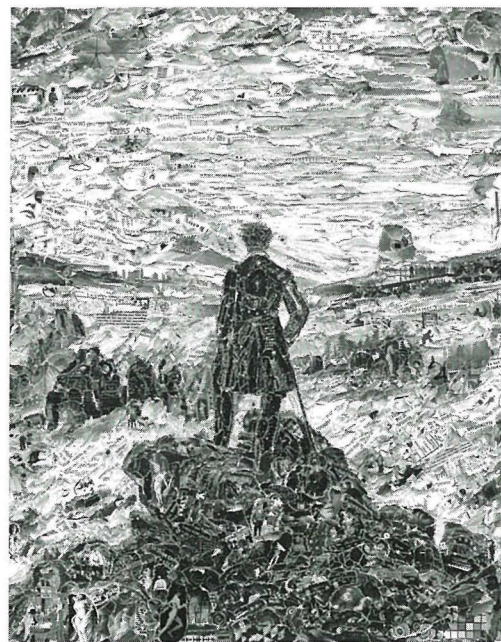
40 ジャナイナ・チェッペ「プリマヴェーラ」@Janaina Tschäpe

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
■中南米					
57	ヴァルダ・カイヴァーノ	無題	2013	油彩、キャンヴァス	60.0×39.5
58	ヴァルダ・カイヴァーノ	無題	2014-15	油彩、キャンヴァス	120.0×180.0
59	ヴァルダ・カイヴァーノ	無題	2014	油彩、キャンヴァス	130.0×71.0
60	マリナ・レインガンツ	グアラ	2015	油彩、キャンヴァス	36.0×25.0
61	マリナ・レインガンツ	カーチンガ	2015	油彩、キャンヴァス	60.0×80.0
62	大岩オスカル	氷山	2007	油彩、キャンヴァス	224.7×443.2
63	オスジェメオス	ブレイクダンスの時間	2015	ミクストメディア、スパンコール、木製ドア	224.0×225.0×7.5
64	ヴィック・ムニース	メディアの海の旅人 カスパー・ダーヴィト・フリードリヒにちなんで	2011	デジタルCプリント	240.4×190.0
65	ダリオ・エスコバル	透過彫刻 14	2014	木、ゴム、金属	203.0×205.0×160.0

* 寸法は、平面作品が縦×横、立体作品が高さ×幅×奥行。



42 エリック・シュミット「信仰告白」
courtesy the artist and carlier | gebauer.



64 ヴィック・ムニース「メディアの海の旅人
カスパー・ダーヴィト・フリードリヒにちなんで」
@Vik Muniz

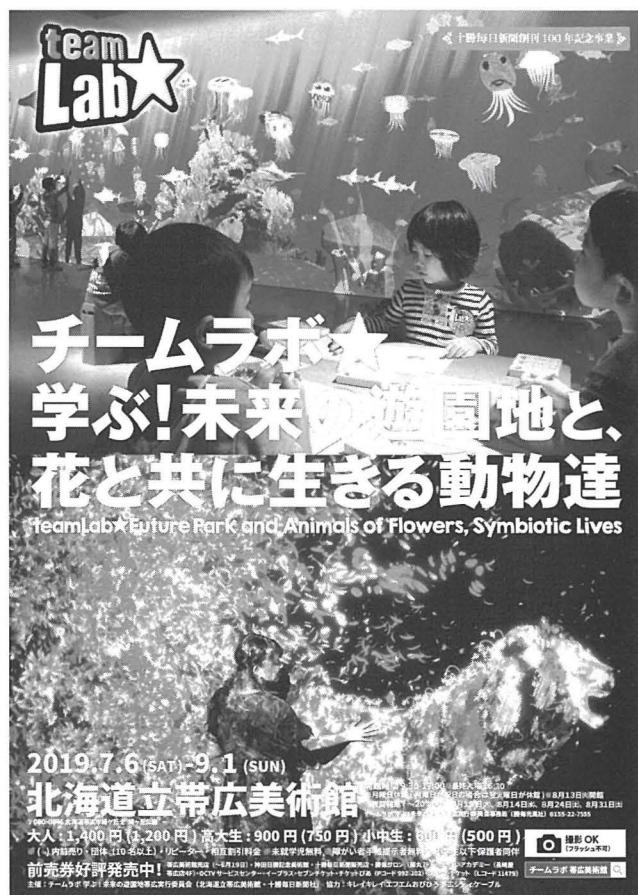
チームラボ 学ぶ！未来の遊園地と、花と共に生きる動物達

会期＝令和元年7月6日(土)～9月1日(日) 51日間
主催＝北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、チームラボ 学ぶ！未来の遊園地帯広実行委員会

協力＝キレイキレイ、エフエムおびひろ、帯広シティーケーブル
後援＝帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町、十勝町村会、帯広商工会議所、札幌テレビ放送、北海道テレビ放送、北海道放送

協賛＝株式会社エフリード、王子製紙株式会社、マテックグループ、宮坂建設工業株式会社、よつ葉乳業株式会社、株式会社ロゴスホーム、NTTタウンページ株式会社、帯広信用金庫、クランベリー、JT北海道支社、聖教新聞社、有限会社高橋商事 タイヤワールド館 BEST 帯広店、株式会社ダイイチ、株式会社東京機械製作所、株式会社東京ニュース通信社、日本製紙株式会社、日本電気株式会社、日本甜菜製糖株式会社、ノベルズグループ、橋本総業株式会社、東北海道ヤナセ株式会社 メルセデス・ベントツ帯広、古河電気工業株式会社、北洋銀行、北海道コカ・コーラボトリング株式会社

観覧料＝一般1,400(1,200)円、高大生900(750)円、小中生600(500)円
小中高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
()内は10名以上の団体、前売り、リピーター、相互割引料金



ポスター

主要関連記事

「デジタル遊園地 十勝に」十勝毎日新聞／1月1日(火)
「遊べる学べる チームラボ」Motto かちまい／6月15日(土)
小縣大輝「デジタル遊園地に興奮」十勝毎日新聞／6月20日(木)
牧内奏「子どもの新たな一面発券」十勝毎日新聞／6月23日(日)
「デジタル空間に入りこもう」Motto かちまい／6月29日(土)
『チームラボ 学ぶ！未来の遊園地と、花と共に生きる動物達 Official Guidebook』十勝毎日新聞社発行／7月1日(月)
蘭部容子「6日からチームラボ展」釧路新聞／7月1日(月)
安藤有紀「デジタルアート『人の関係をポジティブに』」十勝毎日新聞／7月5日(金)
「『共創』を楽しむ デジタル遊園地」十勝毎日新聞／7月5日(金)
松田亜弓「デジタルアート体感」十勝毎日新聞／7月6日(土)
細谷敦生「触れて体感 変化に驚き」十勝毎日新聞／7月7日(日)
「チームラボを親子で楽しもう」『Chai』／7月号
「とかちフォトギャラリー デジタルアートで遊ぼう」北海道新聞（管内版 朝刊）／8月1日(木)
「創刊百年の十勝毎日新聞社」『勝毎花火 オフィシャルガイド 2019』十勝毎日新聞社発行／8月10日(土)
松田亜弓、中島佑斗「帯広美術館 最多3万8425人」十勝毎日新聞／8月12日(月)
奥野秀康「チームラボ5万人突破」十勝毎日新聞／8月15日(木)
「光のアートに広がる笑顔」十勝毎日新聞／8月23日(金)

池田緑「編集余録 チームラボ」十勝毎日新聞／8月24日(土)
松田亜弓「子どものパワーに圧倒」十勝毎日新聞／8月27日(火)
「最新アート体験8万人」十勝毎日新聞／8月30日(金)
松田亜弓、奥野秀康「ラボ展 最後の週末も続々」十勝毎日新聞／8月31日(土)
細谷敦生「ラボ展閉幕 来場8万9065人」十勝毎日新聞／9月2日(月)

「チームラボ」は、2001年から東京大学大学院生を中心に活動を開始したアート集団。集団の創造によって、アート、サイエンス、テクノロジー、デザイン、そして自然の交差点を模索している、学際的なウルトラテクノロジスト集団である。「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地」は“共創（共同的な創造性）”をコンセプトにした教育的プロジェクト。また本展では、「未来の遊園地」に属する作品以外に《花と共に生きる動物達》も展示している。

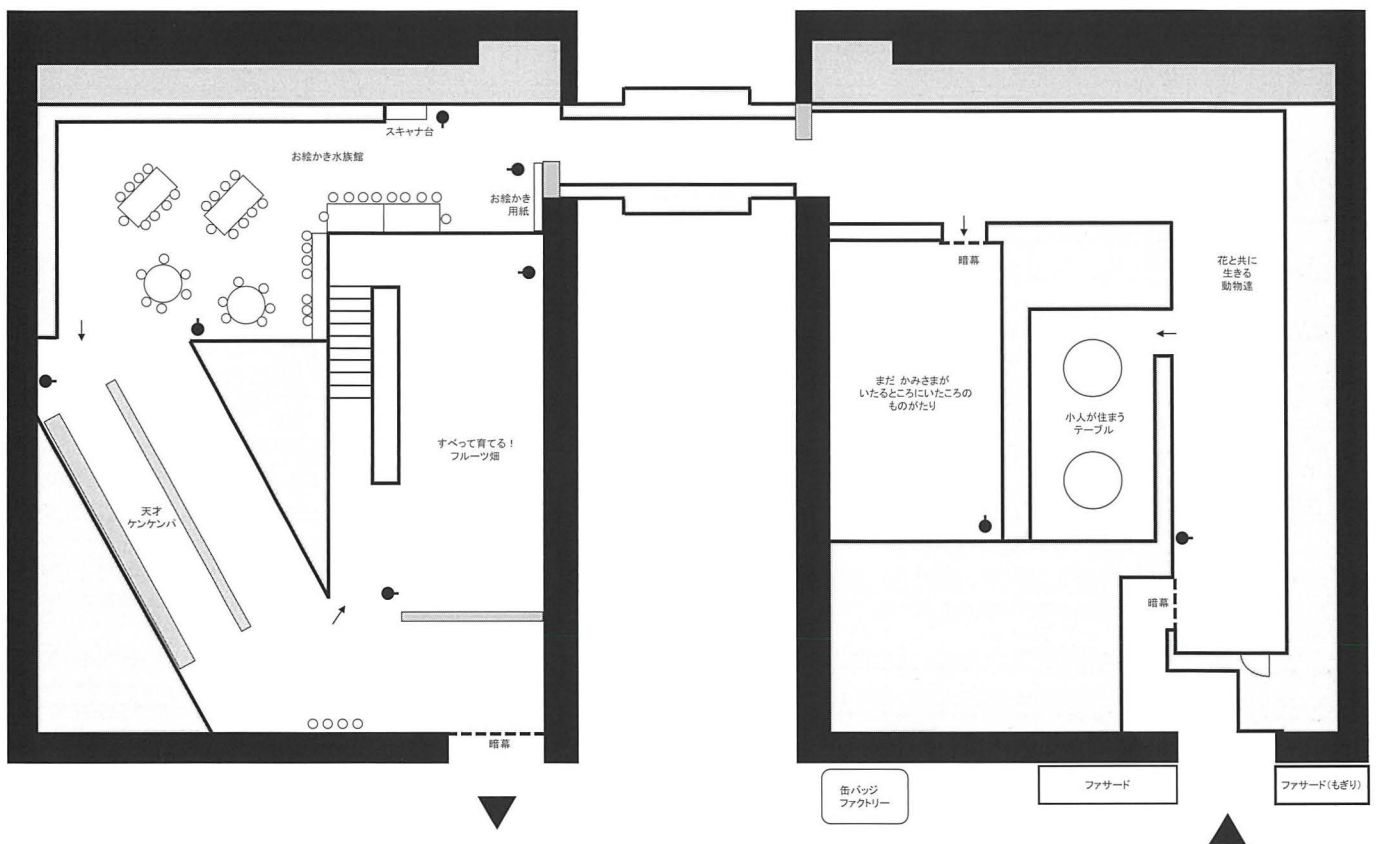
展示室内を6つのエリアに分け、鑑賞者が映像に触れると映像が反応して変化するデジタル・アートの世界を楽しんでいた。体全体を使って体験する世界は、子どもをはじめ大人たちも楽しむことができるものだった。夏休み中を中心に、家族連れなどかつてないほどの集客に成功し、お盆期間中や土日は1時間以上の待機列が館外にまで並ぶこととなった。入館者数は、これまでの歴代記録を大幅に塗り替える89,065人に上った。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

No.	作品名
1	花と共に生きる動物達
2	小人が住まうテーブル
3	まだ かみさまが いたるところにいたころの ものがたり
4	お絵かき水族館
5	天才ケンケンバ
6	すべって育てる！フルーツ畑



2「小人が住まうテーブル」



6「すべって育てる！フルーツ畑」

世界を魅了した浮世絵師 北斎展 師と弟子たち

会期＝令和元年 9月14日(土)－11月24日(日) 63日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、北海道新聞社、北斎展実行委員会

協力＝帯広美術館振興会

後援＝NHK 帯広放送局

監修＝中右瑛（国際浮世絵学会常任理事）

企画協力＝ステップ・イースト

観覧料＝一般1,100(900)円、高大生600(400)円、
中学生300(200)円、小学生以下は無料
土・日・祝日の中学生は無料（当館ボランティア「し
らかばの会」2019年度無料招待事業）
（ ）内は10名以上の団体、前売り、リピーター、
相互割引料金

関連事業

ギャラリー・トーク

講師＝中右瑛氏（国際浮世絵学会理事、本展監修者）

日時＝9月14日(土) 午前10時～（約30分）

会場＝当館主展示室（要観覧券）

美術講演会「北斎 波瀾万丈90年の生涯」

講師＝中右瑛氏（国際浮世絵学会理事、本展監修者）

日時＝9月14日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂（聴講無料）

映写室

「北斎ミステリー～幕末美術秘話 もう一人の北斎を追え～」

日時＝9月29日(日)、11月10日(日) 午後2時～（約97分）

会場＝当館講堂（参加無料）

特別展セミナー「世界の絵師・北斎とその周辺」

講師＝福地大輔（当館学芸員）

日時＝10月12日(土)、11月16日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂（聴講無料）

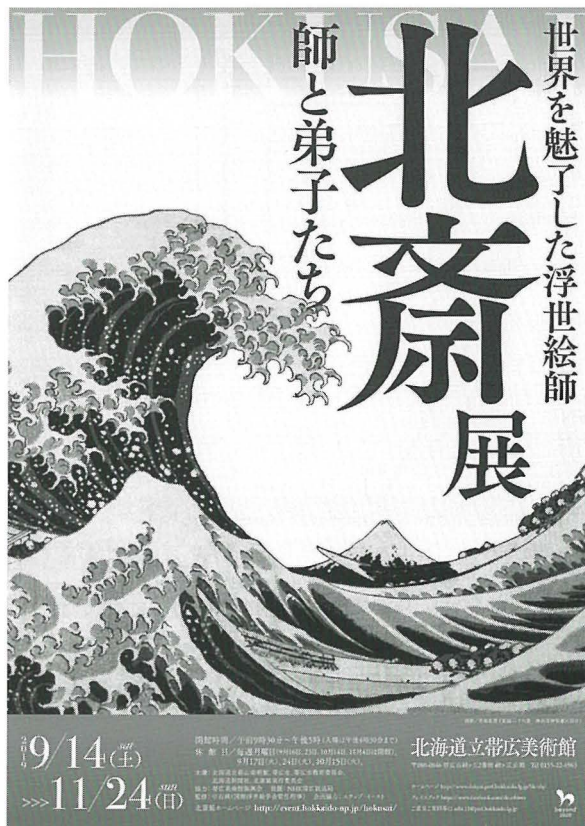
プレミアム鑑賞会

11月4日(月) 午後2時～（45分）

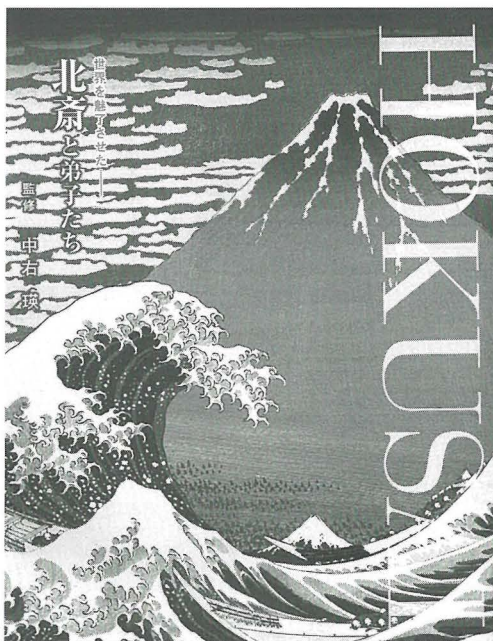
会場＝当館主展示室（要観覧券）

講師＝帯広美術館振興会会員

共催＝帯広美術館振興会



ポスター



図録

ワークショップ「いきなり！ 大人の木版画入門」

日時＝11月9日(土) 午後1時～4時30分

講師＝中谷有逸氏（美術家）

会場＝当館講堂・主展示室（参加料 一般1,100円、高大生600円、
中学生400円、応募制、定員20名）

共催＝帯広美術館振興会

キッズ・ツアー

日時＝11月9日(土) 午後2時～（約30分）

会場＝当館主展示室（要観覧券、中学生以下無料）

案内＝福地大輔（当館学芸課長）

キッズ・ミュージアム「やさい版画」

日時＝10月5日(土)、11月2日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

図録

規格＝30.0×23.0cm（A4判変形）／総頁数160ページ

構成＝ごあいさつ／中右瑛「北斎九十年、波瀾万丈の生涯」／
久保田一洋「『北斎』という名の北斎」／北斎改名表／
図版／久保田一洋「考証・葛飾北斎『手鏡を持つ美人図』」
／久保田一洋「考証・葛飾北斎『手紙を読む美人図』」
／久保田一洋「葛飾北斎 人と作品 略年譜」／中右瑛
「絵師プロフィール」／作品目録

関連記事

「世界がほれた浮世絵師」北海道新聞（全道版 朝刊）／9月
12日(木)

佐藤諒一「北斎の世界 師弟で多彩に 帯広美術館きょうから
特別展」北海道新聞（帯広・十勝版 朝刊）／9月14日(土)

佐藤諒一「芸術の秋 北斎に酔う」北海道新聞（全道版 夕刊）
／9月14日(土)

佐藤諒一「細やかな表現に『驚き』帯広で北斎展」北海道新聞
（帯広・十勝版 朝刊）／9月15日(日)

奥野秀康「北斎の浮世絵ずらり」十勝毎日新聞／9月15日(日)

福地大輔「おびひろミュージアム通信 人々を引きつける北斎
作品」釧路新聞／9月30日(月)

佐藤諒一「とかちフォトギャラリー 題材多彩に190点」北海
道新聞（帯広・十勝版 朝刊）／10月3日(木)

「北斎展入場5000人超す」北海道新聞（帯広・十勝版 朝刊）
／10月12日(土)

東野純也「北斎展入場一万人」北海道新聞（帯広・十勝版 朝
刊）／11月2日(土)

東野純也「江戸の風俗描いた多色版画」北海道新聞（帯広・十
勝版 夕刊）／11月8日(金)

佐藤諒一「北斎展 来場1万6075人」北海道新聞（帯広・十勝
版 朝刊）／11月27日(月)

福地大輔「異色の浮世絵師 1～6」北海道新聞（帯広・十勝
版 朝刊）／9月18日(木)、19日(木)、20日(金)、25日(木)、26日(木)、
27日(金)

葛飾北斎（1760－1849）は、江戸後期を代表する浮世絵師と
して、今なお幅広い人気を博しその作品が親しまれている。彼
は70年にも及ぶ長い作画期に役者絵、美人画、風景画、版本の
挿絵、さらに肉筆画など多彩な作画活動を展開し、浮世絵師の
域を超えた偉大な業績を残した。

なかでも明快な色彩と単純化された形で描かれ、浮世絵にお
ける風景画（名所絵）の先駆的な作例となった「富嶽三十六景」
シリーズや、並外れたデッサン力と発想のおもしろさでベスト
セラーとなった『北斎漫画』（全15編）は、その代表作として
よく知られている。

本展は、北斎作品133点、北斎の弟子たちの作品20点により、
バラエティー豊かな北斎の作品群とともに、その弟子たちの作
品を出品、さらには北斎に魅せられたフランス人画家・アンリ・
リヴィエールの「エッフェル塔三十六景」45点シリーズをあわ
せて展覧し、北斎芸術の魅力を総合的に紹介するものとして開
催された。

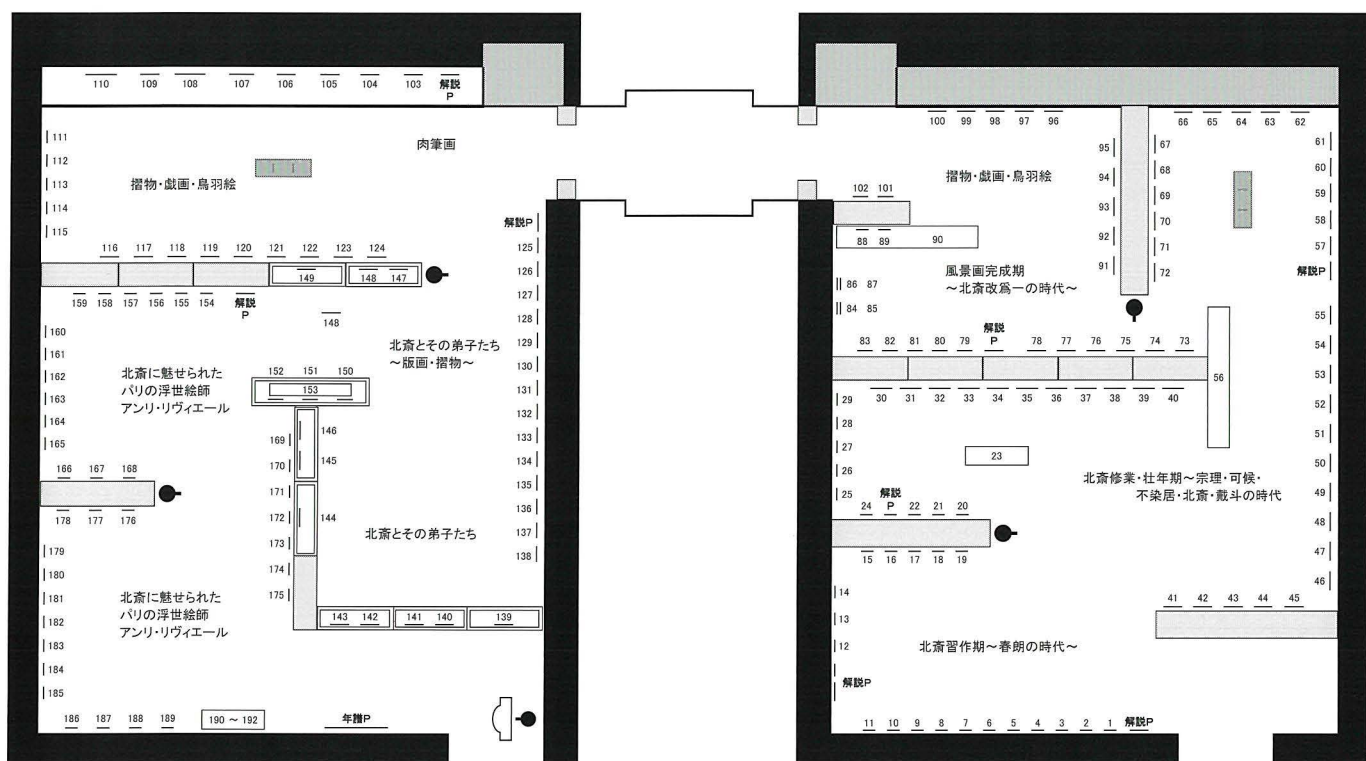
会期中は帯広美術館振興会および当館ボランティア「しらか
ばの会」の協力を得て多彩な関連事業を実施し、16,075人の観
覧者を迎えた。また特筆すべき事としては本展において、地域
の小中学校からの団体観覧者が多数にのぼった。



会場写真



会場写真



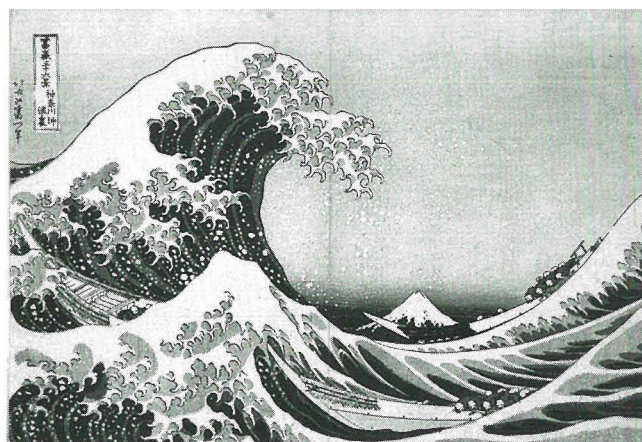
展示図面

出品目録

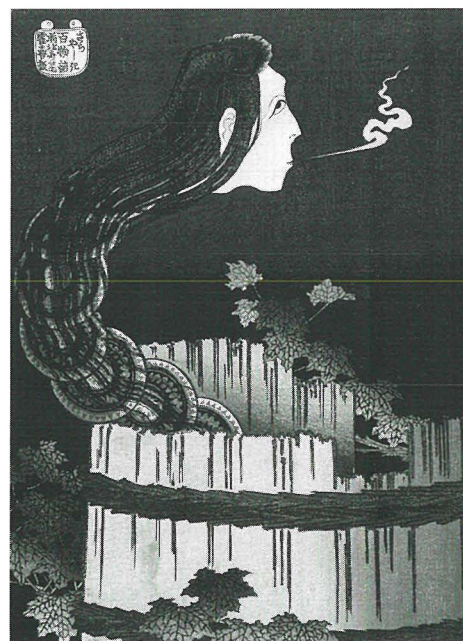
No.	絵師	作品名	形状	雅号（署名）
■北斎習作期～春朗の時代～				
1	葛飾北斎	岩井半四郎のかしく	錦絵細判	春朗
2	葛飾北斎	市川団十郎の大星由良之助	錦絵細判	春朗
3	葛飾北斎	二世瀬川富三郎の十内いもうと片貝	錦絵細判	春朗
4	葛飾北斎	嵐村次郎のせうせう	錦絵細判	春朗
5	葛飾北斎	金太郎と鷲と熊	錦絵大判	春朗
6	葛飾北斎	江戸見坂夜雨	錦絵中判	春朗
7	葛飾北斎	風流江戸百日の出	錦絵中判	春朗
8	葛飾北斎	七福神	錦絵大判	春朗
9	葛飾北斎	新版浮絵浦島龍宮入之図	錦絵大判	春朗
10	葛飾北斎	江都両国橋夕涼花火之図	錦絵大判	春朗
11	葛飾北斎	青面金剛図	掛物額装	春朗
■北斎修業・壮年期～宗理・可候・不染居・北斎・戴斗の時代～				
12	葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 初段鶴ヶ岡	錦絵間判	可候
13	葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第二段目	錦絵間判	可候
14	葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第三段目	錦絵間判	可候
15	葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第四段目	錦絵間判	可候
16	葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第五段目	錦絵間判	可候
17	葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第六段目	錦絵間判	可候
18	葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第七段目	錦絵間判	可候
19	葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第八段目	錦絵間判	可候
20	葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第九段目	錦絵間判	可候
21	葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第十段目	錦絵間判	可候
22	葛飾北斎	新板浮絵忠臣蔵 第十一段目	錦絵間判	可候
23	葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵 十二図	錦絵中判	北斎
24	葛飾北斎	東海道五十三次・絵本驛路鈴 表紙		無款
25	葛飾北斎	東海道五十三次 序文		無款

No.	絵師	作品名	形状	雅号（署名）
26	葛飾北斎	東海道五十三次 序文		無款
27	葛飾北斎	東海道五十三次 日本橋／品川	中判2丁掛	無款
28	葛飾北斎	東海道五十三次 川崎／神奈川	中判2丁掛	無款
29	葛飾北斎	東海道五十三次 程ヶ谷／戸塚	中判2丁掛	無款
30	葛飾北斎	東海道五十三次 藤澤／平塚	中判2丁掛	無款
31	葛飾北斎	東海道五十三次 大磯／小田原	中判2丁掛	無款
32	葛飾北斎	東海道五十三次 箱根／三島	中判2丁掛	無款
33	葛飾北斎	東海道五十三次 沼津／原	中判2丁掛	無款
34	葛飾北斎	東海道五十三次 吉原／蒲原	中判2丁掛	無款
35	葛飾北斎	東海道五十三次 由井／興津	中判2丁掛	無款
36	葛飾北斎	東海道五十三次 江尻／府中	中判2丁掛	無款
37	葛飾北斎	東海道五十三次 鞠子／岡部	中判2丁掛	無款
38	葛飾北斎	東海道五十三次 藤枝／島田	中判2丁掛	無款
39	葛飾北斎	東海道五十三次 金谷／日坂	中判2丁掛	無款
40	葛飾北斎	東海道五十三次 掛川／袋井	中判2丁掛	無款
41	葛飾北斎	東海道五十三次 見附／濱松	中判2丁掛	無款
42	葛飾北斎	東海道五十三次 舞坂／荒井	中判2丁掛	無款
43	葛飾北斎	東海道五十三次 白須賀／雙川	中判2丁掛	無款
44	葛飾北斎	東海道五十三次 吉田／御油	中判2丁掛	無款
45	葛飾北斎	東海道五十三次 赤坂／藤川	中判2丁掛	無款
46	葛飾北斎	東海道五十三次 岡崎／池鯉鮒	中判2丁掛	無款
47	葛飾北斎	東海道五十三次 鳴海／宮	中判2丁掛	無款
48	葛飾北斎	東海道五十三次 桑名／四日市	中判2丁掛	無款
49	葛飾北斎	東海道五十三次 石薬師／庄野	中判2丁掛	無款
50	葛飾北斎	東海道五十三次 龜山／關	中判2丁掛	無款
51	葛飾北斎	東海道五十三次 坂の下／土山	中判2丁掛	無款
52	葛飾北斎	東海道五十三次 水口／石邊	中判2丁掛	無款
53	葛飾北斎	東海道五十三次 草津／大津	中判2丁掛	無款
54	葛飾北斎	東海道五十三次 京都／大内山	中判2丁掛	無款
55	葛飾北斎	東海道五十三次名所一覽（鳥瞰図）	錦絵大々判	前北斎戴斗
56	葛飾北斎	北斎漫画・十五編		北斎
■風景画完成期～北斎改爲一の時代～				
57	葛飾北斎	富嶽三十六景 信州諏訪湖	錦絵大判	前北斎爲一
58	葛飾北斎	富嶽三十六景 常州牛堀	錦絵大判	前北斎爲一
59	葛飾北斎	富嶽三十六景 尾州不二見原	錦絵大判	北斎改爲一
60	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州梅沢庄	錦絵大判	前北斎爲一
61	葛飾北斎	富嶽三十六景 下目黒	錦絵大判	前北斎爲一
62	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州石班沢	錦絵大判	前北斎爲一
63	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	錦絵大判	北斎改爲一
64	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	錦絵大判（青刷り）	北斎改爲一
65	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三嶋越	錦絵大判	前北斎爲一
66	葛飾北斎	富嶽三十六景 東都浅草本願寺	錦絵大判	前北斎爲一
67	葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州江尻	錦絵大判	前北斎爲一
68	葛飾北斎	富嶽三十六景 登戸浦	錦絵大判	前北斎爲一
69	葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	錦絵大判	北斎改爲一
70	葛飾北斎	富嶽三十六景 五百らかん寺さざみどう	錦絵大判	前北斎爲一
71	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三坂水面	錦絵大判	前北斎爲一
72	葛飾北斎	富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略図	錦絵大判	前北斎爲一
73	葛飾北斎	富嶽三十六景 隠田の水車	錦絵大判	前北斎爲一
74	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州江の島	錦絵大判	前北斎爲一
75	葛飾北斎	富嶽三十六景 徒千住花街眺望ノ不二	錦絵大判	前北斎爲一
76	葛飾北斎	富嶽三十六景 身延川裏不二	錦絵大判	前北斎爲一
77	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	錦絵大判	前北斎爲一
78	葛飾北斎	富嶽三十六景 諸人登山	錦絵大判	前北斎爲一
79	葛飾北斎	百物語 こはだ小平二	錦絵中判	前北斎
80	葛飾北斎	百物語 笑ひはんにや	錦絵中判	前北斎

No.	絵師	作品名	形状	雅号（署名）
81	葛飾北斎	百物語 さらやしき	錦絵中判	前北斎
82	葛飾北斎	百物語 お岩さん	錦絵中判	前北斎
83	葛飾北斎	百物語 志うねん	錦絵中判	前北斎
■摺物・戯画・鳥羽絵				
84	葛飾北斎	よつや十二そう	錦絵間判（洋風画）	ほくさゐえかく
85	葛飾北斎	くだんう志がふち	錦絵間判（洋風画）	ほくさゐえかく
86	葛飾北斎	ぎやうとくしほはまよりのぼとのひかたをのぞむ	錦絵間判（洋風画）	ほくさゐえかく
87	葛飾北斎	羽根田弁天之図	錦絵間判（洋風画）	無款
88	葛飾北斎	百人一首 宇波がゑとき 藤原繁行朝臣	錦絵大判	前北斎己
89	葛飾北斎	百人一首 姥が恵とき 大中臣能宣朝臣	錦絵大判	前北斎己
90	葛飾北斎	富嶽百景・三編		北斎
91	葛飾北斎	文字絵六歌仙 小野小町（文字絵）	錦絵大判	かつしか北斎
92	葛飾北斎	文字絵六歌仙 大伴黒主（文字絵）	錦絵大判	かつしか北斎
93	葛飾北斎	三国妖狐伝 唐土紂王館の段	錦絵大判二枚続	北斎
94	葛飾北斎	三国妖狐伝 第一斑足王御てんのだん	錦絵大判二枚続	北斎
95	葛飾北斎	白象に唐女図（普賢菩薩見立て）	錦絵大判・四枚続きの内一枚	無款
96	葛飾北斎	渡辺の源吾綱・猪の熊入道雷雲	武者絵	前北斎爲一
97	葛飾北斎	鎌倉・江ノ嶋・大山 新板往来双六	錦絵大々判	北斎爲一
98	葛飾北斎	詩歌写真鏡 李白	錦絵長大判	前北斎爲一
99	葛飾北斎	詩歌写真鏡 木賊苅	錦絵長大判	前北斎爲一
100	葛飾北斎	詩歌写真鏡 少年行	錦絵長大判	前北斎爲一
101	葛飾北斎	諸国瀧廻り 木曾海道小野ノ瀑布	錦絵大判	前北斎爲一
102	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 山城あらし山吐月橋	錦絵大判	前北斎爲一
■肉筆画				
103	葛飾北斎	北斎自画像	紙本着色	無款
104	葛飾北斎	海老に炭図	紙本着色	北斎
105	葛飾北斎	ほうき星	紙本着色	画狂人己
106	葛飾北斎	おいらん道中図	紙本着色	不染居北斎
107	葛飾北斎	西行図	紙本墨書	北斎戴斗
108	葛飾北斎	三竦の図	紙本着色	画狂人北斎
109	葛飾北明	手紙を読む美人図	紙本着色	
110	高井鴻山	もののけ	紙本	



69 葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」

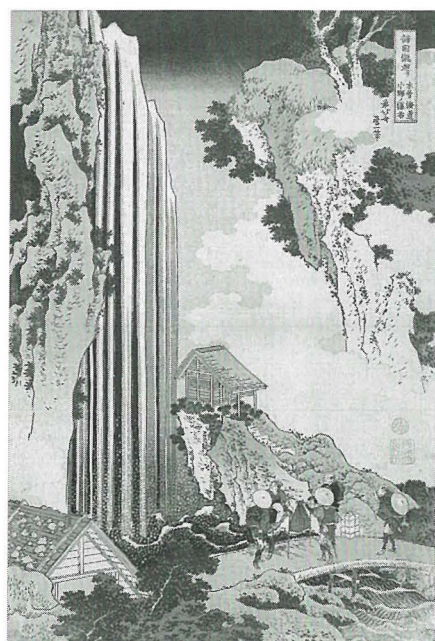


82 葛飾北斎「百物語 お岩さん」

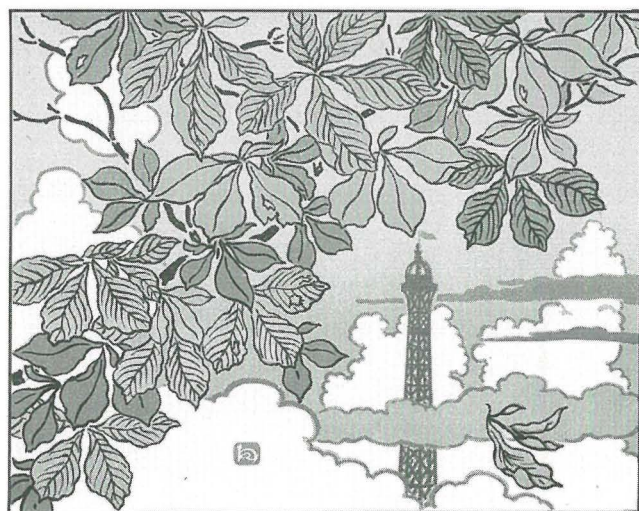
No.	絵師	作品名	形状	雅号（署名）
■摺物・戯画・鳥羽絵				
111	葛飾北斎	風流おどけ百句 蔭乱の男… 唐崎のまつ… 唐辛… 皮きりの…	小判四枚	北斎
112	葛飾北斎	鳥羽絵 駕籠かき	錦絵中判	北斎
113	葛飾北斎	日の出	横長判摺物	無款
114	葛飾北斎	十千の内 千金の春	小判摺物	画狂人北斎
115	葛飾北斎	見立二十四孝・田毎月丸	摺物	画狂人北斎
116	葛飾北斎	五・歌仙・小野小町	摺物	北斎爲一
117	葛飾北斎	母娘	横長判摺物	先ノ宗理北斎
118	葛飾北斎	母と子供（順）	横長判摺物	画狂人北斎
119	葛飾北斎	松茸狩り二美人	摺物	北斎
120	葛飾北斎	唄物尽し図（歌麿ほか合作）	横長判摺物	画狂人北斎
121	葛飾北斎	馬尽 駒菖蒲	摺物	不染居爲一
122	葛飾北斎	三囲神社を望む	摺物	北斎宗理
123	葛飾北斎	通人拳遊び	摺物	無款
124	葛飾北斎	七福神見立	摺物	北斎宗理
■北斎とその弟子たち ～版画・摺物～				
125	昇亭北寿	上総九十九里地引網 大漁鯨正写之図	錦絵大判	
126	柳々居辰斎	六郷渡	錦絵大判	
127	魚屋北溪	諸国名所 上州三国越不動峠	錦絵横判	
128	蹄斎北馬	花見の図	横長判摺物	
129	藤亭北紫	行楽の図	錦絵大判	
130	葛飾北洋	新町中扇屋瓜生野太夫 若野 枝折	錦絵大判	
131	柳川重信	松葉屋代々山	錦絵大判	
132	柳川重山	風流窓の月	錦絵大判	
133	影斎北曜	松本幸四郎	錦絵細判	
134	春好斎北洲	『妹背山婦女庭訓』金輪五郎今国（中村歌右衛門）、おみわ（嵐小六）	錦絵大判	
135	岳亭春信（五岳）	大阪天保山夕立の景	錦絵大判	
136	葛飾北爲	摂州大物浦平家怨霊頭之図	錦絵大判三枚続	
137	幸斎拱一	油坊主の故事	角判摺物二枚続	
138	昀斎寛鶯	春日神殿鋸馬之写	大々判摺物	
■北斎とその弟子たち ～肉筆画～				
139	葛飾北子	花魁	絹本着色	
140	葛飾北鼎	手鏡を持つ美人図	絹本着色	
141	魚屋北溪	新春門松の前の花魁	絹本着色	
142	柳々居辰斎	太夫道中	絹本着色	
143	蹄斎北馬	年始あいさつ廻りの芸者	絹本着色	
144	葛飾北雲	羽根つき	絹本着色	
145	抱亭五清	手鏡を見る女	絹本着色	
146	蜂房秋鯉	遊女	絹本着色	
147	葛飾遊馬	柳下芸者	絹本着色	
148	葛飾逸馬	立美人	絹本着色	
149	鶴雲亭北山	雪の情景	紙本着色	
150	葛飾北鷹	鐘馗（画稿）	紙本	
151	抱亭北鶯	五月節句幟	紙本着色	
152	葛飾爲斎	赤穂浪士	紙本着色	
153	蹄斎北馬	おんな十二態（十二図）	絹本画帳	

No.	作者名	作品名	技法材質
■北斎に魅せられたバリの浮世絵師 アンリ・リヴィエール			
154	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景1「扉絵」	リトグラフ・紙
155	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景2「エッフェル塔の建築現場」	リトグラフ・紙
156	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景3「建造中のエッフェル塔、トロカデロからの眺め」	リトグラフ・紙
157	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景4「塔の上部で」	リトグラフ・紙
158	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景5「ベートーベン街」	リトグラフ・紙
159	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景6「グルネルの菜園より」	リトグラフ・紙
160	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景7「サン・ペール橋より」	リトグラフ・紙

No.	作者名	作品名	技法材質
161	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景8「コンフェランス河岸より」	リトグラフ・紙
162	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景9「ノートル・ダム寺院より」	リトグラフ・紙
163	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景10「クリシー大通りより」	リトグラフ・紙
164	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景11「ボワン・ドゥ・ジュール波止場から」	リトグラフ・紙
165	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景12「セヌ川祭の祭、7月14日」	リトグラフ・紙
166	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景13「パッシー河岸より」	リトグラフ・紙
167	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景14「ラマルク街より」	リトグラフ・紙
168	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景15「ロシュシュアル街より」	リトグラフ・紙
169	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景16「パッシー河岸より、雨」	リトグラフ・紙
170	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景17「バトー・ムーシュ（遊覧船）にて」	リトグラフ・紙
171	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景18「グルネル河岸より」	リトグラフ・紙
172	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景19「アベス街より」	リトグラフ・紙
173	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景20「グルネル橋より」	リトグラフ・紙
174	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景21「屋根の上」	リトグラフ・紙
175	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景22「ブローニュの森より」	リトグラフ・紙
176	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景23「コンコルド広場より」	リトグラフ・紙
177	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景24「シーニュ島より」	リトグラフ・紙
178	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景25「塔より」	リトグラフ・紙
179	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景26「オーステルリッツ橋より」	リトグラフ・紙
180	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景27「フレミエの大鹿の後ろより（トロカデロ）」	リトグラフ・紙
181	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景28「ジャヴェル河岸より（転轍手の小屋）」	リトグラフ・紙
182	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景29「バ・ムードン、古い共同洗濯場」	リトグラフ・紙
183	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景30「塔の配管工」	リトグラフ・紙
184	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景31「パッシー・シャルボニエ河岸より」	リトグラフ・紙
185	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景32「バ・ムードン駅より」	リトグラフ・紙
186	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景33「桟橋より」	リトグラフ・紙
187	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景34「トロカデロの公園より、秋」	リトグラフ・紙
188	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景35「川船」	リトグラフ・紙
189	アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景36「塔のペンキ塗り」	リトグラフ・紙
190	アンリ・リヴィエール	序文	リトグラフ・紙
191	アンリ・リヴィエール	序文	リトグラフ・紙
192	アンドレ・マルタン	エッフェル塔（写真集）	本



101 葛飾北斎
「諸国瀧廻り 木曾街道小野ノ瀑布」



154 アンリ・リヴィエール
「『エッフェル塔三十六景』より1 屏絵」

網走市立美術館コレクション選 居串佳一とオホーツクの画家たち

会期＝令和元年12月14日(土)－令和2年3月15日(日)
75日間

＊2月29日(土)－3月15日(日)臨時休館

主催＝北海道立帯広美術館

協力＝網走市立美術館、帯広美術館振興会

後援＝NHK 帯広放送局

観覧料＝一般700(530)円、高大生400(290)円、中学生以下は無料
高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
()は10名以上の団体、前売り、リピーター、相互割引料金

関連事業

オープニング・トーク

講師＝古道谷朝生氏(網走市立美術館長)

日時＝12月14日(土) 午前10時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

オビビ・キッズ・アートフェスタ

日時＝12月21日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂、コレクション・ギャラリー

(参加無料、応募制、定員15名)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

キッズ・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝1月11日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ギャラリー・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝1月18日(土)、2月29日(土) 午後2時～(約40分)

＊2月29日(土)は新型コロナウイルスの影響により中止

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ミュージアム・コンサート「尺八と箏の響き」

演奏＝萩原朔山氏(尺八)、阿部雅楽扶美氏(箏)

日時＝1月19日(日) 午後2時～(約40分)

会場＝当館ロビー(入場無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会



ポスター

おびひろ氷まつり協賛事業「美術館 de 氷まつり 2020」

開催日＝1月31日(金)～2月2日(日)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

・ミッションin てんらんかい☆

日時＝1月31日(金)～2月2日(日)

午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館主展示室（要観覧券）

・緑ヶ丘＊氷まつりスタンプラリー

日時＝1月31日(金)～2月2日(日)

午前9時30分～午後5時

＊氷まつり本会場のみ午前10時～

会場＝当館ロビー、氷まつり本会場、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター(参加無料)

・ミュージアム・ツアー

日時＝2月1日(土)、2日(日) 午後3時～(約60分)

会場＝当館主展示室ほか（要観覧券、中学生以下無料）

・ミュージアム・シアター『パンクシー・ダズ・ニューヨーク』

日時＝2月1日(土)、2日(日) 午後1時～(81分)

会場＝当館講堂（入場無料）

キッズ・ミュージアム「スクラッチ・アート」

日時＝2月8日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

プレミアム鑑賞会

講師＝帯広美術館振興会会員

日時＝2月9日(日)、3月1日(日) 午後2時～(約45分)

＊3月1日は新型コロナウイルス感染症（以降コロナ感染と略す）の影響により中止

会場＝当館主展示室（要観覧券）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

美術講演会「高橋道雄 知られざる作品と魅力」

講師＝古道谷朝生氏（網走市立美術館長）

日時＝2月15日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂（聴講無料）

トーク&ワーク「オホーツク・黎明の美術―高橋道雄と居串佳一」 （道民カレッジ連携講座）

講師＝古道谷朝生氏（網走市立美術館長、2月15日）、
野田佳奈子（当館学芸員）

日時＝2月15日(土)、16日(日) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂、主展示室（参加料：一般530円、高大生290円、応募制）

＊15日(土)は美術講演会としても実施。

ワークショップ「楽しくデビュー！ 油絵レッスン」

講師＝近藤みどり氏（全道展会員）

日時＝2月22日(土)、23日(日) 午前10時～午後3時

会場＝当館講堂、主展示室（参加料：一般1,100円、高大生860円、中学生570円、応募制、定員20名）



会場風景



会場風景

関連記事

野田佳奈子「おびひろミュージアム通信 北海道多く描いた居串佳一」釧路新聞／11月18日(月)

大木祐介「八中生、特別展 一足早く」十勝毎日新聞／12月12日(木)

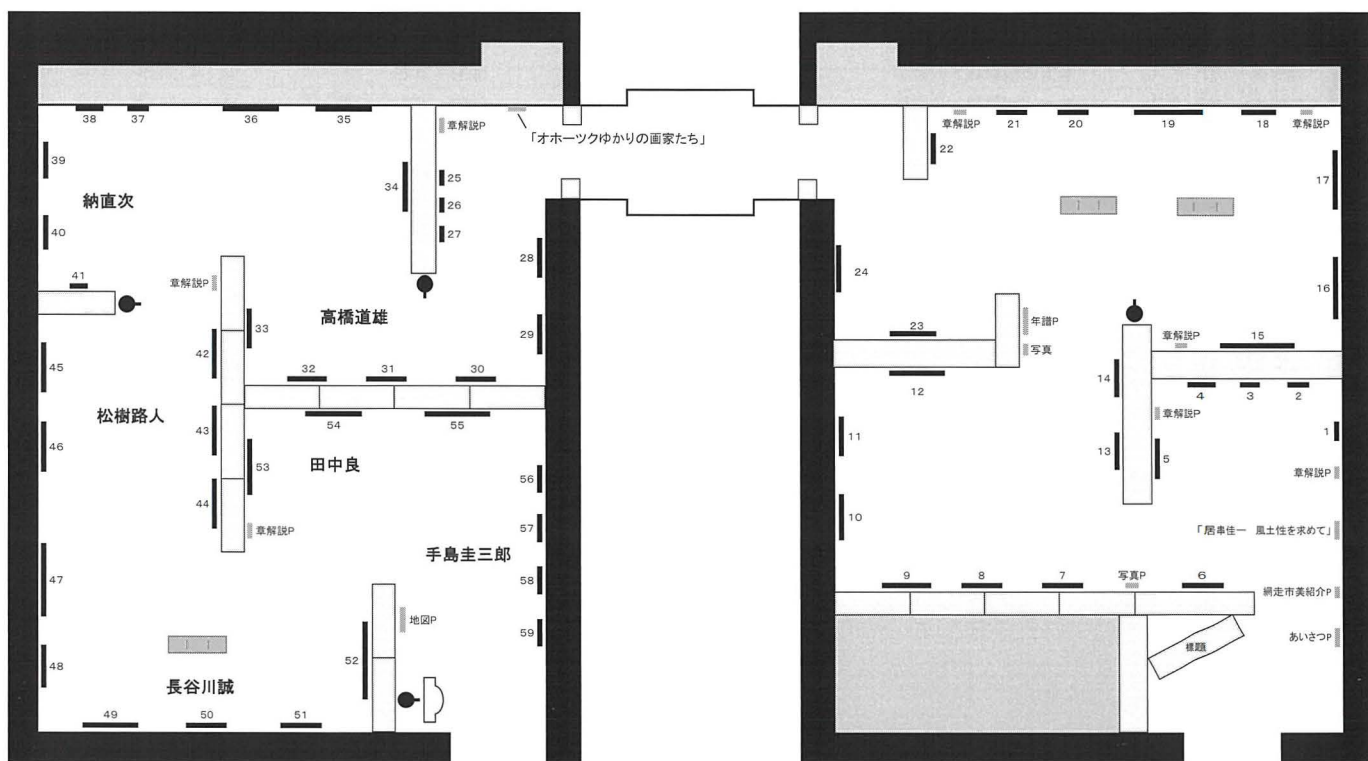
佐藤諒一「とかちフォトギャラリー 道東ゆかりの才能多彩に」北海道新聞（帯広・十勝版）／1月16日(木)

野田佳奈子「オホーツク・美術の夜明け ①～⑩」十勝毎日新聞／1月22日(木)、23日(木)、24日(金)、25日(土)、26日(日)、27日(月)、2月5日(水)、13日(水)、16日(土)、18日(火)

居串佳一（1911－1955）は、北海道を代表する洋画家の一人。網走中学校（現・網走南ヶ丘高校）在学中から絵の才能を示し、1935年に画家を志して上京、独立展を舞台に活動した。1945年からは網走に帰郷し、全道展の設立に携わった。その後再び上京、フランス渡航を目指したが、札幌滞在中に客死し、44年の生涯を終えた。

居串の作品は、その多くが北海道の風土をテーマとしたものである。それは、故郷から遠く離れた東京にあっても変わらず、一層の叙情性をたたえて表現された。

本展では、網走市立美術館のコレクションより、居串の代表作から画業をたどるとともに、同じくオホーツク地方にゆかりある画家たちの名品を紹介した。網走で育ち、東京美術学校で学び活躍した高橋道雄や松樹路人、北国の動物を描く紋別出身の版画家・手島圭三郎、北海道の風景の数々を描いた田中良などの秀作を通じ、道東の美術に改めて注目した。



展示図面

道立釧路芸術館・釧路市立美術館・道立帯広美術館 コレクション選 アートの翼ひろげて

会期＝令和2年4月25日(土)－6月24日(水) 52日間

＊4月25日(土)－5月24日(日)臨時休館

主催＝北海道立帯広美術館

後援＝NHK 帯広放送局

協賛＝帯広信用金庫、北海道クリーン・システム株式会社

観覧料＝一般730(570)円、高大生410(300)円

中学生以下無料（帯広美術館ボランティア「しらかばの会」令和2年度無料招待事業）

高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

()内は10名以上の団体、前売り、リピーター、相互割引料金

関連事業

キッズ・ミュージアムはコロナ感染対策のため中止。

他の事業も延期や一部中止となった。以下は実施した事業。

キッズ・ツアー

講師＝蘭部容子（当館主任学芸員）

日時＝6月13日(土) 午後2時～（約30分）

会場＝当館主展示室（要観覧券、中学生以下無料）

特別展セミナー

「アートの翼もっと広げて」

講師＝蘭部容子（当館主任学芸員）

日時＝6月20日(土) 午後2時～（約60分）

会場＝当館講堂（聴講無料）

ギャラリー・ツアーW

講師＝藤原乃理子氏（北海道立釧路芸術館主任学芸員）、

蘭部容子（当館主任学芸員）

日時＝6月21日(日) 午後2時～（約45分）

会場＝当館主展示室（要観覧券）



ポスター

関連記事

蘭部容子「おびひろミュージアム通信81 表現世界広がる『翼』展」釧路新聞／5月4日(月)

蘭部容子「新型コロナ 床には2m間隔でテーブルも 対応手探りの帯広美術館」十勝毎日新聞電子版ジャーナル／5月20日(水)

大木祐介「休業の公共施設、続々再開」十勝毎日新聞／5月26日(火)

蘭部容子「美術の概念拡張」十勝毎日新聞／5月31日(日)

三島今日子「とかちフォトギャラリー 広がる想像力」北海道新聞朝刊・帯広十勝管内／6月4日(木)

蘭部容子「アートの翼どこまでも ①～⑥」十勝毎日新聞／6月10日(水)～12日(金)、17日(水)～19日(金)

美術は、作者の自由な発想や想像力によって制作され、また一方でみる人の自由な受け止め方や感じ方、解釈によって鑑賞することができるものである。伝統や規範に囚われることなく、思いもよらない世界や伸びやかな造形を生み出し、表現の翼を広げた美術作品は、みる人の心を解き放つような力を有している。

作者独自の主題や色と形、また、意表をつく発想や表現、美術に用いられるとは思われていなかった素材や、従来のやり方とは異なる技法、それらの組み合わせによる思いがけない効果。これまでに見たことのない、あるいは今までに見たものとはズレの生じる情景や物体、人物などが、作品をとおして立ち現れる。本展覧会では、「美術」の概念を押し広げてくれるような作品を紹介した。

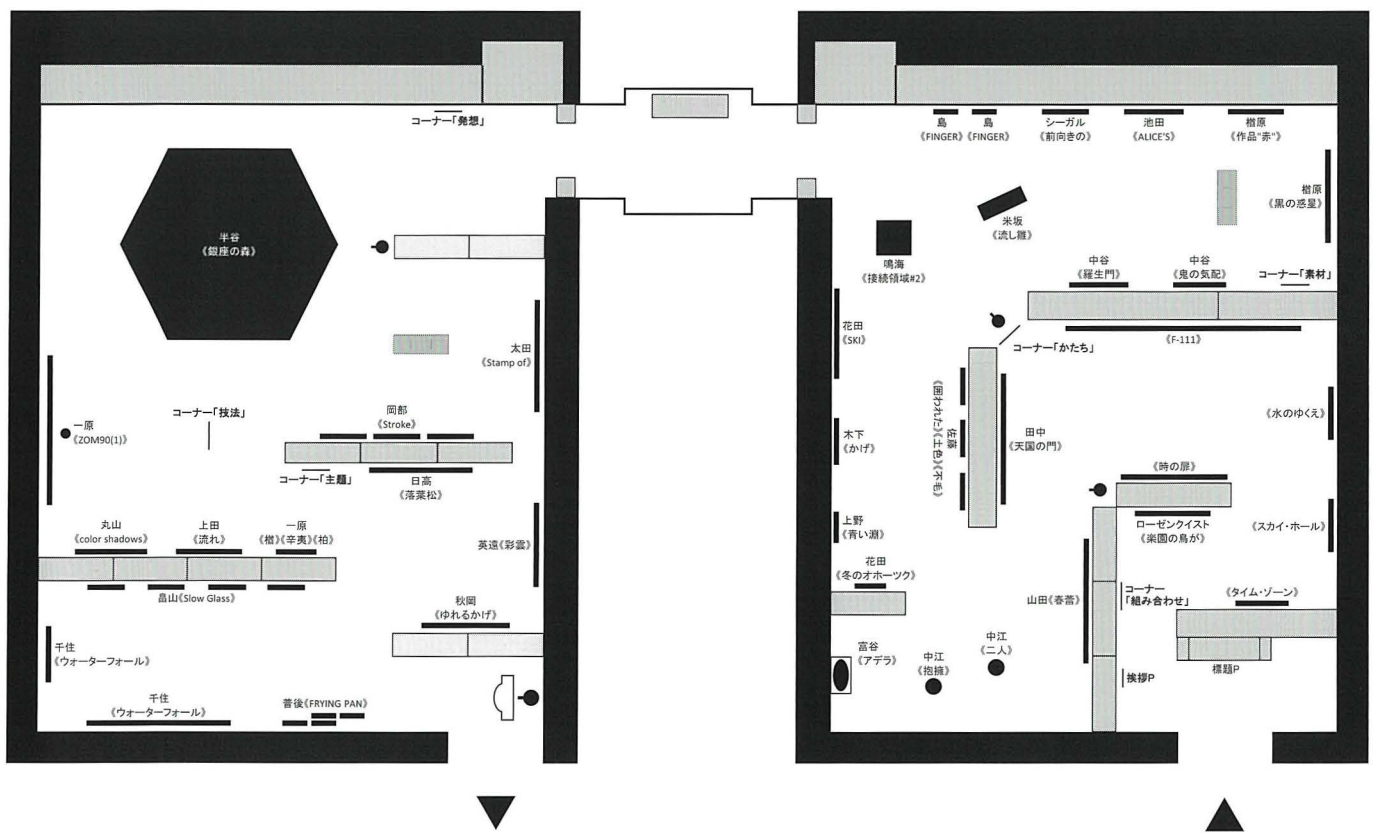
新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受け開幕が延期となり、会期が短縮され来場者は677人であった。



会場風景



会場風景



展示図面

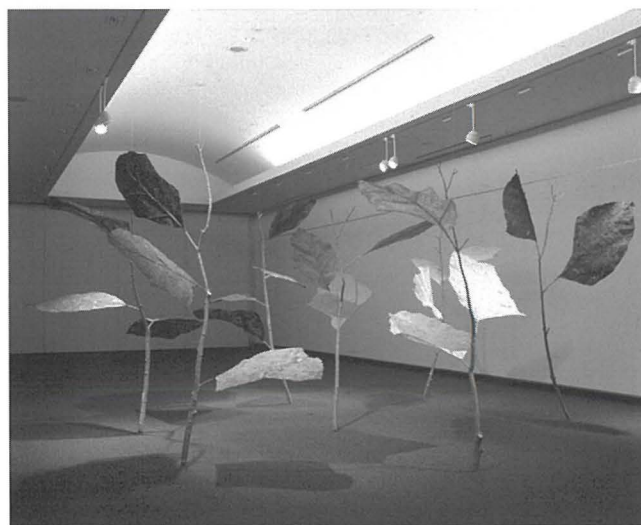
出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵先
■組み合わせ						
1	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》 楽園の鳥が温水の惑星に接近する	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレ スト・ペーパー・パルプ (着彩手漉き紙)	246.4×214.6	北海道立帯広美術館
2	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》 タイム・ゾーンの日没	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレ スト・ペーパー・パルプ (着彩手漉き紙)	201.9×147.3	北海道立帯広美術館
3	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》 スカイ・ホール	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレ スト・ペーパー・パルプ (着彩手漉き紙)	259.7×148.6	北海道立帯広美術館
4	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》 水のゆくえ	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレ スト・ペーパー・パルプ (着彩手漉き紙)	261.0×147.3	北海道立帯広美術館
5	ジェームズ・ローゼンクイスト	F-111	1974	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	92.8×190.8 92.8×178.0 92.8×190.8 92.8×178.0 (4点組)	北海道立帯広美術館
6	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》 時の扉・黄金の時	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレ スト・ペーパー・パルプ (着彩手漉き紙)	247.7×304.8	北海道立帯広美術館
■かたち						
7	田中みぎわ	天国の門	2001 (平成13)	墨、雲肌麻紙	148.0×413.0	北海道立釧路芸術館
8	山田 泰	春雷似雷	2002 (平成14)	油彩、キャンバス	194.0×394.0	北海道立釧路芸術館
9	中江紀洋	二人	1971 (昭和46)	木 (カツラ)	52.0×52.5×194.4	釧路市立美術館
10	中江紀洋	抱擁	1973 (昭和48)	木 (カツラ)	54.3×44.0×192.5	釧路市立美術館
11	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木 (イチイ)	115.0×30.0×50.0	北海道立帯広美術館
12	花田和治	冬のオホーツク (夜)	2008 (平成20)	油彩、キャンバス	130.3×97.0	北海道立釧路芸術館
13	上野憲男	青い淵 (あるいは凍りついた空 流れる海)	1965 (昭和40)	油彩、キャンバス	116.2×91.0	釧路市立美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵先
14	木下勘二	かげ	1980 (昭和55)	油彩、キャンバス	162.0×130.5	釧路市立美術館
15	花田和治	SKI II	1989 (平成元)	油彩、キャンバス	107.0×270.0	北海道立釧路芸術館
16	佐藤克教	不毛の翳り	2000 (平成12)	木版、紙	73.0×90.5	北海道立帯広美術館
17	佐藤克教	土色の午後	2001 (平成13)	木版、紙	75.0×103.0	北海道立帯広美術館
18	佐藤克教	囲われた1日	1999 (平成11)	木版、紙	75.0×100.0	北海道立帯広美術館
19	鳴海寛理	呼吸構築体ー接続領域#2	2001 (平成13)	木、鉄、真鍮	110.0×110.0×211.0	北海道立帯広美術館
20	米坂ヒデノリ	流し雛	1974 (昭和49)	木 (カツラ)	42.0×148.0×23.0	北海道立釧路芸術館
21	中谷有逸	碑 (羅生門)	1996 (平成8)	凹凸併用版、アルミ、銅、鉛、紙	186.4×186.5	北海道立帯広美術館
22	中谷有逸	碑 (鬼の気配)	1996 (平成8)	凹凸併用版、アルミ、銅、鉛、紐、紙	115.8×160.2	北海道立帯広美術館
■素材						
23	橋原武正	黒の惑星 '90-17	1990 (平成2)	塗料、空き缶、廃品、釘、針金、トタン板	154.5×302.0	北海道立帯広美術館
24	橋原武正	作品“赤”	1984 (昭和59)	塗料、釘、針金、トタン板	180.0×180.0	北海道立帯広美術館
25	池田 緑	ALICE'S SPECIMEN	1996 (平成8)	シルクスクリーン、アクリルパイプ、 枯葉、枯枝 紙	102.4×190.6 (厚さ9.8)	北海道立帯広美術館
26	ジョージ・シーガル	前向きの二人の人物	1975	エッチング、アクアチント、紙	85.0×126.5	北海道立帯広美術館
27	島 州一	FINGER PRINT	1981 (昭和56)	粘土、段ボール、フロッタージュ、和紙	99.0×69.0	北海道立帯広美術館
28	島 州一	FINGER PRINT	1981 (昭和56)	粘土、フロッタージュ、和紙	73.0×63.5	北海道立帯広美術館
■発想						
29	半谷 学	銀座の森 すくいとりたいもの	2003 (平成15)	海藻 (ホソジュズモ) 紙、原麻、顔料、再 生素材 (花びら、葉、切り枝、パンフレット、 チラシ、紙ナプキン、箸袋、シュレッダー紙)	150.0×150.0×250.0 など7点によるイン スタレーション	北海道立帯広美術館
30	太田三郎	Stamp map of Hokkaido “December 29, 1993”	1993 (平成5)	切手、消印	290.0×360.0	北海道立帯広美術館
31	岡部昌生	Stroke-on the road at Hiroshimacho in Sapporo, September 7-November 15, 1987	1987 (昭和62)	フロッタージュ、鉛筆、紙	各300.0×152.0 (3点組)	北海道立帯広美術館



10 中江紀洋「抱擁」



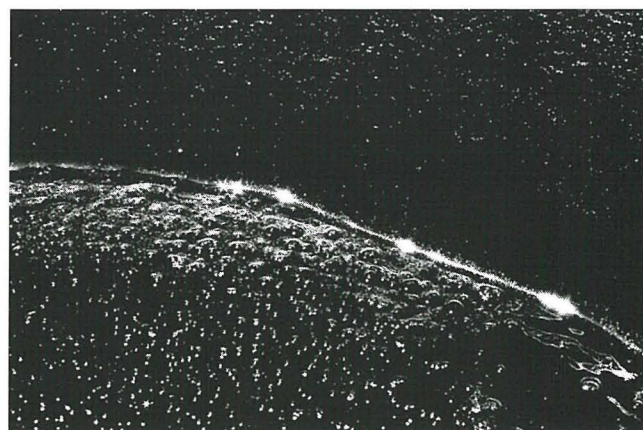
29 半谷学「銀座の森 すくいとりたいもの」

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵先
■技法						
32	一原有徳	ZOM90 (1)	1990 (平成2)	モノタイプ (アルミニウム版)、自動車部品、紙	各 121.0×80.0 ほか (13点組)	北海道立帯広美術館
33	丸山直文	Color Shadows	2003-04 (平成15-16)	アクリル絵具、綿布	181.8×227.3	北海道立釧路芸術館
34	上田 薫	流れ S	1997 (平成9)	油彩、キャンバス	162.0×215.0	北海道立釧路芸術館
35	一原有徳	木の葉 (檜)	1970 (昭和45)頃	木の葉版、紙	18.5×32.0	北海道立帯広美術館
36	一原有徳	木の葉 (辛夷)	1970 (昭和45)頃	木の葉版、紙	14.5×27.6	北海道立帯広美術館
37	一原有徳	木の葉 (柏)	1970 (昭和45)頃	木の葉版、紙	18.6×12.0	北海道立帯広美術館
■主題						
38	日高理恵子	落葉松	1987 (昭和62)	岩絵具、麻紙	182.0×324.0	北海道立釧路芸術館
39	岩橋英遠	彩雲	1979 (昭和54)	岩絵具、紙	149.8×210.5	北海道立釧路芸術館
40	秋岡美帆	ゆれるかげ	1993 (平成5)	スキヤナグラフ (NECO プリント)、雲肌麻紙	220.0×275.0	北海道立釧路芸術館
41	畠山直哉	Slow Glass: #021	2001 (平成13)	タイプCプリント、ラミネート加工、アルボリック板貼付	90.0×120.0	北海道立釧路芸術館
42	畠山直哉	Slow Glass: #065	2001 (平成13)	タイプCプリント、ラミネート加工、アルボリック板貼付	90.0×120.0	北海道立釧路芸術館
43	畠山直哉	Slow Glass: #057	2001 (平成13)	タイプCプリント、ラミネート加工、アルボリック板貼付	90.0×120.0	北海道立釧路芸術館
44	畠山直哉	Slow Glass: #002	2001 (平成13)	タイプCプリント、ラミネート加工、アルボリック板貼付	90.0×120.0	北海道立釧路芸術館
45	千住 博	ウォーターフォール	1998 (平成10)	岩絵具、雲肌麻紙	227.3×182.0	北海道立釧路芸術館
46	千住 博	ウォーターフォール	1997 (平成9)	岩絵具、雲肌麻紙	162.0×454.0	北海道立釧路芸術館
47	普後 均	FLYING FRYING PAN	1994 (平成6)	ゼラチン・シルバー・プリント	36.4×54.2	北海道立釧路芸術館
48	普後 均	FLYING FRYING PAN	1982 (昭和57)	ゼラチン・シルバー・プリント	36.3×54.2	北海道立釧路芸術館
49	普後 均	FLYING FRYING PAN	1979 (昭和54)	ゼラチン・シルバー・プリント	36.4×54.4	北海道立釧路芸術館
50	普後 均	FLYING FRYING PAN	1980 (昭和55)	ゼラチン・シルバー・プリント	36.2×54.2	北海道立釧路芸術館

* 寸法は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行×高さ。



33 丸山直文「Color Shadows」



47 普後均「FLYING FRYING PAN」

中島 潔 “今”を生きる —そして伝えたいこと

会期＝令和2年7月4日(土)～9月6日(日) 56日間
主催＝北海道立帯広美術館

特別協力＝大椿山六道珍皇寺

企画協力＝有限会社アトリエ・ウメ、株式会社アートカフェ

協賛＝株式会社ズコーシャ、株式会社北洋防災工業所、北海道
クリーン・システム株式会社

観覧料＝一般810(660)円、大学生510(400)円

高校生以下無料(当館ボランティア「しらかばの会」
2020年度無料招待事業)

()内は10名以上の団体、前売り、リピーター、相互
割引料金

関連事業

アーティスト・トーク

講師＝中島 潔氏(本展出品作家)

日時＝7月4日(土) 午前10時～(約60分)

会場＝当館講堂(応募制、定員25名)

中島 潔サイン会

日時＝7月4日(土) 午前11時30分～(約60分)

会場＝当館ロビー

ギャラリー・ツアー

日時＝7月18日(土)、8月29日(土) 午後2時～(約40分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

案内＝福地大輔(当館学芸課長)

ミュージアム・コンサート

出演＝飯村真理氏(ヴァイオリン、札幌交響楽団副首席奏者)

日時＝8月8日(土) 午後2時～(約60分)

会場＝当館ロビー(応募制、各回定員30人)

共催＝帯広美術館振興会

キッズ・ツアー

日時＝8月15日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券、高校生以下無料)

キッズ・ミュージアム「紙ぞめのうちわ作り」

日時＝8月1日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」



ポスター



図録

図録

規格＝29.8×22.8cm（A 4 判変形）／総頁数154ページ

構成＝ごあいさつ／中島潔「はじめに」／原寸大で見る中島潔作品の魅力／水島新司「はじめに」／久保田一洋「エッセー えっ、あの先生がこの先生？／故郷の情景より／心音図『地獄心音図』と『心音』／“心音図”総覧と解説／坂井田良宏「エッセー『地獄心音図』の奉納にあたって」／『地獄心音図』全5作と『心音』2作／「地獄」の絵解き／山下裕二「エッセー 中島潔の挑戦―地獄絵の復権を果たすために」／新しい風／小さな風と知られざる一面／資料編 出品作品リスト／略年譜

関連記事

「日本画 中島さんサイン会」北海道新聞（帯広・十勝版 朝刊）／6月19日(金)

広田まさの「繊細で力強い作風 中島潔さん特別展」北海道新聞（帯広・十勝版 朝刊）／7月5日(日)

大谷健人「『風の画家』 中島潔展開幕」十勝毎日新聞／7月6日(月)

三島今日子「とかちフォトギャラリー 子どもの姿はかなげ」北海道新聞（帯広・十勝版 朝刊）／7月16日(木)

中島潔は1943（昭和18）年に佐賀県で生まれ、18歳で上京し独学で絵を学んだ。28歳で渡仏後、本格的に画家になる決意をし、NHK テレビ「みんなのうた」のイメージ画で注目を集めることになる。

彼の作品は、哀しくも懐かしい故郷への憧憬が繊細なタッチで描かれていることが特徴である。その作風は優しい風が吹き抜けるようだと評され、「風の画家」とも呼ばれている。人気の高い童画、美人画のほかにも、文芸作品を作品のモチーフに採りあげるなど、原点に返りながら常に新境地を開拓しつづけ、2010年には京都・清水寺成就院に奉納する46枚の襖絵を完成させた。

近年は、この世のやり場のない「怒り」やもたらされるべき「救い」を「地獄絵」に託して描くことを決意して取り組み、京都、六道珍皇寺に奉納された『地獄心音図』を制作するなど、表現に力強さを増している。

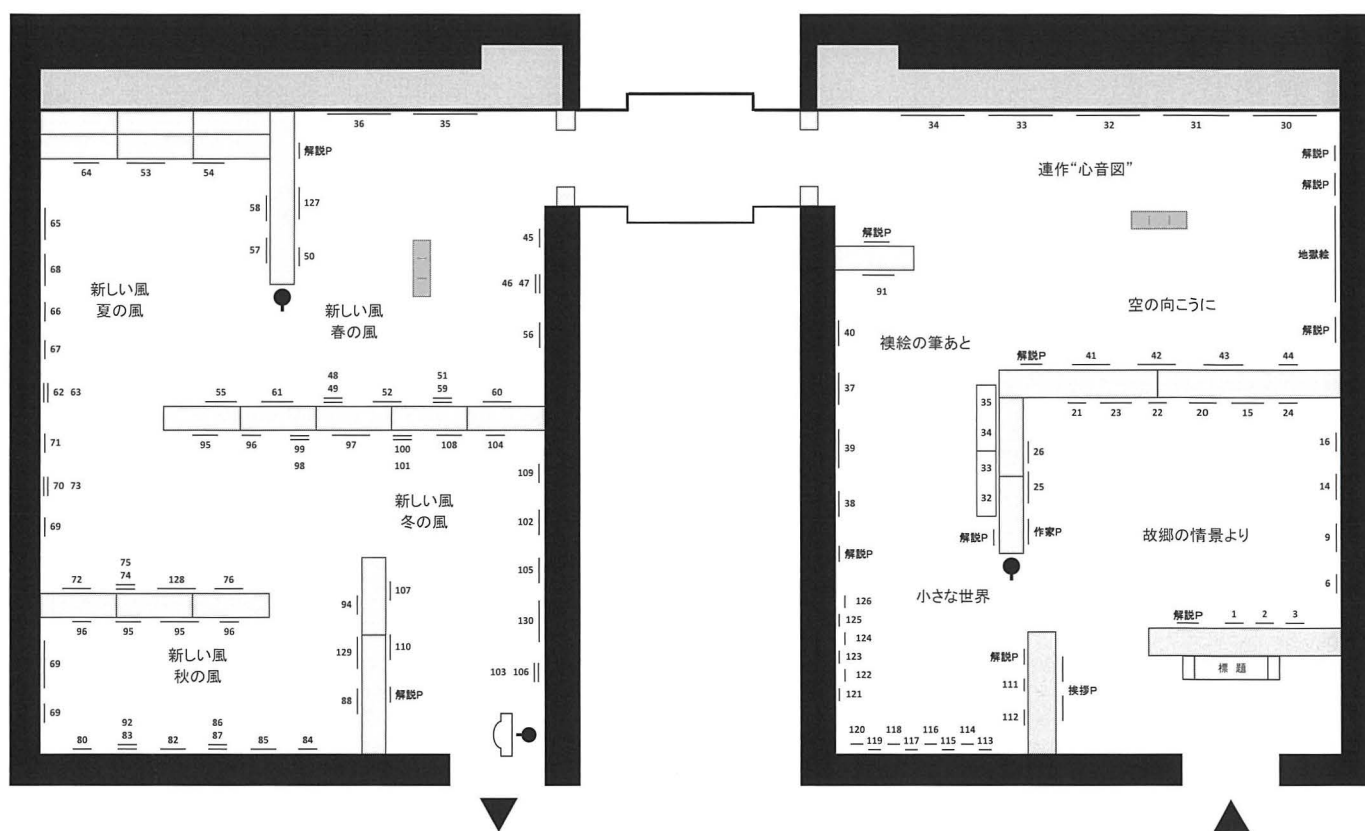
本展覧会では中島潔のこれまでの足跡を辿りつつ、六道珍皇寺に奉納された連作“心音図”をはじめ、新たな画境を切り拓いた作品を中心に約110点で構成。会期中の入場者数は3,219人であった。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)
■故郷の情景より				
1	ベチカ	1970	水彩	39.0×56.0
2	寒椿	1973	顔彩・パステル	31.5×41.5
3	北国の姉妹	1976	顔彩・パステル	40.9×27.3
4	娘三歳	1993	顔彩・パステル	33.3×45.5
5	遠い余韻	1983	岩絵具・顔彩	48.8×77.0
6	水辺の香り	2000	岩絵具・顔彩	55.5×80.0
7	風鈴	2002	岩絵具・顔彩	39.0×54.5
8	向日葵のゆれる頃	2005	岩絵具・顔彩	65.0×52.0
9	向日葵	2002	岩絵具・顔彩	45.0×75.0
10	花の行方	2004	岩絵具・顔彩	51.0×79.0
11	風薫る	2004	顔彩・パステル	45.0×54.8
12	追憶	2004	岩絵具・顔彩	49.0×77.0
13	あゆの風	2004	水彩	33.3×45.5
14	赤椿	2005	岩絵具・顔彩	45.0×70.0
15	東風	2005	岩絵具・顔彩	44.8×75.3
■小さな世界				
16	花ゆれて	2009	水彩	33.0×24.5
17	みかんとお手玉	2013	水彩	30.0×43.0
18	熟柿	2001	水彩	47.0×30.0
19	兎ふふ、	2010	水彩	32.0×23.0
20	赤いマフラー	2011	水彩	25.5×33.7
21	青いマフラー	2011	水彩	20.8×31.7
22	おやつ	2011	水彩	27.0×33.0

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)
23	お手玉	2009	水彩	20.7×32.0
24	木枯し	2012	水彩	24.0×34.0
25	みかん袋	2012	水彩	30.0×43.0
26	みかん	2011	水彩	27.0×33.0
27	みのり	2012	水彩	27.3×40.9
28	チャイナ服	2015	水彩	28.5×33.5
29	はあときんめこまど	2012	水彩	27.0×37.0
30	いずみちゃん	2013	水彩	33.0×36.0
31	微笑み	2015	水彩	31.0×39.5

■知られざる一面

- 32 〈そんごくう〉挿絵原画 (6点) ※1988年 ポプラ社刊
 33 〈小公女〉挿絵原画 (4点) ※1987年 ポプラ社刊
 34 〈とびだせバカラッチ隊〉挿絵原画 (9点) ※1983年 ポプラ社刊
 35 〈リトルボーイ〉挿絵原画 (7点) ※2005年 ポプラ社刊

■襖絵の筆あと

- | | | | | |
|----|--------|------|--------|------------|
| 36 | 天空の音色 | 2005 | 岩絵具・顔彩 | 44.8×75.9 |
| 37 | 月とかぐや姫 | 2005 | 岩絵具・顔彩 | 80.0×116.0 |
| 38 | 天空の舞 | 2005 | 岩絵具・顔彩 | 45.1×76.2 |
| 39 | 紅葉 | 2007 | 水彩 | 35.0×50.0 |
| 40 | 大漁 | 2010 | 岩絵具・顔彩 | 73.8×109.5 |

■空の向こうに

- | | | | | |
|----|----|------|--------|------------|
| 41 | 空 | 2010 | 岩絵具・顔彩 | 73.6×110.0 |
| 42 | 茜雲 | 2011 | 岩絵具・顔彩 | 79.8×115.8 |
| 43 | 風 | 2011 | 岩絵具・顔彩 | 73.0×110.0 |
| 44 | 想い | 2011 | 岩絵具・顔彩 | 44.7×59.8 |

■連作“心音図”

- | | | | | |
|----|------------------|------|----------|-------------|
| 45 | 熊野観心十界図 (複製) | 2015 | デジタルプリント | 173.0×178.0 |
| 46 | 地獄心音図 等活地獄 | 2015 | 顔彩・岩絵具 | 97.3×189.2 |
| 47 | 地獄心音図 黒縄地獄 | 2015 | 顔彩・岩絵具 | 97.6×189.0 |
| 48 | 地獄心音図 衆合地獄・叫喚地獄 | 2015 | 顔彩・岩絵具 | 97.6×188.8 |
| 49 | 地獄心音図 大叫喚地獄・焦熱地獄 | 2015 | 顔彩・岩絵具 | 97.9×189.2 |
| 50 | 地獄心音図 大焦熱地獄・阿鼻地獄 | 2015 | 顔彩・岩絵具 | 97.6×188.8 |
| 51 | 心音 夢の音色 | 2015 | 顔彩・岩絵具 | 97.8×189.0 |
| 52 | 心音 故郷の空 | 2015 | 顔彩・岩絵具 | 97.6×189.0 |



2「寒椿」



50「地獄心音図 大焦熱地獄・阿鼻地獄」

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)
■新しい風 春の風				
53	万葉舞花	2017	顔彩・岩絵具	190.0×99.0
54	春一番	2011	水彩	25.5×33.7
55	新しい風	2011	水彩	50.0×70.0
56	春の風	2011	水彩	35.0×50.0
57	早春の香り	2011	水彩	35.0×50.0
58	花童	2013	水彩	49.0×72.0
59	早春の詩	2014	水彩	51.0×72.8
60	鈴の音	2012	水彩	44.5×58.7
61	山里の春	2012	水彩	39.8×51.5
62	野の花	2013	水彩	34.7×49.7
63	野の風	2010	水彩	60.0×90.0
64	三姉妹	2011	水彩	50.0×70.0
65	桜坂の雨	2014	水彩	51.0×72.8
66	通り雨	2012	水彩	55.5×79.5
67	水辺の春	2013	岩絵具・顔彩	71.5×90.0
68	安曇野・光城山の桜	2013	岩絵具・顔彩	115.0×79.0
69	帰り道の風景	2012	水彩	50.0×72.7
70	紫陽花のゆるる頃	2012	水彩	66.0×96.0
■新しい風 夏の風				
71	ふるさとの夏	2011	水彩	35.0×50.0
72	トビウオ	2011	水彩	50.0×70.0
73	向日葵と童	2011	水彩	45.0×75.0
74	花の夢 少女	2011	水彩	12.0×50.0
75	花の夢 少年	2011	水彩	12.0×65.5
76	夏のバス停	2011	水彩	35.0×50.0
77	花びら	2010	水彩	35.0×47.0
78	花言葉	2013	水彩	49.0×72.0
79	うし蛙	2012	水彩	41.0×53.0
80	糸とんぼ	2013	水彩	34.7×49.7
81	かぼちゃ畑	2012	水彩	50.0×72.7
82	夏の駅	2013	水彩	49.0×72.0
83	水辺の夏	2013	水彩	34.7×49.7
84	子猫	2015	水彩	35.0×50.5
85	童の小倉祇園太鼓	2016	顔彩・岩絵具	79.3×115.7
86	倒木と童	2015	水彩	50.0×74.0
■新しい風 秋の風				
87	mailbox	2014	水彩	35.0×50.5
88	実りの風	2017	顔彩・岩絵具	71.5×90.5
89	里の実り	2013	水彩	51.5×74.5
90	かかしと少女	2013	水彩	36.0×51.5
91	秋の音色	2013	水彩	52.0×75.0
92	バケットを持つ少女	2013	水彩	34.8×44.8
93	少女とバケット	2013	水彩	34.8×44.8
94	峠のバス停	2013	水彩	49.0×72.0
95	花の音色	2010	水彩	50.0×35.9
96	子守唄	2012	水彩	34.0×31.5
97	笛の音	2011	水彩	35.0×50.0
98	唐津くんち	2012	岩絵具・顔彩	122.0×162.0
99	mail	2012	岩絵具・顔彩	44.0×63.5
100	秋風の詩	2013	水彩	51.5×74.5
101	風はあのふる里へ	2012	水彩	66.0×96.0
102	ふれあい	2012	水彩	39.8×51.5
103	秋あかね	2011	水彩	35.0×50.0

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)
■新しい風 冬の風				
104	初雪	2011	水彩	50.0×70.0
105	故郷の雪	2011	水彩	35.0×50.0
106	林檎	2012	水彩	33.3×45.5
107	紅の香	2012	水彩	23.0×32.0
108	獅子舞	2012	水彩	66.0×96.0
109	老梅と風	2012	水彩	40.9×53.0
110	優しい雪	2012	水彩	35.0×50.0
111	童の夢	2013	水彩	34.7×49.7
112	大根の詩	2012	水彩	320×45.0
113	父の帰る日	2012	水彩	33.3×45.5
114	雪降る日の待ち人	2014	水彩	35.8×51.5
115	永久への言葉	2017	顔彩・岩絵具	79.3×115.7
116	新しい予感	2014	水彩	51.0×72.8
117	ひだまり	2013	水彩	49.0×72.0
118	姉妹とマフラー	2013	水彩	34.7×49.7
119	静寂	2012	水彩	33.3×45.5
120	ベジタリアン	2015	水彩	50.0×74.0

* 寸法は縦×横。



52 「心音 故郷の空」



58 「花童」

蜷川実花展 一虚構と現実の間に一

会期＝令和2年9月19日(土)－12月6日(日) 69日間
主催＝蜷川実花展帯広実行委員会（北海道立帯広美術館・帯広市・帯広市教育委員会・十勝毎日新聞社・NPO十勝文化会議）、読売新聞社、美術館連絡協議会

協力＝富士フィルムイメージングシステムズ、東京リスマチック、フレームマン、東京スタジオ

特別協力＝STV札幌テレビ放送

企画協力＝ラッキースター、小山登美夫ギャラリー

企画プロデュース＝後藤繁雄＋G/P gallery

協賛＝株式会社エフリード、クレオユニオン株式会社、損保ジャパン、株式会社第一飼料、大日本印刷、有限会社高橋商事
タイヤワールド館 BEST 帯広店、税理士法人 竹川会計事務所、中井会計事務所、株式会社 日本 HP、プライダルプラザ衣舞、北洋銀行、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、北海道拓殖バス株式会社、マテックグループ、宮坂建設工業株式会社、よつ葉乳業株式会社、ライオン、株式会社ロゴスホーム、株式会社ワイドバンドコンピュータ

観覧料＝一般1,300(1,100)円、大学生500(400)円、高校生以下無料
()内は10名以上の団体、前売り、リピーター、相互割引料金
障害者手帳をお持ちの方などは無料

関連事業

Theater

日時＝会期中講堂の使用予定が無い日 午前10時～午後4時30分
会場＝当館講堂（入場無料）

キッズ・ツアー

日時＝9月26日(土) 午後2時～（約30分）
講師＝耳塚里沙（当館学芸員）
会場＝当館主展示室（要観覧券）

ワークショップ「ハーバリウムをつくろう」

日時＝10月4日(日) ①午前10時30分～12時 ②午後1時30分～3時
講師＝澤崎容子氏（日本ハーバリウム協会北海道統括校認定講師）
会場＝帯広百年記念館 1階2号室（参加費1,100～2,200円 選ぶボトルによって異なる、応募制、定員各回20名）

ギャラリー・ツアー

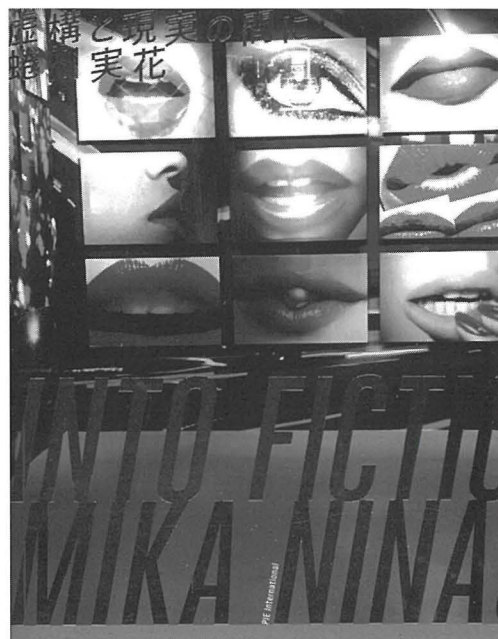
日時＝10月10日(土)、11月21日(土) 午後2時～（約40分）
講師＝耳塚里沙（当館学芸員）
会場＝当館主展示室（要観覧券）

キッズ・ミュージアム「ハロウィン★コスチューム」

日時＝10月24日(土) 午後1時30分～午後3時30分
会場＝当館講堂（託児無料） 定員＝10名
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」



ポスター



図録

特別展セミナー「蜷川実花展の魅力」

日時＝11月1日(日) 午後2時～3時

講師＝耳塚里沙(当館学芸員)

会場＝当館講堂(聴講無料、応募制、定員25名)

蜷川実花アーティスト・トーク

日時＝11月12日(木) 午後6時30分～午後8時

講師＝蜷川実花氏(写真家)、鈴木心氏(プロデューサー、ディレクター)

会場＝北海道ホテル 大雪の間(聴講無料、応募制、定員240名)

平日限定！早期来館ありがとうプレゼント

(蜷川展鑑賞後にSNS投稿した方にポストカードをプレゼント)

日時＝9月24日(木)～ 無くなり次第終了

蜷川実花さんバースデイ(蜷川実花の誕生日に、先着27名に缶バッジをプレゼント)

日時＝10月18日(日)

平日来館ありがとうプレゼント(蜷川展鑑賞後にSNS投稿をした方にポストカードをプレゼント)

日時＝11月18日(木)、19日(木)、20日(金)、25日(木)、26日(木)、27日(金)

リピーター歓迎プレゼント(蜷川実花展の過去のSNS投稿画面を提示した方から抽選で図録をプレゼント)

日時＝11月28日(土)、29日(日)

図録

規格＝28.5×22.0cm(A4判変形)／総頁数208ページ

構成＝01 桜 SAKURA／02 永遠の花 Everlasting Flowers／
03 うつくしい日々 The days were beautiful／
04 PLANT A TREE／05 Self-image／
06 trans-kyoto／07 Portraits of the Time／
08 INTO FICTION/REALITY／マティアス・ハーダー
「純然たる美」／桜井武「現代アートの十字路－蜷川実花の世界」／サイモン・ベーカー×蜷川実花 対談／
蜷川実花 略歴

主要関連記事

「時代の先端走る感性 鮮烈な色彩表現 写真展『蜷川実花展－虚構と現実の間に－』 帯広美術館で9月に開幕」十勝毎日新聞／1月1日(木)

「写真の本質に迫る、鮮烈な表現 写真展『蜷川実花展－虚構と現実の間に－』」十勝毎日新聞／9月9日(木)

大木祐介「360度『桜』…迫力の展示徐々に 帯広美術館開幕へ準備本格化」十勝毎日新聞／9月15日(火)

牧内奏「写真展 蜷川実花さんインタビュー」十勝毎日新聞／9月18日(金)

大木祐介「蜷川実花展 開幕」十勝毎日新聞／9月19日(土)

大木祐介「独自の展示 新鮮な鑑賞」十勝毎日新聞／9月27日(日)

三島今日子「とちろフォトギャラリー 色彩感覚 見る者魅了 道立帯広美術館で蜷川展」北海道新聞／10月1日(木)

耳塚里沙「蜷川実花展 虚構と現実の間に①～⑤」十勝毎日新聞／10月5日(月)、6日(火)、7日(水)、8日(木)、9日(金)

大木祐介「子ども記者がゆく！ カラフル世界写真にこめた思い」十勝毎日新聞(こども しんぶん)／11月14日(土)

安田義教「作品『頑張る』きっかけに 蜷川実花さんインタビュー」十勝毎日新聞／11月16日(月)

大木祐介「蜷川実花さんトーク」十勝毎日新聞／11月21日(土)



会場風景

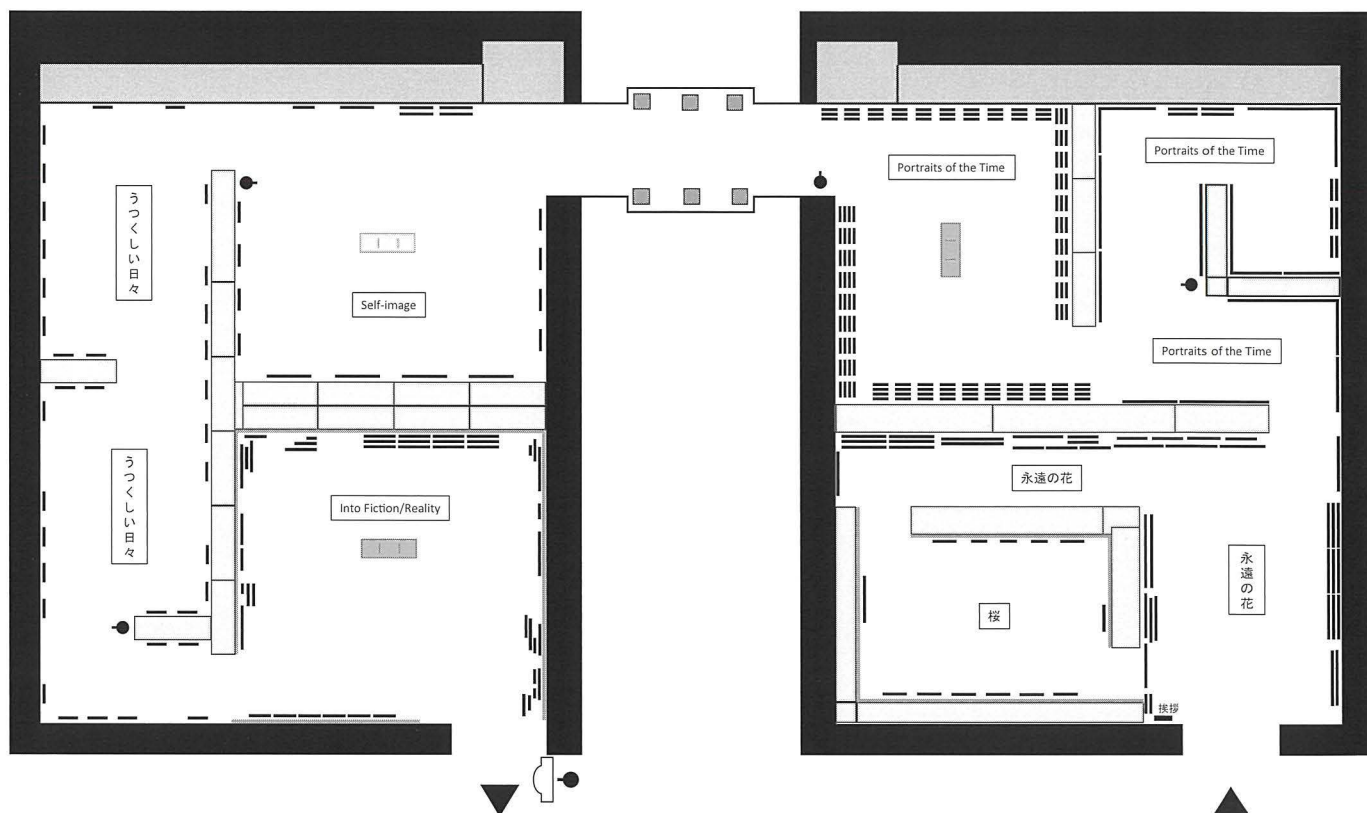


会場風景

写真家・蛭川実花は、写真の他にも、映画、デザイン、ファッションなど多彩な活動で知られている。1990年代後半から写真家として活動を始め、現在に至るまで数多くの展覧会・写真集で作品を発表している。本展では、「虚構と現実」をテーマに蛭川実花の写真を紹介した。色鮮やかな花々を撮影した《永遠の花》、桜の写真を壁、床、天井に貼り、360度桜の花に囲まれる空間にした《桜》、著名人やスポーツ選手を撮影した《Portraits of the Time》、蛭川自身による白黒のセルフポートレートである

《Self-image》、父・蛭川幸雄が亡くなる前後1ヶ月の間に撮影した写真と文章を組み合わせた《うつくしい日々》、黒を基調とした写真シリーズや近作を展示した《INTO FICTION / REALITY》の6つのコーナーで、蛭川実花作品の多様さを紹介した。また、喫茶室への渡り廊下の窓全面に、蛭川実花の写真を透過フィルムに出力して貼った。

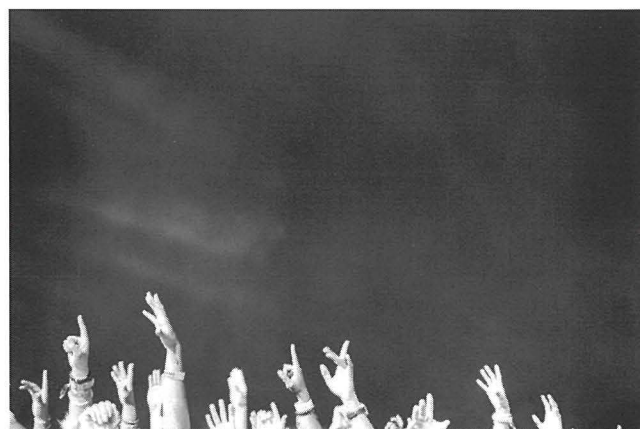
学校や施設からの団体観覧も多く、子どもから大人まで幅広い年齢層の観覧者が見られ、2万9241人が来館した。



展示図面



「Earthly flowers, heavenly colors」
©mika ninagawa Courtesy of Tomio Koyama Gallery



「Light of」
©mika ninagawa Courtesy of Tomio Koyama Gallery

出品目録

No.	作品名	点数
1	永遠の花 あるとき、蜷川実花は墓地に供えられた造花を見て衝撃を受ける。枯れることのない華美な花。すでにこの世を去った愛しい人の記憶を、永遠に留めたいという欲望の表象。生と死の混沌や矛盾を背負わされてしまった「花の宿命」に蜷川は向き合い続ける。	42
2	桜 桜は日本の国花。人は桜に、単なる花の美しさだけでなく、咲き誇り、儚く散る様に「いのち」や「人生」も重ねてきた。蜷川実花は「死ぬ間際にも桜を見たい」と言うほどの桜好きだが、同時に日本の桜のほとんどがクローンであることに、文明の宿命を見てとるのである。	13
3	Portraits of the Time 「人の顔」には何が顕れるのだろうか？「真実」？「人生」？過去に多くの写真家たちがその「問い」に挑んできた。蜷川実花の「写真のまなざし」は、男たちが中心に築いてきた肖像写真史とは一線を画す。時代を共有する存在同士の「共演」「共振」の産物なのだ。 秋元梢 浅野忠信 麻生久美子 安達祐実 アナ・スイ 阿部寛 綾野剛 有村架純 杏 池田エライザ 池松壮亮 石原さとみ 市川海老蔵(十一代目) 市川猿之助(四代目) 市川実日子 井上真央 井上芳雄 岩田剛典(EXILE、三代目J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE) UA ウサイン・ボルト AKB48 HKT48 大島優子 太田莉菜 小栗旬 楓(E-girls、Happiness) 笈美和子 片寄涼太(GENERATIONS from EXILE TRIBE) 門脇麦 神木隆之介 北野武 吉川晃司 木村佳乃 桐谷美玲 草間彌生 窪塚洋介 栗山千明 黒木メイサ ケンブリッジ飛鳥 小嶋陽菜 倅田来未 小林直己(EXILE、三代目J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE) 小松菜奈 コムアイ(水曜日のカンパネラ) 斎藤工 坂口健太郎 坂本龍一 佐々木希 Suchmos 佐藤健 椎名林檎 重本沙絵 シシド・カフカ 柴咲コウ 白石麻衣(乃木坂46) 杉咲花 須田アンナ(E-girls、Happiness) 菅田将暉 瀬戸内寂聴 瀬戸大也 ソフィア・コッポラ TAO 高杉真宙 高畑充希 竹内涼真 玉城ティナ 壇蜜 千葉雄大 CHIHARU Chara チャン・グンソク チャン・ツイイー 土屋アンナ 妻夫木聡 ディタ・フォン・ティース ディーン・フジオカ 寺島しのぶ 東方神起 戸田恵梨香 冨永愛 NAOTO(EXILE、三代目J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE) 中川翔子 長澤まさみ 中条あやみ 中田英寿 中村獅童 中村里砂 永山絢斗 仲里依紗 成田凌 二階堂ふみ 西野七瀬 野村萬斎 白鵬翔 橋本愛 長谷川潤 長谷川博己 羽生結弦 ハリソン・フォード 坂東希(E-girls) 引田天功 深田恭子 福士蒼汰 福山雅治 藤井夏恋(E-girls、Happiness) 古川雄輝 Hoshiko 前田敦子 松井珠理奈(SKE48) 松岡茉優 松岡モナ 松坂桃李 松平健 松たか子 松田翔太 松田龍平 松本幸四郎(十代目) 松本白鸚(二代目) 松山ケンイチ 間宮祥太朗 マメ山田 真矢ミキ 萬波ユカ 水川あさみ 水原希子 湊ジュリアナ 宮沢りえ 宮脇咲良(HKT48) 村上隆 MEGUMI 桃井かおり ももいろクローバーZ 百田夏菜子(ももいろクローバーZ) 森川葵 森星 矢沢永吉 山崎賢人 YUCA YURINO(E-girls、Happiness) 吉岡里帆 吉川ひなの YOSHIKI 吉高由里子 吉田鋼太郎 竜星涼 リン・チャーリン ローラ 鷲尾伶菜(E-girls) 渡辺謙 渡辺直美 * 敬称略、50音順 * 名称は2020年現在のもの * ()内は歌舞伎役者の代数やグループ名	161
4	Self-image 「私」とは「誰」なのだろう？仕事で世界を飛び回り、大勢の人と関わりながら仕事をする中で、一人の時間にふと思う。「何も武装していない、生身の私」。蜷川のデビュー作が、モノクロの「セルフポートレート」であったことが示すように、原点であり、終わらない「問い」なのだ。	18
5	うつくしい日々 父であり、偉大な演出家であった蜷川幸雄は惜しくも2016年5月にこの世を去った。倒れ、入院生活を余儀なくされた中で、ゆっくりと死に向かっていく父。蜷川実花は、ときには父の「まなざし」にもなり代わり、眩いほどの光に満ちた世界と日々を記録した。	35
6	INTO FICTION/REALITY 蜷川実花の写真はさらに彼方へと飛翔する。しかしそれは、特定の時空ではない。熱狂、ノイズ、エロス、死、消滅、永遠、光、闇……。虚構と現実が入り混じり、高速で変容し続ける美しきカオスへ、蜷川の写真は突入していく。	45
7	Theater 近年蜷川が制作した映像作品「UNTITLED」(8:00)、「TOKYO NOIR」(8:39)、「TOKYO 道中」(7:45)の3本を当館講堂で繰り返し上映。	

池田 緑 展

会期＝令和2年12月19日(土)－令和3年3月21日(日)
74日間
主催＝北海道立帯広美術館

特別協賛＝平原社美術協会
協賛＝FLOWMOTION cafe and gallery

観覧料＝一般520(410)円、大学生300(220)円、高校生以下無料
(高校生は当館ボランティア「しらかばの会」2020年度無料招待事業)
()内は10名以上の団体、前売り、リピーター、相互割引料金

関連事業

アーティスト・トーク

「私と現代アート ―四半世紀を語る―」
講師＝池田緑氏(出品作家・現代アート作家)
日時＝12月19日(土) 午後2時～3時
会場＝当館講堂(聴講無料、応募制、定員25名)

トーク&レクチャー

「池田緑の制作と背景をさぐる」
講師＝池田緑氏(出品作家・現代アート作家、12/19)、
蘭部容子(当館主任学芸員、12/20)
日時＝12月19日(土)、12月20日(日) 午後2時～3時(全2回)
会場＝当館講堂、主展示室(要観覧券、応募制、定員各日25名)
*19日はアーティスト・トークとしても開催

特別展セミナー

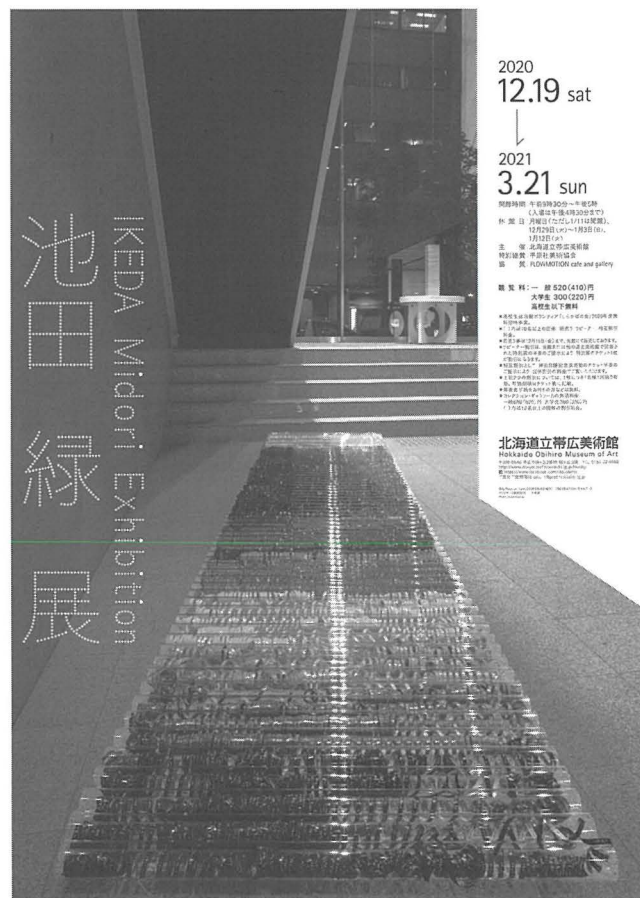
「池田緑：作品と活動」
講師＝蘭部容子(当館主任学芸員)
日時＝1月16日(土)、2月20日(土) 午後2時～3時
会場＝当館講堂(聴講無料)

フリートーク①

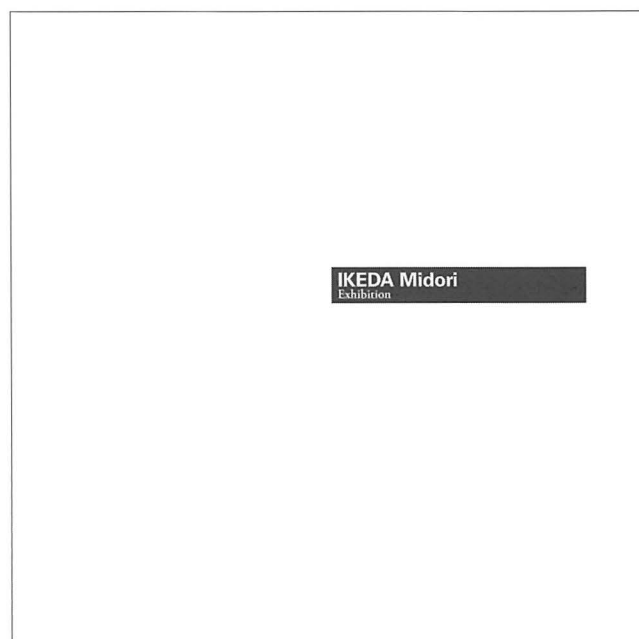
「池田緑+十勝の現代アート作家」
講師＝池田緑氏、梅田マサノリ氏、伽井丹彌氏、鈴木隆氏、
吉野隆幸氏
日時＝1月30日(土) 午後2時～3時30分
会場＝当館ロビー(聴講無料、応募制、定員25名)

ワークショップ

「日々のカケラ」
講師＝池田緑氏(出品作家・現代アート作家)
日時＝2月13日(土) 午後2時～4時
会場＝当館講堂(参加無料、応募制、定員12名)
対象＝中学生以上



ポスター



図録

キッズ・ミュージアム

「冬のまんげきょう」

日時＝2月27日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

フリートーク②

「池田緑×十勝の油彩画家」

講師＝池田緑氏、井出宏子氏、神田絵里子氏、中西千尋氏、由良真一氏

日時＝3月6日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館ロビー（聴講無料、応募制、定員25名）

キッズ・ツアー

講師＝蘭部容子（当館主任学芸員）

日時＝3月13日(土) 午後2時～2時30分

会場＝当館主展示室（要観覧券）

冬の美術館フェスタ

日時＝2月6日(土)、7日(日)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター

・「緑ヶ丘★スタンプラリー」

日時＝2月6日(土)、7日(日) 午前9時30分～午後5時

会場＝当館ロビー、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター（参加無料）

・「ミッション in てんらんかい★」

日時＝2月6日(土)、7日(日) 午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館主展示室（要観覧券）

・「ミュージアム・シアター『世界で一番ゴッホを描いた男』」

日時＝2月6日(土) 午前11時～、午後1時～（各回84分）

会場＝当館講堂（入場無料、定員25名）

・「ミュージアム・ツアー」

日時＝2月7日(日) 午後1時～（60分）

会場＝当館主展示室ほか（要観覧券、定員5名）

図録

規格＝21.0×21.2cm／総頁数138ページ

構成＝作者のことば／展覧会開催にあたって／蘭部容子「時の刻印」／コーナー解説・図版「ジーンズ」「プラスチックテープ」「マスク」「言葉」「映像」／作品解説／年譜／海外旅行記録一覧／文献目録／出品目録

関連記事

蘭部容子「新・北の美83 池田緑『My Place on Earth（地球の私の居場所）－1943年4月3日に生まれて－』『北方圏』Vol.188／2020年9月

大木祐介「『池田緑展』19日に開幕」十勝毎日新聞／12月7日(月)

大木祐介「池田緑さんインタビュー」十勝毎日新聞／12月18日(金)

蘭部容子「丘の上のミュージアムから 現代美術が『分からない』と言う前に」勝毎電子版ジャーナル／12月18日(金)

古谷育世「身近な素材で現代アート」北海道新聞／12月20日(日)

大谷健人「池田緑展 開幕」十勝毎日新聞／12月20日(日)

三島今日子「ひと 池田緑さん」北海道新聞／1月10日(日)

大木祐介「池田緑作品を解説」十勝毎日新聞／1月17日(日)

三島今日子「とかちフォトギャラリー 身近な素材で社会を照射」北海道新聞／1月21日(木)

柴橋伴夫「アートランダム④ 『マスク』が語ること」北海道建設新聞／1月21日(木)

蘭部容子「アートの歩み刻んで 池田緑展から 1～5」十勝毎日新聞／1月29日(金)、30日(土)、2月1日(月)、3日(水)、5日(金)

大木祐介「十勝の現代アート回顧」十勝毎日新聞／1月31日(日)

蘭部容子「おびひろミュージアム通信86 釧路ゆかり『池田緑展』」釧路新聞／2月1日(月)

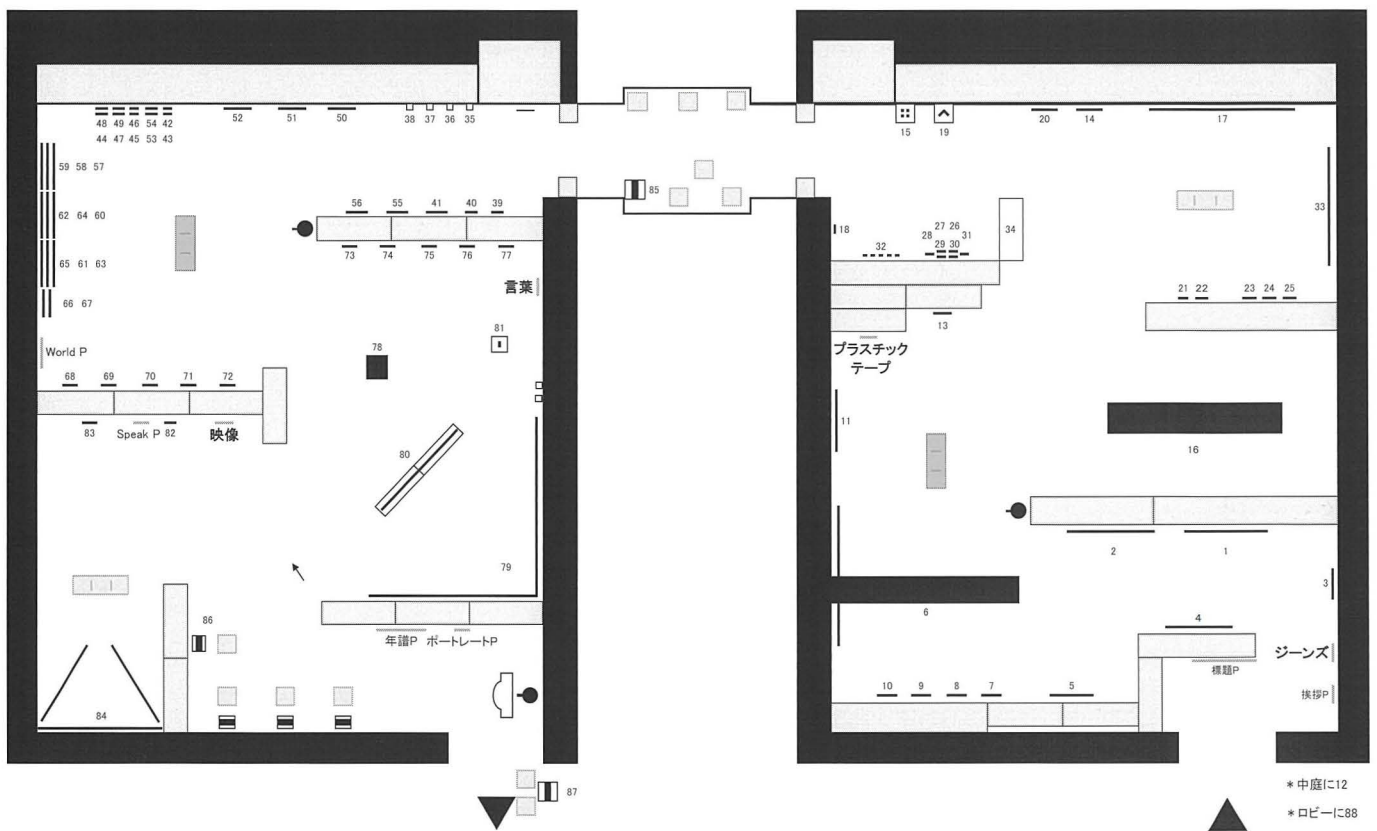
久才秀樹「現代アートへの思い 作家5人がトーク」北海道新聞（夕刊）／2月5日(金)

石川彩乃「テープ貼り付け 作品作りに挑戦」十勝毎日新聞／2月15日(月)

池田緑は1943(昭和18)年、朝鮮の咸興^{ヘムフン}生まれ。2歳で日本に引き揚げてきた後、主に秋田市、札幌市、釧路市で暮らした。北海道学芸大学（現・北海道教育大学）釧路分校卒業後、帯広市内の高校で国語教師となる。一方で子供の頃から絵を描くことが好きで、1980年代から平原展や全道展、独立展などに油彩画を発表し、実績を重ねていった。

1993年、50歳で教職を辞し、以後本格的な創作活動をスタートさせる。これと前後して、それまで手掛けていた油彩画から、立体造形やインスタレーションといった現代美術の作品へと方向を大きく転換した。現代美術に分類される作品を制作するようになった池田は、素材やテーマを変えながらも、「時間」や「言葉」そして「社会」と向き合いながら一貫して自身の歩みや自身を取り巻く環境を作品化している。本展では、テーマや素材ごとに「ジーンズ」「プラスチックテープ」「マスク」「言葉」「映像」の5つのコーナーに分け、88点を展示した。

会期中は作家によるアーティスト・トークやワークショップのほか、座談会形式のフリートークを2回行うなど、地元で活躍する作家の多面的な魅力を紹介した。会期中は主に道内各地から2,436人の入場者を迎えた。



展示図面

出品目録

No.	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵
■ジーンズ					
1	ALICE'S JEANS	1993 (平成 5)	油彩、キャンバス	各22.0×27.3 (40点組)	作家蔵
2	ALICE'S SPECIMEN	1995 (平成 7)	油彩、キャンバス、標本箱	各30.0×40.0×6.5 (15点組)	作家蔵
3	アリスの風景	1996 (平成 8)	油彩、キャンバス	53.0×80.3	作家蔵
4	ALICE'S SPECIMEN	1996 (平成 8)	シルクスクリーン、紙、アクリル パイプ、枯葉、枯枝	102.4×190.6×9.8	北海道立帯 広美術館蔵
5	MY SPECIMEN	1998 (平成10)	シルクスクリーン、紙、アクリル パイプ	展示サイズ：106.4×155.0×9.2 (3点)	作家蔵
6	THE SEVEN MONTHS in TORARI	1998 (平成10)	シルクスクリーン、インクジェッ トプリント、紙、アクリルパイプ、 枯葉、枯枝	展示サイズ：縦10m×横4m、バナー： 1000.0×91.5、ボックス：205.0× 34.0×10.0 (5点)、205.0×47.0× 10.0 (1点)、205.0×61.0×10.0 (1点)	作家蔵



会場写真



会場写真

No.	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵
7	ALICE'S JEANS	2000 (平成12)	シルクスクリーン、コラージュ、紙	78.0×53.0	作家蔵
8	ALICE'S JEANS	2000 (平成12)	シルクスクリーン、コラージュ、紙	78.0×53.0	作家蔵
9	ALICE'S JEANS	2000 (平成12)	シルクスクリーン、コラージュ、紙	78.0×53.0	作家蔵
10	ALICE'S JEANS	2000 (平成12)	シルクスクリーン、コラージュ、紙	78.0×53.0	作家蔵
11	リサにもらった版画に始まるストーリー	2010 (平成22)	シルクスクリーン、紙、コラージュ	150.0×150.0	青森放送株式会社蔵
12	冬の華 もしくは JEANS FLOWER	2014 (平成26)	カラーコピー、紙、木	各91.5×91.5×91.5 (5点組)	作家蔵
■プラスチックテープ					
13	My Own Specimen (1943年4月3日に生まれて)	1999 (平成11)	プラスチックテープ、アクリルパイプ	205.5×59.9×7.8	北海道立帯広美術館蔵
14	I WAS BORN.	2006 (平成18)	プラスチックテープ、紙	72.0×53.0	作家蔵
15	四つの言葉	2009 (平成21)	プラスチックテープ、アルミ	各17.0×20.0×8.0 (4点組)	作家蔵
16	My Place on Earth (地球の私の居場所) ー1943年4月3日に生まれてー	2010 (平成22) ～(継続制作)	プラスチックテープ、アクリルパイプ	展示サイズ：サイズ可変、アクリルパイプ：径6.0×103.0 (79本)	作家蔵
17	My Personal History ー1943年4月3日に生まれてー	2011 (平成23) ～(継続制作)	プラスチックテープ	展示サイズ：103.0×520.0×15.0ほか、サイズ可変	作家蔵
18	Georgia O'Keeffe のカレンダーを “2つ” 買った日	2012 (平成24)	油彩、キャンバス、プラスチックテープ、小枝、バーコードシール	36.0×29.0×4.5	作家蔵
19	I WAS BORN.	2014 (平成26) /2020(令和2)	プラスチックテープ、紙	29.3×26.2×6.5	作家蔵
20	I WAS BORN.	2016 (平成28)	プラスチックテープ、紙	72.0×54.0	作家蔵
21	I WAS BORN.	2016 (平成28)	プラスチックテープ、紙	76.0×26.5	作家蔵
22	I WAS BORN.	2016 (平成28)	プラスチックテープ、紙	76.0×26.5	作家蔵
23	I WAS BORN.	2016 (平成28)	プラスチックテープ、紙	22.0×33.0	作家蔵
24	I WAS BORN.	2016 (平成28)	プラスチックテープ、紙	22.0×32.5	作家蔵
25	I WAS BORN.	2016 (平成28)	プラスチックテープ、紙	21.5×38.5	作家蔵
26	I WAS BORN.	2016 (平成28)	プラスチックテープ、紙	26.5×24.5	作家蔵
27	I WAS BORN.	2016 (平成28)	プラスチックテープ、紙	26.5×27.0	作家蔵
28	I WAS BORN.	2017 (平成29)	プラスチックテープ、紙	26.5×23.5	作家蔵
29	I WAS BORN.	2017 (平成29)	プラスチックテープ、紙	26.5×22.5	作家蔵
30	I WAS BORN.	2017 (平成29)	プラスチックテープ、紙	26.5×23.5	作家蔵



12「冬の華 もしくは JEANS FLOWER」

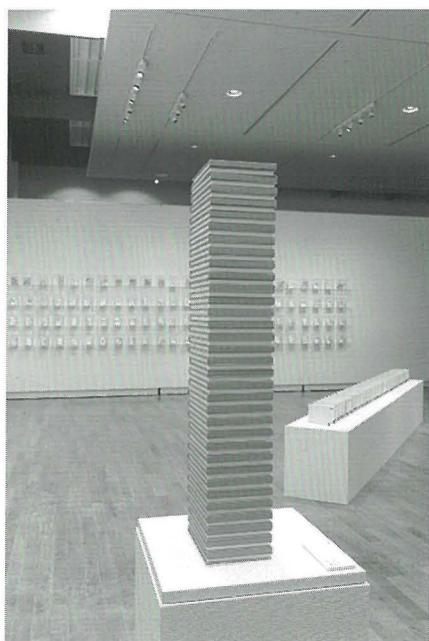


16「My Place on Earth (地球の私の居場所)
ー1943年4月3日に生まれてー」

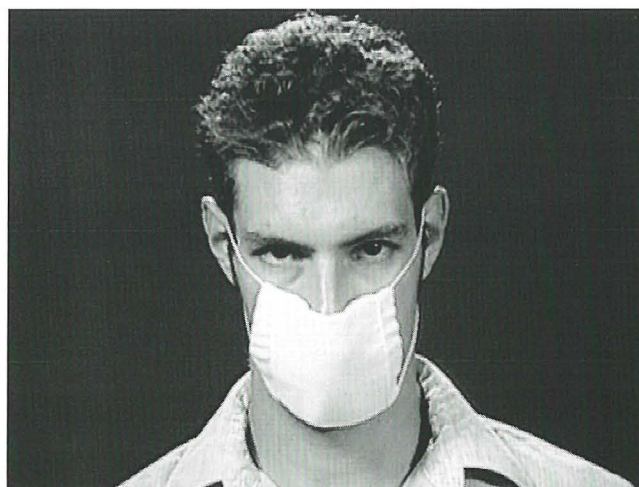
No.	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵
31	I WAS BORN.	2017 (平成29)	プラスチックテープ、紙	26.5×26.5	作家蔵
32	日々のかげら	2017 (平成29)	プラスチックテープ、紙	各23.0×16.0 (5点組)	作家蔵
33	船が一艘 大海を進んでいる	2020 (令和2)	プラスチックテープ、紙	各91.2×182.3 (2点組)	作家蔵
34	《I WAS BORN.》資料		書籍等	一式	作家蔵
■マスク					
35	MASK SPECIMEN サホロの72ヶ月 (1999年8月13日～2005年8月13日)	1999～2005 (平成11～17)	マスク	12.3×8.0×2.5	作家蔵
36	MASK SPECIMEN サホロの72ヶ月 (1999年8月13日～2005年8月13日)	1999～2005 (平成11～17)	マスク	12.8×11.5×4.4	作家蔵
37	MASK SPECIMEN サホロの72ヶ月 (1999年8月13日～2005年8月13日)	1999～2005 (平成11～17)	マスク	15.8×9.5×2.7	作家蔵
38	MASK SPECIMEN サホロの72ヶ月 (1999年8月13日～2005年8月13日)	1999～2005 (平成11～17)	マスク	9.8×9.3×2.5	作家蔵
39	Silent Breath サホロの7ヶ月／12ヶ月／21ヶ月／24ヶ月 より	2001～2002 (平成13～14)	コロタイプ、紙	13.0×10.0	作家蔵
40	Silent Breath サホロの7ヶ月／12ヶ月／21ヶ月／24ヶ月 より	2001～2002 (平成13～14)	コロタイプ、紙	13.0×10.0	作家蔵
41	Silent Breath サホロの7ヶ月 (1999年8月13日～2000年3月19日)	2002 (平成14)	インクジェットプリント、紙	76.3×57.0	作家蔵
42	Silent Breath サホロの3ヶ月	2002 (平成14)	イメージ・トランスファー、紙	8.4×9.7	作家蔵
43	Silent Breath サホロの21ヶ月	2002 (平成14)	イメージ・トランスファー、紙	8.5×10.0	作家蔵
44	Silent Breath サホロの7ヶ月	2002 (平成14)	コロタイプ、紙	6.3×9.8	作家蔵
45	Silent Breath サホロの7ヶ月	2002 (平成14)	コロタイプ、紙	9.6×6.3	作家蔵
46	Silent Breath サホロの7ヶ月	2002 (平成14)	コロタイプ、紙	9.5×6.3	作家蔵
47	Silent Breath サホロの7ヶ月	2002 (平成14)	コロタイプ、紙	6.6×10.3	作家蔵
48	Silent Breath サホロの7ヶ月	2002 (平成14)	コロタイプ、紙	5.9×9.5	作家蔵
49	Silent Breath サホロの7ヶ月	2002 (平成14)	コロタイプ、紙	7.5×10.5	作家蔵
50	Silent Breath サホロの7ヶ月／12ヶ月／21ヶ月／ 24ヶ月／33ヶ月／48ヶ月 10点組より	2003 (平成15)	インクジェットプリント、キャン バス	365.0×91.0	作家蔵
51	Silent Breath サホロの7ヶ月／12ヶ月／21ヶ月／ 24ヶ月／33ヶ月／48ヶ月 10点組より	2003 (平成15)	インクジェットプリント、キャン バス	365.0×91.0	作家蔵
52	Silent Breath サホロの7ヶ月／12ヶ月／21ヶ月／ 24ヶ月／33ヶ月／48ヶ月 10点組より	2003 (平成15)	インクジェットプリント、キャン バス	365.0×91.0	作家蔵
53	Silent Breath サホロの36ヶ月	2003 (平成15)	イメージ・トランスファー、紙	8.5×12.3	作家蔵
54	Silent Breath サホロの36ヶ月	2003 (平成15)	イメージ・トランスファー、紙	8.5×12.3	作家蔵
55	Silent Breath サホロの60ヶ月 (1999年8月13日～2004年8月13日)	2004 (平成16)	インクジェットプリント、紙	76.3×57.0	作家蔵
56	Silent Breath サホロの72ヶ月 (1999年8月13日～2005年8月13日)	2005 (平成17)	インクジェットプリント、紙	76.3×57.0	作家蔵
57- 67	A World Masked, 1999～2010	2008～2010 (平成20～22)	インクジェットプリント、紙	77.0×114.0	作家蔵
68	My Day, My Place 2012年4月30日／OBIHIRO, Japan	2012 (平成24)	タイプCプリント、紙	73.0×51.5	作家蔵
69	My Day, My Place 2012年5月6日／OBIHIRO, Japan	2012 (平成24)	タイプCプリント、紙	73.0×51.5	作家蔵
70	My Day, My Place 2012年12月14日／LAKE TEKAPO, New Zealand	2013 (平成25)	タイプCプリント、紙	73.0×51.5	作家蔵
71	My Day, My Place 2013年12月30日／KANDY, Sri Lanka	2014 (平成26)	タイプCプリント、紙	73.0×51.5	作家蔵
72	My Day, My Place 2014年8月2日／SEWARD, USA	2015 (平成27)	タイプCプリント、紙	73.0×51.5	作家蔵
73	My Day, My Place 2016年10月23日／KUNITACHI, Japan	2017 (平成29)	タイプCプリント、紙	73.0×51.5	作家蔵
74	My Day, My Place 2018年7月6日／CHICAGO, USA	2019 (令和元)	タイプCプリント、紙	73.0×51.5	作家蔵
75	My Day, My Place 2018年7月18日／CHICAGO, USA	2019 (令和元)	タイプCプリント、紙	73.0×51.5	作家蔵
76	My Day, My Place 2019年11月2日／MEMPHIS, USA	2020 (令和2)	タイプCプリント、紙	73.0×51.5	作家蔵
77	My Day, My Place 2019年11月5日／NEW ORLEANS, USA	2020 (令和2)	タイプCプリント、紙	73.0×51.5	作家蔵

No.	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵
■言葉					
78	444の日	2010 (平成22)	本	展示サイズ：67.5×76.0×120.0、 本：各13.5×19.0×5.0 (444冊)	北海道立釧路芸術館蔵
79	FOUR WORD STORIES 「四つの言葉」の物語	2010～2015 (平成22～27)	手帳2冊、プラスチックテープ、 募言箱 (アクリルケース)	各29.7×21.0 (200点組) ほか	作家蔵
80	33の日	2011 (平成23)	本	展示サイズ：サイズ可変、 本：各13.5×19.0×0.8 (33冊)	作家蔵
81	66の日	2012 (平成24)	本	展示サイズ：サイズ可変、 本：各13.5×19.0×1.1 (66冊)	作家蔵
■映像					
82	Silent Breath 10/11/2001 NYC (Speak)	2001 (平成13)	映像作品 企画・編集：池田緑、 制作：Motion Planet, Inc.	4:54	作家蔵
83	Silent Breath 10/11/2001 NYC (Hand movement)	2001 (平成13)	映像作品 企画・編集：池田緑、 制作：Motion Planet, Inc.	3:41	作家蔵
84	Silent Breath 2001 New York	2001 (平成13)	映像作品 企画・編集：池田緑、 制作：Motion Planet, Inc.	58:10	作家蔵
85	New York with Masks 2001	2001 (平成13)	映像作品 企画・編集：池田緑、 制作：Motion Planet, Inc.	7:22	作家蔵
86	キノさんとキノさんの家の4週間	2006(平成18) /2015(平成27) 再編集	映像作品 撮影・編集：池田緑	1:03:43/1:15:40/52:06/1:07:38 (全4週)	作家蔵
87	FOUR WORD STORIES 「四つの言葉」の物語	2015 (平成27)	映像作品 撮影・編集：池田緑	2:55:47	作家蔵
88	十勝川河口まで歩くーリチャード・ロングに捧ぐー	2018 (平成30) /2020(令和2) 再編集	映像作品 撮影：池田緑、編集：田中良治	10:30	作家蔵

* 寸法は、特記以外は縦×横 (×厚さ) または幅×奥行×高さ。
 * No.12は中庭、No.87は主展示室出口、No.88はロビーで展示。



81 「66の日」



82 「Silent Breath 10/11/2001 NYC(Speak)」

ロビー展示

大樹町酪農アーティスト展

会期＝令和元年 9 月14日(土)－11月24日(日) 63日間

前期：9 月14日(土)－10月20日(日)

後期：10月22日(火)－11月24日(日)

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝無料

関連事業

アーティスト・トーク

講師＝佐川麻代氏、下山明花氏（出品作家）

日時＝10月20日(日) 午後2時～（約60分）

会場＝当館ロビー（入場無料）



会場風景

道内の美術館・文化施設などが連携し、鑑賞の機会や楽しみを増やそうと、2018年より始まった「アートギャラリー北海道」。北海道教育委員会が取り組むこの事業では、「美術館を歩き交う人々があふれ、北海道全体がアートの舞台になる」ことを目指す。

本展では、アートギャラリー北海道事業の一環として、大樹町酪農アーティストの二人を取り上げた。佐川麻代と下山明花

は、若手芸術家を受け入れて移住定住につなげる大樹町の事業に応募し、大樹町で酪農業に従事しながら制作を行っている。

見知らぬ土地に飛び込み、慣れない酪農に従事しながら、美しい自然と新しい出会いによって生まれたみずみずしい作品の数々。会期を前後期に分け、前期（9/14～10/20）に木版画の下山明花、後期（10/22～11/24）に平面作品の佐川麻代の作品を展示した。

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法（cm）
【前期】					
1	下山明花	「つれていってよ、宇宙船」	2019	油性木版・水性木版、紙	91.5×57.3
2	下山明花	Space station -roll-	2019	油性木版・水性木版、紙	22.3×38.0
3	下山明花	よりそうふたり	2019	油性木版・水性木版、紙	15.2×17.1
4	下山明花	いちばんぼし	2018	油性木版・水性木版、紙	14.0×23.1
5	下山明花	みちしるべ	2018	油性木版・水性木版、紙	12.6×19.7
6	下山明花	夜空のキャラバン	2019	油性木版・水性木版、紙	29.6×22.4
7	下山明花	帰郷を夢見る四兄弟	2018	油性木版・水性木版、紙	23.2×23.2
【後期】					
1	佐川麻代	ユキトケ	2017	透明水彩・岩絵具、和紙・毛糸ほか	27.3×22.2
2	佐川麻代	stone	2019	岩絵具・色鉛筆・透明水彩・アクリルポスターカラー・コラージュ、裏打ち紙・和紙	各10.0×10.0×3.5 (6点)
3	佐川麻代	rain	2019	アクリルポスターカラー・アクリル絵具、キャンパス	145.8×145.5
4	佐川麻代	play	2019	透明水彩・色鉛筆、和紙	27.2×27.2×3.5
5	佐川麻代	open	2019	岩絵具・コラージュ、和紙・裏打ち紙・海藻ほか	10.2×10.2×3.3ほか (30点)

* 寸法は縦×横、または縦×横×厚さ。

* 作品は全て作家蔵。

洞内由紀子展

会期＝令和2年4月25日(土)－6月24日(水) 52日間

前期：4月25日(土)－5月24日(日)

後期：5月26日(火)－6月24日(水)

＊4月25日(土)－5月24日(日)臨時休館

会期変更後 前期：5月26日(火)－6月7日(日)

後期：6月9日(火)－6月24日(水)

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝無料

関連事業

ひとくち展示解説

講師＝福地大輔（当館学芸課長）

日時＝6月6日(土) 午前11時～、午後2時～（約15分）

会場＝当館ロビー（入場無料）

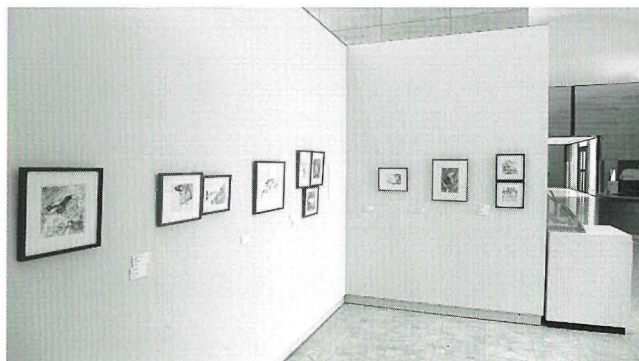
道内の美術館・文化施設などが連携し、鑑賞の機会や楽しみを増やそうと、2018年より始まった「アートギャラリー北海道」。北海道教育委員会が取り組むこの事業では、「美術館を行き交う人々があふれ、北海道全体がアートの舞台になる」ことを目指す。

令和2年度は、「アートギャラリー北海道」事業の一つである若手作家支援の一環として、清水町在住の洞内由紀子氏の作品を取り上げた。洞内氏は酪農業に従事するかたわら一貫して

「牛」を主題に制作活動を続ける作家。水彩、ペン画、写真など様々な技法で制作された作品は表現も多岐にわたる。それらの作品は、生き物としての牛の形態や触感に触発されたものや、酪農の社会的文脈に基づいた作品、自分の心情を牛の姿に託した表現や主人公である仔牛を親しみある筆致で描いた絵本挿絵などに及ぶものである。会期を前後期に分けて展示替えを行うことで、作家が牛という主題から引き出した様々な表現を紹介した。



会場風景（前期）



会場風景（後期）

出品目録

No.	作品名	制作年	技法、材質
【前期】			
1	いつくしいめ（16点組）	2009-17	タイプCプリント
2	「腫れ上がる夜は」より	2016	ボールペン、紙
3	「腫れ上がる夜は」より	2016	ボールペン、紙
4	「腫れ上がる夜は」より「腫れ上がる夜は」	2016	ボールペン、紙
5	「腫れ上がる夜は」より『記憶の牛舎の扉を開ける』	2016	ボールペン、紙
6	「腫れ上がる夜は」より『儚く無垢な魂の 憩う光の牛舎へ往く』	2016	ボールペン、紙
7	「腫れ上がる夜は」より『彼女は 痛みに 息 吹きかけて』	2016	ボールペン、紙
8	「腫れ上がる夜は」より『濃みも厭わず 出来物舐める』	2016	ボールペン、紙
9	「腫れ上がる夜は」より『震えを鎮める 咀嚼の音』	2016	ボールペン、紙
10	「腫れ上がる夜は」より『青き瞳の瞬き ひとつで』	2016	ボールペン、紙
11	「腫れ上がる夜は」より『天使の梯子が降りてくる』	2016	ボールペン、紙
12	「腫れ上がる夜は」より『こんなに 救いを受けたのに』	2016	ボールペン、紙
13	「腫れ上がる夜は」より『抱きしめるのは 記憶でだけ』	2016	ボールペン、紙
14	「腫れ上がる夜は」より『手を下したのは 誰の為』	2016	ボールペン、紙
15	「腫れ上がる夜は」より『腫れあがる朝は ためらいもなく』	2016	ボールペン、紙
16	「腫れ上がる夜は」より『祈りの牛舎を 消していく』	2016	ボールペン、紙
【後期】			
1	「いつくしいめ」（16点組）	2009-17	タイプCプリント
2	「ざりり」より『ざりい』	2018	水彩、紙
3	「ざりり」より『注目』	2018	水彩、紙
4	「ざりり」より『しるし』	2018	水彩、紙
5	「ざりり」より『真夜中』	2019	水彩、紙
6	「ざりり」より『押しのけ』	2018	水彩、紙
7	「ざりり」より『ふと』	2018	水彩、紙
8	「ざりり」より『触れる』	2018	水彩、紙
9	「ざりり」より『だだ』	2018	水彩、紙
10	「ざりり」より『ふんわり、さわさわ、きらきら』	2018	水彩、紙
11	「ざりり」より『利発な仔』	2018	水彩、紙
12	「ざりり」より『仔っこのこと』	2018	水彩、紙
13	「ざりり」より『ため息』	2019	水彩、紙
14	「ざりり」より『心で見えるもの』	2018	水彩、紙
15	「ざりり」より『待ち構え』	2019	水彩、紙
16	「ざりり」より『暮らしの全て』	2019	水彩、紙

* 寸法は縦×横。

* 作品は全て作家蔵。

美術講演会／アーティスト・トーク等

各分野の専門家を招いての講演会や、展覧会出品作家の方を迎えてのトーク等を開催した。



フリートーク① 池田緑氏ほか

令和元年度

開催日時	内容・演題	講師	関連展覧会	会場	聴講者数
6月8日(土)* 午後2時～	スペシャル・トーク	田口美和氏 (タグチ・アートコレクション)、 塩原将志氏 (アート・オフィス・シオバラ代表取締役)	球体のバレット	当館講堂	59名
9月14日(土) 午後2時～	美術講演会 「北斎 波瀾万丈90年の生涯」	中右瑛氏 (国際浮世絵学会常任理事、展覧会監修者)	北斎展	当館講堂	61名
10月20日(日) 午後2時～	アーティスト・トーク	佐川麻代氏 (出品作家、現代アート・平面作家) 下山明花氏 (出品作家、木版画家) 古道谷朝生氏 (網走市立美術館長)	大樹町酪農アーティスト展	当館ロビー	20名
2月15日(土)* 午後2時～	美術講演会 「高橋道雄 知られざる作品と魅力」	居串佳一とオホーツクの画家たち		当館講堂	40名

* 道民カレッジ連携講座。

* トーク & ワークとしても開催。

令和2年度

開催日時	内容・演題	講師	関連展覧会	会場	聴講者数
7月4日(土) 午前10時～	アーティスト・トーク	中島潔氏 (出品作家)	中島潔 “今” を生きる	当館講堂	25名
11月12日(木) 午後6時30分～	アーティスト・トーク	蜷川実花氏 (出品作家)、 鈴木 心氏 (プロデューサー、ディレクター)	蜷川実花展	北海道ホテル	142名
12月19日(土)* 午後2時～	アーティスト・トーク 「私と現代アート ー四半世紀を語るー」	池田緑氏 (出品作家、現代アート作家)	池田緑展	当館講堂	23名
1月30日(土) 午後2時～	フリー・トーク① 「池田緑×十勝の現代アート作家」	池田緑氏 (出品作家、現代アート作家)、 梅田マサノリ氏、伽井丹彌氏、鈴木 隆氏、 吉野隆幸氏	池田緑展	当館ロビー	25名
3月6日(土) 午後2時～	フリー・トーク② 「池田緑×十勝の油彩画家」	池田緑氏 (出品作家、現代アート作家)、 井出宏子氏、神田絵里子氏、中西千尋氏、 由良真一氏	池田緑展	当館ロビー	30名

* トーク & レクチャーとしても開催。

特別展セミナー

当館学芸員が、展覧会に関連したテーマを設け、出品作品を取り上げながら展覧会の見どころを紹介した。

時間＝午後２時～

会場＝当館講堂（聴講無料）

令和元年度

開催日	内容・演題	講師	関連展覧会	聴講者数
10月12日(土)、11月16日(土)	世界の絵師・北斎とその周辺	福地大輔（当館学芸課長）	北斎展	80名

令和２年度

開催日	内容・演題	講師	関連展覧会	聴講者数
6月20日(土)*	アートの翼もっと広げて	蘭部容子（当館主任学芸員）	アートの翼ひろげて	13名
11月１日(日)	蟻川実花展の魅力	耳塚里沙（当館学芸員）	蟻川実花展	21名
1月16日(土)、2月20日(土)	池田緑：作品と活動	蘭部容子（当館主任学芸員）	池田緑展	13名

*コロナ感染対策のため、2回予定のうち延期して1回のみ実施。

ギャラリー・ツアー

当館学芸員や関連講師が、展示室をめぐりながら出品作品を解説し、展覧会の見どころを案内した。

会場＝当館主展示室（要観覧券）

令和元年度

開催日時	内容	講師	関連展覧会・事業	参加者数
4月27日(出)、5月25日(出) 午後2時～	ギャラリー・ツアー	野田佳奈子（当館学芸員）	球体のパレット	26名
6月8日(出) 午後3時30分～	ぶっちゃけギャラリー・トーク	田口美和氏（タグチ・アートコレクション） 塩原将志氏 （アート・オフィス・シオバラ代表取締役）	球体のパレット	40名
9月14日(出) 午前10時～	ギャラリー・トーク	中右瑛氏 （国際浮世絵学会常任理事、展覧会監修者）	北斎展	51名
11月4日（月・休）* 午後2時～	プレミアム鑑賞会	帯広美術館振興会会員	北斎展、芸術週間	28名
12月14日(出) 午前10時～	オープニング・トーク	古道谷朝生氏（網走市立美術館長）	居串佳一とオホーツクの画家たち	30名
1月18日(出)* 午後2時～	ギャラリー・ツアー	野田佳奈子（当館学芸員）	居串佳一とオホーツクの画家たち	14名
2月1日(出)、2月2日(出)* ** 午後3時～	ミュージアム・ツアー	当館学芸員	居串佳一とオホーツクの画家たち、 氷まつり協賛事業	7名
2月9日(出)* * 午後2時～	プレミアム鑑賞会	帯広美術館振興会会員	居串佳一とオホーツクの画家たち	20名

* 帯広美術館振興会との共催。

* コロナ感染対策のため、2回予定のうち1回のみ実施。

** 会場は当館主展示室および収蔵庫、地下ほか。

令和2年度

開催日時	内容	講師	関連展覧会・事業	参加者数
6月6日(出)* 午前11時～、午後2時～	ひとくち展示解説	福地大輔（当館学芸課長）	洞内由紀子展	5名
6月21日(出)* 午後2時～	ギャラリー・ツアー W	藤原乃里子氏（北海道立釧路芸術館主任学芸員）、 蘭部容子（当館主任学芸員）	アートの翼ひろげて	26名
7月18日(出)、8月29日(出) 午後2時～	ギャラリー・ツアー	福地大輔（当館学芸課長）	中島潔 “今” を生きる	20名
10月10日(出)、11月21日(出) 午後2時～	ギャラリー・ツアー	耳塚里沙（当館学芸員）	蜷川実花展	16名
2月7日(出)** 午後1時～	ミュージアム・ツアー	当館学芸員	池田緑展、冬の美術館フェスタ	7名

* コロナ感染対策のため、2回予定のうち1回のみ実施。会場は当館ロビー。

* コロナ感染対策のため、延期して実施。

** 帯広美術館振興会との共催。会場は当館主展示室および収蔵庫、地下ほか。

トーク&ワーク／トーク&レクチャー

当館学芸員や外部講師による2日間連続制の講座。講座と鑑賞ワークショップを組み合わせたり、出品作家のトークと学芸員の解説を組み合わせたりして、展覧会について多角的に知識を深める機会とした。なお、本事業は北海道教育委員会、北海道立生涯学習推進センターが主催する道民カレッジの連携講座としても実施した。

令和元年度

トーク&ワーク 「オホーツク・黎明の美術 －高橋道雄と居串佳－」

時間＝午後2時～3時30分

会場＝当館講堂、主展示室

（参加料 一般530円／高大生290円、応募制）



「居串佳一が描いたもの」

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
2月15日(土)*	高橋道雄 知られざる作品と魅力	古道谷朝生氏（網走市立美術館長）	居串佳一とオホーツクの画家たち	40名
2月16日(日)	居串佳一が描いたもの 大人のための絵画鑑賞	野田佳奈子（当館学芸員）	居串佳一とオホーツクの画家たち	15名

*美術講演会としても開催。

令和2年度

トーク&レクチャー 「池田緑の制作と背景をさぐる」

時間＝午後2時～3時

会場＝当館講堂、主展示室

（参加料 一般410円／大学生220円、応募制）

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
12月19日(土)*	私と現代アート －四半世紀を語る－	池田緑氏（出品作家、現代アート作家）	池田緑展	23名
12月20日(日)	池田緑の制作と背景をさぐる	蘭部容子（当館主任学芸員）	池田緑展	15名

*アーティスト・トークとしても開催。

ミュージアム・ミステリー

コレクション・ギャラリーの関連事業として、小学1～6年生を対象に、美術に親しんでもらうためのワークショッププログラムを実施。自ら感じ、考えながら作品とふれあう創造的な鑑賞姿勢を導き出すべく企画した。

令和元年度

ミュージアム・ミステリー2019オータム アートなカルタをつくろう！あそぼう！

日 時＝9月28日(出) 午前10時～12時
会 場＝当館コレクション・ギャラリー、講堂
参加者＝小学生 10名（参加無料、応募制）
関連展覧会・事業＝絵画は躍る?!

内 容

導入として「宝探しゲーム」（作品の部分探し）を行い、解説を交えながら答え合わせ。また、「〇〇で賞」ゲームとして、作品にふさわしい賞を考えた。その後「カルタ作り」を行い、作品を題材としたカルタをそれぞれ考え、読み札を作った。



「アートなカルタをつくろう！あそぼう！」

令和2年度

ミュージアム・ミステリー2020サマー 美術館で見つけよう！アートな動物

日 時＝7月25日(出) 午前10時～12時
会 場＝当館コレクション・ギャラリー、講堂
参加者＝小学生 11名（参加無料、応募制）
関連展覧会・事業＝道東プリントアートの地平

内 容

導入として作品の中の動物探しゲームを行い、解説を聞きながら出品作品を参加者全員で鑑賞。その後講堂に移動し、選んだ動物の図版を紙に貼って、その周りに絵を描いた。作品は各自、記念として持って帰ってもらった。



「美術館で見つけよう！アートな動物」

キッズ・ツアー

各展覧会の会期中に1回、小学生を主な対象としたギャラリー・ツアーを実施した。対話しながら子どもの集中と自発的な鑑賞を促すよう工夫した。

時 間＝午後2時～（約30分）
会 場＝当館展示室（要観覧券）



「北斎展」キッズ・ツアー

令和元年度

開催日	講師	関連展覧会	参加者数
5月11日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	球体のパレット	1名
8月3日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	コレクション・ギャラリー「バリを彩る」	20名
11月9日(土)	福地大輔（当館学芸課長）	北斎展	8名
1月11日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	居串佳一とオホーツクの画家たち	0名

令和2年度

開催日	講師	関連展覧会	参加者数
6月13日(土)*	藺部容子（当館主任学芸員）	アートの翼ひろげて	2名
8月15日(土)	福地大輔（当館学芸課長）	中島潔 “今”を生きる	3名
9月26日(土)	耳塚里沙（当館学芸員）	蜷川実花展	25名
3月13日(土)	藺部容子（当館主任学芸員）	池田緑展	4名

*コロナ感染対策のため、延期して実施。

映写室

開催中の展覧会に関連したプログラムを中心に、映画、DVD の上映を行った。

会場＝当館講堂（入場無料）

令和元年度

開催日時		内容	関連展覧会・事業	入場者数
9月29日(日)、11月10日(日)	午後2時～	映写室「北斎ミステリー～幕末美術秘話 もう一人の北斎を追え～」(40分)	北斎展	60名
2月1日(出)、2月2日(日)*	午後1時～	ミュージアム・シアター「バンクシー・ダズ・ニューヨーク」(81分)	氷まつり協賛事業	77名

* 帯広美術館振興会との共催

令和2年度

開催日	講師	関連展覧会・事業	参加者数
9月19日(土)～12月6日(日) 会期中随時	Theater：蜷川実花「TOKYO NOIR」「UNTITLED」「TOKYO道中」(計25分ほど)	蜷川実花展	—
2月6日(土)* 午前11時～、午後1時～	ミュージアム・シアター「世界で一番ゴッホを描いた男」(84分)	冬の美術館フェスタ	12名

* 帯広美術館振興会との共催

コンサート

より幅広い層の市民に美術館に親んでもらうため、展覧会の内容等に合わせて他団体と連携し、美術館内でコンサートを開催した。

会場＝当館ロビー（入場無料）



「尺八と箏の響き」

令和元年度

開催日時	内容	出演者	関連展覧会	参加者数
1月19日(日)* 午後2時～2時40分	尺八と箏の響き	萩原朔山氏（尺八）、阿部雅楽扶美氏（箏）	居串佳一とオホーツクの画家たち	114名

* 帯広美術館振興会との共催。

令和2年度

開催日時	内容	出演者	関連展覧会	参加者数
8月8日(土)* ①午前11時～11時30分、 ②午後2時～2時30分、 ③午後3時～3時30分	帯広美術館 ミュージアム・ コンサート	飯村真理氏 （ヴァイオリン、札幌交響楽団副首席奏者）	中島潔 “今” を生きる	76名

* 帯広美術館振興会との共催。

芸術週間

道立の文化施設では、道民が芸術に親しむ機運を醸成すべく、平成11年度より文化の日をはさむ7日間を芸術週間として設定した。期間中は広報活動を通じて施設や事業の案内、周知に努めるとともに、一週間を通じて開館日とし、各種の教育普及事業を開催。また、コレクション・ギャラリー観覧料を無料とすることで道民の関心を喚起し、利用の促進を図った。

令和元年度

月 日	実施内容
11月1日(金)	
11月2日(土)	○キッズ・ミュージアム 「やさい版画」
11月3日(日)	
11月4日(月・休)	○臨時開館 ○プレミアム鑑賞会
11月5日(火)	
11月6日(水)	
11月7日(木)	

期間中の開催展覧会
コレクション・ギャラリー「絵画は躍る?!」／特別展「北斎展」／ロビー展示「大樹町酪農アーティスト展」

令和2年度

月 日	実施内容
11月1日(日)	○特別展セミナー 「蜷川実花展の魅力」
11月2日(月)	○臨時開館 ○蜷川実花展「Theater」
11月3日(火)	○蜷川実花展「Theater」
11月4日(水)	
11月5日(木)	○蜷川実花展「Theater」
11月6日(金)	
11月7日(土)	○蜷川実花展「Theater」

期間中の開催展覧会
コレクション・ギャラリー「旅立ち—作家たちの青春」／特別展「蜷川実花展」

おびひろ氷まつり協賛事業／冬の美術館フェスタ

例年1月末あるいは2月初めの厳寒期の週末には、帯広美術館が立地する帯広市緑ヶ丘公園を主会場のひとつに、「おびひろ氷まつり」が開催されてきた。「おびひろ氷まつり協賛事業」は、祭りの来場者に美術館にも親しんでもらうべく企画・実施したもの。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い氷まつりが縮小され緑ヶ丘公園で行われなくなった令和2年度は、代替事業として美術館単独で「冬の美術館フェスタ」を行った。なお本事業は、帯広美術館振興会と共同で実施した。

令和元年度 おびひろ氷まつり協賛事業

美術館 de 氷まつり 2020

開催日＝1月31日(金)～2月2日(日)

会場＝当館主展示室、当館ロビー、当館講堂ほか、氷まつり
本会場、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みどり
と花のセンター

参加者＝計471名

開催展覧会＝居串佳一とオホーツクの画家たち、コレクション・
セレクション～写真～

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、帯広百年
記念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター

プログラム

・ミッション in てんらんかい☆

特別展「居串佳一とオホーツクの画家たち」展において、クイズ形式のミッション（指令）に挑戦してもらい、ミッションをクリアした参加者に特別展出品作を中心としたポストカードや美術館オリジナルのクリアファイルをプレゼントした。

日時＝1月31日(金)～2月2日(日)

午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館主展示室（要観覧券）

参加者数＝158名

・緑ヶ丘＊氷まつりスタンプラリー

緑ヶ丘にある諸施設や祭り会場をめぐるスタンプラリーを行った。全部回り終わった参加者には、当館ロビーで所蔵品のポストカードをプレゼントした。

日時＝1月31日(金)～2月2日(日) 午前9時30分～午後5時

会場＝当館ロビー、氷まつり本会場、帯広百年記念館、帯広
市児童会館、みどりと花のセンター（参加無料）

参加者数＝229名



「緑ヶ丘＊氷まつりスタンプラリー」氷まつり本会場

・ミュージアム・シアター「バンクシー・ダズ・ニューヨーク」

世界中に知られる謎のアーティスト、バンクシー。ニューヨークにバンクシーの作品が現れ、人々が熱狂したドキュメンタリー映画を上映した。

日時＝2月1日(土)、2日(日) 午後1時～(81分)

会場＝当館講堂(入場無料)

参加者数＝77名

・ミュージアム・ツアー

美術館のガイドツアー。特別展のほか、収蔵庫や地下などの美術館の裏側を巡った。

日時＝2月1日(土)、2日(日) 午後3時～(60分)

会場＝当館主展示室ほか(要観覧券)

参加者数＝7名

令和2年度

冬の美術館フェスタ

開催日＝2月6日(土)、7日(日)

会場＝当館主展示室、当館ロビー、当館講堂ほか、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター

参加者＝計125名

開催展覧会＝池田緑展、イマジネーションー日常の彼方に

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター

プログラム

・ミッション in てんらんかい★

特別展「池田緑展」において、クイズ形式のミッション(指令)に挑戦してもらい、ミッションをクリアした参加者にポストカードやクリアファイルをプレゼントした。

日時＝2月6日(土)、7日(日) 午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館主展示室(要観覧券)

参加者数＝66名

・緑ヶ丘★スタンプラリー

緑ヶ丘にある諸施設や祭り会場をめぐるスタンプラリーを行った。全部回り終わった参加者には、当館ロビーでポストカードをプレゼントした。

日時＝2月6日(土)、7日(日) 午前9時30分～午後5時

会場＝当館ロビー、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター(参加無料)

参加者数＝40名

・ミュージアム・シアター「世界で一番ゴッホを描いた男」

ゴッホに魅せられ、ゴッホの複製画を描くことに人生を捧げる男を追ったドキュメンタリー映画を上映した。

日時＝2月6日(土) 午前11時～、午後1時～(各回84分)

会場＝当館講堂(入場無料、定員25名)

参加者数＝12名

・ミュージアム・ツアー

美術館のガイドツアー。特別展のほか、収蔵庫や地下などの美術館の裏側を巡った。

日時＝2月7日(日) 午後1時～(60分)

会場＝当館主展示室ほか(要観覧券)

参加者数＝7名



「ミュージアム・ツアー」

団体オリエンテーション

団体観覧者のうち希望するグループに対し、講堂にて映像を使用しながら当館の概要と開催中の特別展及びコレクション・ギャラリーの内容を紹介するオリエンテーションを実施した。

時間＝随時

会場＝当館講堂（無料、事前申込制）

令和元年度

関連展覧会	展覧会会期	実施回数	利用者数	備考
球体のパレット	4月16日(火)～6月19日(水)	8回	228名	* 団体受入休止
チームラボ	7月6日(土)～9月1日(日)	—	—	
北斎展	9月14日(土)～11月24日(日)	37回	1,293名	
居串佳一とオホーツクの画家たち	12月14日(土)～3月15日(日)	実績なし	—	

令和2年度

関連展覧会	展覧会会期	実施回数	利用者数	備考
アートの翼ひろげて	4月25日(土)～6月24日(水)	—	—	* コロナ感染対策のため団体受入休止
中島潔 “今” を生きる	7月4日(土)～9月6日(日)	実績なし	—	* 8月1日より団体受入開始
蜷川実花展	9月19日(土)～12月6日(日)	14回	456名	
池田緑展	12月19日(土)～3月21日(日)	4回	50名	

セルフガイド（クイズ）

コレクション・ギャラリー及び主展示室で開催中の展覧会について、出品作品数点に関するクイズを作成し、希望する観覧者に配布した。それぞれの設問は、主として小学校中学年を対象とし、作品の主題や技法、造形要素等に注意を喚起することで、作品鑑賞の一助となるように努めた。

令和元年度

関連展覧会	展覧会会期	会場	利用者数
新収蔵品展	4月16日(火)～6月19日(水)	コレクション・ギャラリー	467名
球体のパレット	4月16日(火)～6月19日(水)	主展示室	591名
バリを彩る	7月6日(土)～9月1日(日)	コレクション・ギャラリー	784名
絵画は躍る?!	9月14日(土)～11月24日(日)	コレクション・ギャラリー	1,226名
北斎展	9月14日(土)～11月24日(日)	主展示室	2,000名
コレクション・セクション～写真～	12月14日(土)～3月15日(日)*	コレクション・ギャラリー	273名
居串佳一とオホツクの画家たち	12月14日(土)～3月15日(日)*	主展示室	192名

* 2/29～3/15までコロナ感染対策のため臨時休館。

令和2年度

関連展覧会	展覧会会期	会場	利用者数
季節のおもかげ	4月1日(水)～4月12日(日) 4月25日(土)～6月24日(水)*	コレクション・ギャラリー	118名
アートの翼ひろげて	4月25日(土)～6月24日(水)*	主展示室	55名
道東プリントアートの地平	7月4日(土)～9月6日(日)	コレクション・ギャラリー	290名
中島潔 “今” を生きる	7月4日(土)～9月6日(日)	主展示室	340名
旅立ちー作家たちの青春	9月19日(土)～12月6日(日)	コレクション・ギャラリー	770名
蜷川実花展	9月19日(土)～12月6日(日)	主展示室	1,010名
イマジネーションー日常の彼方に	12月19日(土)～3月21日(日)	コレクション・ギャラリー	355名
池田緑展	12月19日(土)～3月21日(日)	主展示室	370名

* 4/25～5/24までコロナ感染対策のため臨時休館。

教員研修プログラム

小学校・中学校・高等学校等の教員に長期休業期間中の自己研修の機会を提供するとともに、美術館施設を活用した学習や美術の鑑賞事業についての実践的なヒントを提供するために、教員研修プログラムを実施した。

研修内容は、当館で展覧会ごとに作成・使用しているセルフガイド（クイズ）を活用したグループワークを中心に据えた。併せて、館内諸施設の見学やボランティア活動の体験を行い、美術館活動全般について広く研修できるように留意した。

令和元年度

受入期間＝ 1 月10日(金)

受入人数＝ 1 人（帯広市立帯広第五中学校）

月 日	午前（10：00－12：00）			昼休	午後（13：00－16：00）			
	9：40	10：00	11：00		13：00	14：30	15：30	16：00
1 月10(金)	受付	開会／講義 ・帯広美術館の運営、事業概要	展覧会オリエンテーション、施設見学 ・バックヤードツアー等		ワークショップ ・鑑賞ツールを用いた美術館活用実習	協議	アンケート まとめ	閉会

出張アート教室

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学校関係者に道立美術館等を学習の場として広く認識してもらうこと、また美術館等の所蔵作品の有効利用を図ることを目的として、各道立美術館等が主催となって実施した事業。学芸員が学校に館の所蔵作品を持参し、児童、生徒に実物を見せながらわかりやすく鑑賞の手ほどきを行った。



「美術のみ・か・たー 3つの扉」帯広市立森の里小学校

令和元年度

実施日	学校名・学年	授業名・内容	担当学芸員	聴講者数
11月6日(木)	網走市立第二中学校 第2学年	「イメージを伝える」 (プリントアートに関連し、オガロ《自転車タイヤ「ミシュラン」》などを紹介)	福地大輔(当館学芸課長)	67名

令和2年度

実施日	学校名・学年	授業名・内容	担当学芸員	聴講者数
10月20日(火)	帯広市立森の里小学校 第6学年	「美術のみ・か・たー 3つの扉」 (美術をどうみたらいいのか、サッシ《イタリア航路、南アメリカ》などで紹介)	福地大輔(当館学芸課長)	40名

学校教育との連携

中学校や高校の「職場体験学習」などの授業を受け入れ、美術館教育と学校教育との連携を図った。各授業では美術館の施設や活動などについて、当館職員が適宜、説明や指導にあたるとともに、美術館業務やボランティア活動の体験も行った。また、教員との意見交換も含めた研修の機会も設けた。

令和元年度

実施日	連携機関（学校名等）	事業名（内容）	人数
4月26日(土)	帯広三条高等学校、帯広柏葉高等学校 美術部	作品解説、展覧会鑑賞、施設見学	53名
6月1日(土)	帯広大谷短期大学学芸員基礎資格課程	博物館実習（見学実習）	8名
6月14日(金)	帯広市立清川中学校全学年	展覧会鑑賞、施設見学	41名
7月25日(木)～8月20日(火)	帯広市立南町中学校全学年	展覧会鑑賞（夏休み課題）	646名
7月25日(木)～8月20日(火)	帯広市立大空中学校全学年	展覧会鑑賞（夏休み課題）	166名
8月28日(木)	帯広市立南町中学校第1学年	「チームラボ展」出前授業 講師：園部容子（当館主任学芸員）	209名
9月18日(木)	帯広市立南町中学校第2学年	「北斎展」出前授業 講師：福地大輔（当館学芸課長）	209名
10月9日(木)	帯広市立大空中学校第2学年	インターンシップ	4名
10月17日(木)	帯広市立第一中学校第2学年	インターンシップ	2名
10月30日(木)	幕別町立札内東中学校第2学年	インターンシップ	3名
11月14日(木)	帯広市立川西中学校第2学年	インターンシップ	1名
11月16日(土)	士幌町立士幌中学校美術部	作品解説、展覧会鑑賞、施設見学	17名
12月10日(火)～12月13日(金)	帯広市立第八中学校第2学年	連携授業（照明について）	156名
2月6日(木)	帯広南商業高等学校第2学年	インターンシップ	4名
3月5日(木)	帯広市立南町中学校第3学年	「居串佳一」出前授業 講師：福地大輔（当館学芸課長）	中止

令和2年度

実施日	連携機関（学校名等）	事業名（内容）	人数
8月6日(木)	帯広緑陽高等学校第1学年	職業インタビュー	1名
8月28日(金)	浦河町立浦河第一中学校第1学年	展覧会鑑賞（夏休み課題）	20名
10月7日(木)～9日(金)	札幌東商業高等学校ほか	展覧会鑑賞（高文連・書道部全道大会）	273名

他団体との連携

帯広美術館ボランティア「しらかばの会」や地元公共機関など他団体が主催する事業に会場提供や講師派遣など協力をを行い、美術館活動の普及に努めた。

令和元年度

実施日	主催団体名	事業名・内容	参加者数
5月25日(土)	音更町図書館（会場：同館）	図書館芸術鑑賞講座「現代アート入門?!～“球体のパレット”展の魅力～」 （講師＝野田佳奈子・当館学芸員）	13名
7月20日(土)	北網圏北見文化センター（会場：同館）	版画って何だ!? 関連事業「スペシャル・ギャラリーツアー」 （講師＝野田佳奈子・当館学芸員）	30名
8月24日(土)	道新文化センター（会場：藤丸サロン）	道新文化センター1日講座「100倍楽しむ北斎展」 （講師＝福地大輔・当館学芸課長）	12名
10月5日(土)	音更町図書館（会場：同館）	図書館芸術鑑賞講座「北斎の生涯と芸術」 （講師＝福地大輔・当館学芸課長）	20名
11月29日(金)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」 （会場：当館講堂）	しらかばの会会員研修会 講演 「ボランティアとともに」（講師＝遠藤新理・当館副館長） 「十勝の美術」（講師＝蘭部容子・当館主任学芸員）	52名

その他

令和2年度

- ・中島潔 サイン会

特別展「中島潔」展に関連して、売店で中島潔グッズを購入した方に作家がサイン。

開催日＝7月4日(土) 午前11時30分～

会場＝当館ロビー

参加者＝36名

- ・ポストカードプレゼント

特別展「蜷川実花展」に関連して、SNSに展覧会を紹介する記事を投稿した来館者に各日先着でポストカードをプレゼント（平日限定）。

開催日＝9月24日(木)～30日(水)、11月18日(木)～20(金)、25日(木)～27日(金)

参加者数＝220名

- ・蜷川実花さんバースデイ

特別展「蜷川実花展」に関連して、蜷川実花さんの誕生日に来館者へ先着でオリジナルグッズをプレゼント。

開催日＝10月18日(日)

参加者数＝27名

- ・リピーター歓迎プレゼント

特別展「蜷川実花展」に関連して、展覧会の過去のSNS投稿を提示した来館者の中から先着で図録をプレゼント。

開催日＝11月28日(土)、29日(日)

参加者＝10名

令和元年度 作品収集状況

【分野別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			令和元年度末 所 蔵 点 数		受託・保管作品			保 管 点 数	比 率
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	令和元年度	計		
油 彩	90	11.1%	0	1	1	91	11.1%	30	0	30	121	14.0%
日 本 画	10	1.2%	0	0	0	10	1.2%	1	0	1	11	1.3%
水 彩・素 描	35	4.3%	0	0	0	35	4.3%	10	2	12	47	5.4%
版 画	352	43.4%	0	7	7	359	43.6%	1	0	1	360	41.5%
彫 塑	17	2.1%	0	0	0	17	2.1%	2	0	2	19	2.2%
工 芸	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%
デ ザ イン	255	31.6%	0	0	0	255	31.6%	0	0	0	255	29.4%
写 真	48	5.9%	0	0	0	48	6.0%	5	0	5	53	6.1%
合 計	808	100.0%	0	8	8	816	100.0%	49	2	51	867	100.0%

【所蔵区分別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			所蔵 点数	比 率	受託・保管作品			作 品 総 数	
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	令和元年度	計		
道 東 の 美 術	294	36.4%	0	8	8	302	37.0%	37	0	37	339	39.1%
プリントアート	657	81.3%	0	7	7	664	81.4%	5	0	5	669	77.2%
西 洋 の 美 術	76	9.4%	0	0	0	76	9.3%	6	0	6	82	9.5%
区 分 外	12	1.5%	0	0	0	12	1.5%	4	2	6	18	2.1%

* 複数の収集区分に重複する作品があるため、構成比の合計は100%を超える。

受贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法（cm）	寄贈者
2019001	油彩	小笠原洋子	漂う船	2003（平成15）	油彩、石粉、パーライト、板	194.0×162.0	小笠原洋子氏
2019002	版画	池田良二	Afternoon at the ebb（退潮する午後）	1992（平成4）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、紙	57.0×57.0	池田良二氏
2019003	版画	池田良二	Stage with a fixed time（刻限の舞台）	1992（平成4）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、紙	34.5×57.0	池田良二氏
2019004	版画	池田良二	Ochiishi Nemuro and the North Saskatchewan River II	1994（平成6）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、紙	91.0×55.0	池田良二氏
2019005	版画	池田良二	Light come ashore（上陸した光）	1996（平成8）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、紙	57.0×85.0	池田良二氏
2019006	版画	池田良二	The Vestiges Wind（風の遺跡）	2001（平成13）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、紙	100.0×75.0	池田良二氏
2019007	版画	池田良二	Dialogue with circle（円環との対話）	2005（平成17）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙	40.0×27.0	池田良二氏
2019008	版画	池田良二	The depth of the desert（砂漠の深淵）	2007（平成19）	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙	70.0×56.8	池田良二氏

保管

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法（cm）	所蔵者
2019S001	水彩・素描	棟方志功	施無畏図	1953（昭和28）頃	水彩、和紙	44.8×33.3	北海道帯広柏葉高等学校
2019S002	水彩・素描	棟方志功	文殊止利普賢延命図	1955（昭和30）頃	水彩、和紙	55.3×46.5	北海道帯広柏葉高等学校

令和2年度 作品収集状況

【分野別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			令和2年度末 所蔵点数		受託・保管作品			保 管 点 数	比 率
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	令和2年度	計		
油 彩	91	11.1%	0	0	0	91	11.0%	30	0	30	121	13.8%
日 本 画	10	1.2%	0	0	0	10	1.2%	1	0	1	11	1.3%
水 彩・素 描	35	4.3%	0	0	0	35	4.2%	12	0	12	47	5.4%
版 画	359	43.6%	0	7	7	366	44.4%	1	0	1	367	41.8%
彫 塑	17	2.1%	0	0	0	17	2.1%	2	0	2	19	2.2%
工 芸	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%
デ ザ イン	255	31.6%	0	0	0	255	30.9%	0	0	0	255	29.1%
写 真・映 像	48	6.0%	0	2	2	50	6.1%	5	0	5	55	6.3%
合 計	816	100.0%	0	9	9	825	100.0%	51	0	51	876	100.0%

【収集区分別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			所蔵 点数	比 率	受託・保管作品			作 品 総 数	
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	令和2年度	計		
道 東 の 美 術	302	37.0%	0	9	9	311	37.7%	37	0	37	348	39.7%
プリントアート	664	81.4%	0	9	9	673	81.6%	5	0	5	678	77.4%
西 洋 の 美 術	76	9.3%	0	0	0	76	9.2%	6	0	6	82	9.4%
区 分 外	12	1.5%	0	0	0	12	1.5%	6	0	6	18	2.1%

* 複数の収集区分に重複する作品があるため、構成比の合計は100%を超える。

受贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	寄贈者
2020001	版画	池田 緑	Silent Breath サホロの7ヶ月 (1999年8月13日～2000年3月19日)	2002 (平成14)	インクジェットプリント、紙	76.3×57.0	池田緑氏
2020002	版画	池田 緑	Silent Breath サホロの60ヶ月 (1999年8月13日～2004年8月13日)	2004 (平成16)	インクジェットプリント、紙	76.3×57.0	池田緑氏
2020003	版画	池田 緑	Silent Breath サホロの72ヶ月 (1999年8月13日～2005年8月13日)	2005 (平成17)	インクジェットプリント、紙	76.3×57.0	池田緑氏
2020004	版画	池田 緑	I WAS BORN.	2006 (平成18)	プラスチックテープ、紙	72.0×53.0	池田緑氏
2020005	版画	池田 緑	33の日	2011 (平成23)	本	展示サイズ：サイズ可変、本：各13.5×19.0×0.8(33冊)	池田緑氏
2020006	版画	池田 緑	I WAS BORN.	2016 (平成28)	プラスチックテープ、紙	72.0×54.0	池田緑氏
2020007	版画	池田 緑	船が一艘 大海を進んでいる	2020 (令和2)	プラスチックテープ、紙	各91.2×182.3 (2点組)	池田緑氏
2020008	写真・映像	池田 緑	Silent Breath 10/11/2001 NYC (Speak)	2001 (平成13)	映像作品(企画・編集：池田緑、制作：Motion Planet, Inc.)	4分54秒	池田緑氏
2020009	写真・映像	池田 緑	Silent Breath 10/11/2001 NYC (Hand Movement)	2001 (平成13)	映像作品(企画・編集：池田緑、制作：Motion Planet, Inc.)	3分41秒	池田緑氏

図版目録

凡例

1. この目録には、平成31年4月1日から令和2年3月31日までに北海道立帯広美術館に収蔵または保管された作品を収録した。
2. 各作品は材質・形状により、次の分野に分類した。
 1. 油彩
 2. 水彩・素描
 3. 版画
 4. 写真・映像
3. 作品は分野ごとに作家の姓の50音順に配列した。同一作家の作品が各分野に2点以上ある場合は、制作年順に配列した。
4. 各作品のデータ記載事項と順序は次の通りである。
作家名、作家名欧文、生没年、作品名、作品名欧文、制作年、技法材質、寸法、初出展覧会（開催年／会場／受賞等）、収集年度・収集の経緯、作品番号（収集区分）
5. データ記載事項のうち、不詳のものは表記を省略した。
6. 国内作家の作品のうち、作品名が欧文の場合はこれのみを表記した。
7. 寸法はセンチメートルを単位とし、平面作品は縦×横、レリーフ状の作品は縦×横×厚さ、立体作品は幅×奥行×高さ、映像作品は上映所要時間を示した。
8. 収集区分は、次の3つの収集方針に基づいて分類した。
 1. 道 東 の 美 術：十勝・釧路・根室・オホーツクの北海道東部4管内にゆかりの作家・作品と関連する作品
 2. プリントアート：近現代を主とし国内外の版画やポスターを中心とした作品
 3. 西 洋 の 美 術：バルビゾン派をはじめ田園風景・農村風俗を主題とした作品
9. 収集区分の記載にあたり、複数の区分を併記したものがある。

油 彩

小笠原洋子
OGASAWARA Yoko
1942（昭和17）～

漂う船
Floating Ship

2003（平成15）
油彩、石粉、パーライト、板
194.0×162.0
第78回道展（2003/札幌市民ギャラリー）
令和元年度・小笠原洋子氏寄贈
2019001（道東の美術）



水彩・素描

棟方 志功
MUNAKATA Shiko
1903（明治36）～1975（昭和50）

施無畏図
The Budhisattva of Compassion

1953（昭和28）頃
水彩、和紙
44.8×33.3
令和元年度・北海道帯広柏葉高等学校より保管
2019S001（区分外）



棟方 志功
MUNAKATA Shiko
1903（明治36）～1975（昭和50）

文殊止利普賢延命図
Manjushiri and Samantabhadra

1955（昭和30）頃
水彩、和紙
55.3×46.5
令和元年度・北海道帯広柏葉高等学校より保管
2019S002（区分外）



版 画

池田 緑
IKEDA Midori
1943 (昭和18) ~

Silent Breath サホロの7ヶ月
(1999年8月13日~2000年3月19日)
Silent Breath: Seven Months in Sahoro,
Aug.13, 1999 - Mar.19, 2000

2002 (平成14)
インクジェットプリント、紙
76.3×57.0
十勝の新時代V 池田緑展 (2002/北海道立帯広美術館)
令和2年度・池田緑氏寄贈
2020001 (道東の美術/プリントアート)



池田 緑
IKEDA Midori
1943 (昭和18) ~

Silent Breath サホロの60ヶ月
(1999年8月13日~2004年8月13日)
Silent Breath: Sixty Months in Sahoro,
Aug.13, 1999 - Aug.13, 2004

2004 (平成16)
インクジェットプリント、紙
76.3×57.0
個展 (2005/TEMPORARY SPACE、札幌)
令和2年度・池田緑氏寄贈
2020002 (道東の美術/プリントアート)



池田 緑
IKEDA Midori
1943 (昭和18) ~

Silent Breath サホロの72ヶ月
(1999年8月13日~2005年8月13日)
Silent Breath: Seventy Two Months in Sahoro,
Aug.13, 1999 - Aug.13, 2005

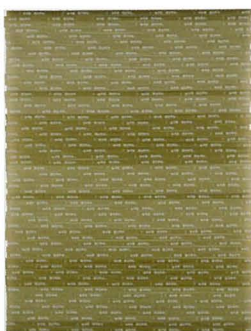
2005 (平成17)
インクジェットプリント、紙
76.3×57.0
個展 (2005/弘文堂画廊、帯広)
令和2年度・池田緑氏寄贈
2020003 (道東の美術/プリントアート)



池田 緑
IKEDA Midori
1943 (昭和18) ~

I WAS BORN.

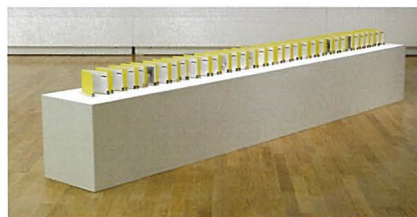
2006 (平成18)
プラスチックテープ、紙
72.0×53.0
春季平原社展 (2006/NCアートギャラリー、帯広)
令和2年度・池田緑氏寄贈
2020004 (道東の美術/プリントアート)



池田 緑
IKEDA Midori
1943 (昭和18) ~

33の日
Days of 33

2011 (平成23)
本
展示サイズ：サイズ可変、本：各13.5×19.0×0.8 (33冊)
個展 (2011/真鍋庭園真正閣、帯広)
令和2年度・池田緑氏寄贈
2020005 (道東の美術/プリントアート)



池田 緑
IKEDA Midori
1943 (昭和18) ~

I WAS BORN.

2016 (平成28)
プラスチックテープ、紙
72.0×54.0
個展 (2016/TO OV cafe/gallery、札幌)
令和2年度・池田緑氏寄贈
2020006 (道東の美術/プリントアート)



池田 緑
IKEDA Midori
1943 (昭和18) ~

船が一艘 大海を進んでいる
There is a Ship and She Sails the Sea

2020 (令和2)
プラスチックテープ、紙
各91.2×182.3 (2点組)
池田緑展 (2020/北海道立帯広美術館)
令和2年度・池田緑氏寄贈
2020007 (道東の美術/プリントアート)



池田良二
IKEDA Ryoji
1947 (昭和22) ~

Afternoon at the ebb (退潮する午後)

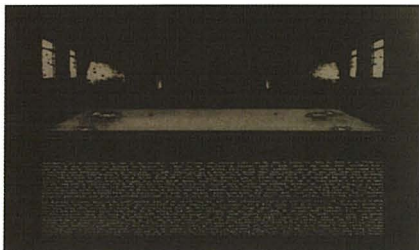
1992 (平成4)
フォトエッチング、エッチング、アクアチント、
ドライポイント、メゾチント、紙
57.0×57.0
令和元年度・池田良二氏寄贈
2019002 (道東の美術/プリントアート)



池田良二
IKEDA Ryoji
1947 (昭和22) ~

Stage with a fixed time (刻限の舞台)

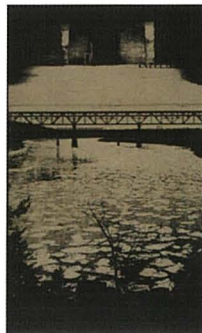
1992 (平成4)
フォトエッチング、エッチング、アクアチント、
ドライポイント、メゾチント、紙
34.5×57.0
令和元年度・池田良二氏寄贈
2019003 (道東の美術/プリントアート)



池田良二
IKEDA Ryoji
1947 (昭和22) ~

Ochiishi Nemuro and the
North Saskatchewan River II

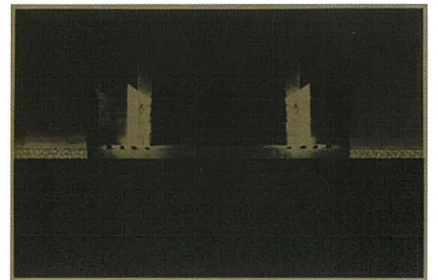
1994 (平成6)
フォトエッチング、エッチング、アクアチント、
ドライポイント、メゾチント、紙
91.0×55.0
令和元年度・池田良二氏寄贈
2019004 (道東の美術/プリントアート)



池田良二
IKEDA Ryoji
1947 (昭和22) ~

Light come ashore (上陸した光)

1996 (平成8)
フォトエッチング、エッチング、アクアチント、
ドライポイント、メゾチント、紙
57.0×85.0
令和元年度・池田良二氏寄贈
2019005 (道東の美術/プリントアート)



池田良二
IKEDA Ryoji
1947 (昭和22) ~

The Vestiges Wind (風の遺跡)

2001 (平成13)
フォトエッチング、エッチング、アクアチント、紙
100.0×75.0
令和元年度・池田良二氏寄贈
2019006 (道東の美術/プリントアート)



池田良二
IKEDA Ryoji
1947 (昭和22) ~

Dialogue with circle (円環との対話)

2005 (平成17)
フォトエッチング、エッチング、アクアチント、
ドライポイント、紙
40.0×27.0
令和元年度・池田良二氏寄贈
2019007 (道東の美術/プリントアート)



池田良二
IKEDA Ryoji
1947 (昭和22) ~

The depth of the desert (砂漠の深淵)

2007 (平成19)
フォトエッチング、エッチング、アクアチント、
ドライポイント、紙
70.0×56.8
令和元年度・池田良二氏寄贈
2019008 (道東の美術/プリントアート)



写真・映像

池田 緑

IKEDA Midori
1943 (昭和18) ~

Silent Breath 10/11/2001 NYC (Speak)

2001 (平成13)
映像作品(企画・編集:池田緑、制作: Motion Planet, Inc.)
4分54秒
十勝の新時代V 池田緑展 (2002/北海道立帯広美術館)
令和2年度・池田緑氏寄贈
2020008 (道東の美術/プリントアート)



池田 緑

IKEDA Midori
1943 (昭和18) ~

Silent Breath 10/11/2001 NYC (Hand Movement)

2001 (平成13)
映像作品(企画・編集:池田緑、制作: Motion Planet, Inc.)
3分41秒
十勝の新時代V 池田緑展 (2002/北海道立帯広美術館)
令和2年度・池田緑氏寄贈
2020009 (道東の美術/プリントアート)



美術作品の貸出

令和元年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
版画	襲嘯	オープニング或いは再び田園	北網圏北見文化センター	令和元年7月5日～8月29日	「版画って何だ！？ー木版からコピー機までー」(令和元年7月13日～8月25日 北網圏北見文化センターにて開催)
版画	池田良二	Space of foggy ocean (海霧の空間)			
版画	一原有徳	木の葉 (柏)			
版画	一原有徳	木の葉 (檜)			
版画	一原有徳	木の葉 (辛夷)			
版画	一原有徳	スパナー			
版画	一原有徳	AM			
版画	一原有徳	岩壁			
版画	一原有徳	Hidaka 1839m			
写真	奥野稔和	94D-Museum-N-2			
版画	小林敬生	午後の鎮魂歌 No.3-C			
版画	渋谷栄一	PARIS D			
版画	渋谷栄一	5-A			
版画	渋谷栄一	5-B			
版画	島 州一	新聞紙に新聞紙			
版画	島 州一	FINGER PRINT			
写真	出店久夫	地と母子像			
版画	中谷有逸	碑 (鐸)			
版画	中谷有逸	碑 (十字軍の妻たちのために)			
版画	中谷有逸	碑 (団長夫人)			
版画	難波田龍起	無題			
版画	野田哲也	日記 1987年9月22日 柏市亀甲台			
版画	百瀬 寿	Square-Vertical Blue to Magenta			
写真	森村泰昌	寒雀寒鳩 (御舟)			
写真	森村泰昌	野菜涅槃 (若冲)			
版画	矢柳 剛	みえる鏡を拒否する鏡			
版画	矢柳 剛	最後の晚餐			
版画	横尾忠則	葬列 II			
版画	横尾忠則	ブルー・ワンダーランド			
版画	サム・フランシス	バサディナ・ボックス			
写真	デイヴィッド・ホックニー	グランド・キャニオンの北側を見る 1982年9月			
写真	デイヴィッド・ホックニー	京都 1993年4月24日			
版画	ロイ・リクテンスタイン	睡蓮と雲			
版画	ロイ・リクテンスタイン	青い床の室内が描かれた壁紙			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	F-111			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこ》得たもの、失ったものーファースト・スチューデントまたはスター・キャッチャーにとって			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこ》スカイ・ホール			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこ》スペース・ダスト			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこ》タイム・ゾーンの日没			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこ》水のゆくえ			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこ》頭蓋のスナップ			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこ》頭蓋のスナップ、ステート I			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	火の家			
版画	ジョージ・シーガル	前向ききの二人の人物			
版画	フランク・ステラ	スワン・エングレイヴィング、ブルー、グリーン、グレー			
油彩	神田日勝	瘦馬 *	帯広百年記念館	令和元年8月1日～9月26日	「十勝開拓日記ー資料が語る近代ー」(令和元年8月10日～9月23日 帯広百年記念館にて開催)

* は帯広市寄託作品の一時返却。

令和2年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
油彩	神田日勝	瘦馬 *	東京ステーションギャラリー、	令和2年4月8日～	「神田日勝ー大地への筆触ー」(令和2年4月18日～
油彩	神田日勝	画室 D *	神田日勝記念美術館、北海道立	11月13日	11月8日 東京ステーションギャラリー、神田日勝
油彩	神田日勝	画室 E **	近代美術館、北海道新聞社		記念美術館、北海道立近代美術館の3会場にて開催)
油彩	神田日勝	人と牛 B *※			

* は帯広市寄託作品。 * 札幌会場のみ。 ** 東京、札幌会場のみ。 ※ 鹿追、札幌会場のみ。



特別観覧

令和元年度

内 訳	撮 影	複 写	熟 覧	原版使用	画像データ使用	その他	合 計
件 数	1	0	0	1	4	0	6

令和2年度

内 訳	撮 影	複 写	熟 覧	原版使用	画像データ使用	その他	合 計
件 数	0	0	0	1	8	0	9



貸館事業

令和元年度

◇講 堂

開催日	事業内容	実施団体	利用者数
6月9日(日)	短編アニメーション「アニメーション・トラベラーズ！」	新千歳空港国際アニメーション映画祭実行委員会	69名
9月16日(月・祝)	映画上映会「バスキア、10代最後のとき」	おびひろ自主上映の会	33名



名 簿

北海道立帯広美術館協議会委員名簿（令和3年3月31日現在）

役職名	氏 名	現 職
会 長	吉田 真弓	帯広大谷短期大学副学長・地域連携推進センター長
副会長	加賀 学	池田町教育委員会教育長・十勝管内教育委員会連絡協議会会長
委 員	能戸 貴英	帯広市立帯広第八中学校長
委 員	原田 純子	根室市社会教育委員の会議委員長
委 員	宮澤 道	湧別町社会教育委員の会委員長
委 員	大河原茂美	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」会長
委 員	土井 裕子	釧路市女性団体協議会役員
委 員	橋本 雄大	帯広商工会議所産業振興部長
委 員	柳田 祐子	日本放送協会帯広放送局局長
委 員	持田 誠	浦幌町立博物館学芸員
委 員	佐川 芳子	(一般公募)
委 員	牛木ゆかり	(一般公募)

※委員の任期は令和元年6月27日から令和3年6月26日からまで

建築概要

●位 置	帯広市緑ヶ丘2番地1
●構 想 設 計	アトリエアク（公開設計競技最優秀）
●基 本 設 計	アトリエアク・大洋共同企業体
●実 施 設 計	アク・日本設計・谷津共同企業体
●工事施工者	
建 築	宮坂・萩原・曾根・市川・大道共同企業体（1、2期）
電気設備	相互電業㈱（1期）
空調調和衛生設備	森設備工業㈱（1期）
電力設備	相互・柴野・誠和・テーエス・長島共同企業体（2期）
通信設備	北口・アサヒ・振興・扶桑・樋口企業共同体（2期）
衛生設備	フジ・梶山・中林 共同企業体（2期）
空調調和設備	森・三洋・勝平・道東・浅岡共同企業体（2期）
●総 工 事 費	約13億4千700万円
●工 期	起工 平成元年10月9日 竣工 平成3年3月25日
●敷 地 面 積	7,000㎡
●建 物 面 積	建面積 2,499.99㎡ 延面積 3,521.60㎡
●構 造 概 要	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
●仕 上	
（外装）	
外 壁	大理石（ライムストーン） コンクリート打放し小叩仕上 アルミパネル
屋 根	アルミ亜鉛メッキ鋼板葺
屋 上	露出アスファルト防水トップコート仕上
（内装）	
ロビー・ホール床	テラゾーブロック
主展示室床	フローリング
常設展示室床	タイルカーペット
ロビー・ホール壁	大理石（ライムストーン） 合成樹脂系軽量骨材吹付
展 示 室 壁	石膏ボード、一部ラワン合板下地クロスEP仕上
ロビー・ホール天井	合成樹脂系軽量骨材吹付
展示室天井	岩綿吸収板EP仕上

設備概要

●電 器 設 備	
受変電設備	受電電圧 6.6KV 変圧器容量 450KVA
非常電源設備	ディーゼル機関 123PS 3,000RPH 発電機 98KVA 3相 200V
動 力 設 備	防災用動力 排煙機 11KW×3 消化ポンプ 5.5KW×3
電 灯 設 備	主展示室 LED照明（調光式）、ハロゲンランプ コレクション・ギャラリー 退色止蛍光灯（調光式）、ハロゲンランプ ロビー 間接照明 蛍光灯 講 堂 LED照明
電 話 設 備	電子ボタン電話
放 送 設 備	防災一般兼用アンプ 160W
テレビ共聴設備	OCTV（帯広ケーブルTV）による共聴
火災報知設備	P1級受信機
視聴覚設備	上降式スクリーン 1式 音声・映像ラック 1式 映写設備（16mmフィルム、35mmスライド）1式 液晶プロジェクター 1式
●機 械 設 備	
空気調和設備	
設定温湿度	主展示室、特別展示室、収蔵庫、展示ケース 年間 22℃（20～24℃） 55%（50～60%） *（ ）内は可変調節範囲、設定精度は温度±2℃ 湿度±5%
熱源機器	
空冷チリングユニット	冷却能力 240,000Kcal/H
吸収式冷温水発生器	冷却能力 100USRT 暖房能力 253,000Kcal/H
温水器	暖房能力 500,000Kcal/H
空気調和機	
主展示室	2系統
常設展示室、荷解室	1系統
展示ケース	1系統
収蔵庫	1系統
ロビー、ホール	1系統
管理諸室	1系統
衛生設備	
給水設備	市水道使用
排水設備	市下水道放流
給湯設備	電器温水器
消火設備	屋内消火栓設備、ハロン消火設備



沿革

昭和62年 7 月	道東地域道立地方美術館設置調査費計上
昭和63年 2 月	帯広市への道立地方美術館設置を決定
昭和63年 4 月	北海道立帯広美術館設置基本構想策定
昭和63年 5 月	北海道立帯広美術館構想設計競技実施
昭和63年10月	北海道立帯広美術館構想設計競技入選作品決定
平成元年 3 月	北海道立帯広美術館基本設計完了
平成元年 8 月	北海道立帯広美術館実施設計完了
平成元年10月	北海道立帯広美術館建設工事着工
平成 3 年 3 月	北海道立帯広美術館建設工事竣工
平成 3 年 4 月	北海道立美術館条例の一部改正により、北海道立帯広美術館設置 北海道立帯広美術館職員を発令、組織発足 初代館長 室田 浩志 発令
平成 3 年 9 月	北海道立帯広美術館落成・開館記念式 屋外彫刻除幕（平成 3 年 9 月21日）、一般公開（平成 3 年 9 月22日）
平成 4 年 5 月	日本建築学会北海道支部第17回北海道建築賞受賞（平成 4 年 5 月21日授賞式）
平成 4 年 6 月	照明学会照明普及賞受賞（平成 4 年 6 月18日授賞式）
平成 4 年12月	第 9 回帯広市都市景観賞（建物）受賞（平成 4 年12月 4 日授賞式）
平成 6 年 4 月	第 2 代館長 阿部 皎 発令
平成 7 年12月	公共建築賞北海道優秀賞受賞（平成 7 年12月 7 日授賞式）
平成 8 年 6 月	入館者50万人達成（平成 8 年 6 月11日）
平成 9 年 1 月	開館 5 周年記念式（平成 9 年 1 月17日）
平成 9 年 4 月	第 3 代館長 長谷川 吉廣 発令
平成11年 7 月	第 4 代館長 上原 修平 発令
平成13年 4 月	第 5 代館長 小野 寺浩 発令
平成13年10月	開館10周年記念式（平成13年10月31日）
平成16年 9 月	入館者100万人達成（平成16年 9 月26日）
平成19年 1 月	開館15周年記念展開催
平成19年 6 月	第 6 代館長 吉井 亮 発令
平成23年11月	開館20周年記念式（平成23年11月21日）
平成25年 2 月	主展示室照明LED化工事（新エネルギー等率先導入推進事業）
平成25年 4 月	第 7 代館長 石堂 普之 発令
平成25年11月	入館者150万人達成（平成25年11月30日）
平成28年 7 月	開館25周年記念展開催
平成31年 4 月	第 8 代館長 野崎 弘幸 発令
令和 2 年 9 月	入館者200万人達成（令和 2 年 9 月30日）

観覧者数一覧

令和元年度

展 覧 会 名	会 期 (開催日数)	観覧者数 A=F+G (1日あたり)	個 人				団 体/前 売/リピーター/相 互				優 待 割 引				共 通 券				有料入館者計 F=B+C+D+E (/A)	無料招待免除 G (/A)
			一 般 (/B)	高大生 (/B)	小中生 (/B)	計 B	一 般 (/C)	高大生 (/C)	小中生 (/C)	計 C	一 般 (/D)	高大生 (/D)	小中生 (/D)	計 D	一 般 (/E)	高大生 (/E)	小中生 (/E)	計 E		
コレクション・ ギャラリー	4月16日 ～ 3月15日 (232日)	38,726人 (167人)	655人 (92%)	55人 (8%)		710人	271人 (77%)	82人 (23%)		353人					3,420人 (96%)	143人 (4%)		3,563人	4,626人 (12%)	34,100人 (88%)
特 別 展	球体の バレット	4月16日 ～ 3月15日 (57日)	4,198人 (74人)	663人 (94%)	42人 (6%)	705人	183人 (34%)	11人 (2%)	345人 (64%)	539人	419人 (96%)	17人 (4%)		436人	892人 (97%)	28人 (3%)		920人	2,600人 (62%)	1,598人 (38%)
	チームラボ	7月6日 ～ 9月1日 (51日)	89,065人 (1,746人)	20,766人 (94%)	1,302人 (6%)	22,068人	15,306人 (72%)	592人 (3%)	5,274人 (25%)	21,172人	3,945人 (66%)	289人 (5%)	1,770人 (184%)	6,004人	964人 (11%)	51人 (1%)	7,670人 (295%)	8,685人	57,929人 (65%)	31,136人 (35%)
	北斎展 師と弟子たち	9月15日 ～ 12月2日 (63日)	16,075人 (255人)	4,469人 (97%)	117人 (3%)	4,586人	2,419人 (93%)	35人 (1%)	165人 (6%)	2,619人	2,718人 (98%)	65人 (2%)	人 (0%)	2,783人	1,261人 (96%)	46人 (3%)	11人 (1%)	1,318人	11,306人 (70%)	4,769人 (30%)
	居串佳一と オホーツクの 画家たち	12月14日 ～ 3月15日 (61日)	1,703人 (28人)	226人 (98%)	4人 (2%)	230人	103人 (74%)	36人 (26%)		139人	162人 (99%)	2人 (1%)		164人	330人 (95%)	19人 (5%)		349人	882人 (52%)	821人 (48%)
	計	4 回 (232日)	103,360人 (2,103人)	26,124人 (95%)	1,465人 (5%)	27,589人	18,011人 (74%)	674人 (3%)	5,784人 (23%)	24,469人	7,244人 (77%)	373人 (4%)	1,770人 (19%)	9,387人	3,447人 (31%)	144人 (1%)	7,681人 (68%)	11,272人	72,717人 (65%)	38,324人 (25%)
	合 計		142,086人 (2,270人)	26,779人 (95%)	1,520人 (5%)	28,299人	18,282人 (74%)	756人 (3%)	5,784人 (23%)	24,822人	7,244人 (77%)	373人 (4%)	1,770人 (19%)	9,387人	6,867人 (46%)	287人 (2%)	7,681人 (10%)	14,835人	77,343人 (52%)	72,424人 (48%)

令和 2 年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=F+G (1日あたり)	個 人				団 体/前 売/リピーター/相 互				優 待 割 引				共 通 券			有料入館者計 F=B+C+D+E (/A)	無料招待免除 G (/A)
				一 般 (/B)	高大生 (/B)	小中生 (/B)	計 B	一 般 (/C)	高大生 (/C)	小中生 (/C)	計 C	一 般 (/D)	高大生 (/D)	小中生 (/D)	計 D	一 般 (/E)	高大生 (/E)	計 E		
コレクション・ギャラリー		4月25日 ～ 3月21日 (251日)	19,219人 (77人)	2,211人 (93%)	159人 (7%)		2,370人	140人 (50%)	142人 (50%)		282人					2,117人 (95%)	114人 (5%)	2,231人	4,883人 (25%)	14,336人 (75%)
特 別 展	アートの翼ひろげて	4月25～ 6月24日 (26日)日	677人 (26人)	89人 (99%)	1人 (1%)		90人	76人 (64%)	5人 (4%)	37人 (31%)	118人	22人 (96%)	1人 (4%)		23人	127人 (94%)	8人 (6%)	135人	366人 (54%)	311人 (46%)
	中島潔展	7月4日 ～ 9月6日 (76日)	3,219人 (42人)	559人 (98%)	13人 (2%)		572人	190人 (50%)	26人 (7%)	165人 (43%)	381人	352人 (99%)	3人 (1%)		355人	519人 (95%)	26人 (5%)	545人	1,853人 (58%)	1,366人 (42%)
	蟻川実花展	9月19日 ～ 12月6日 (75日)	29,241人 (390人)	9,786人 (97%)	255人 (3%)		10,041人	7,165人 (99%)	78人 (1%)		7,243人	1,916人 (98%)	49人 (2%)		1,965人	1,072人 (96%)	44人 (4%)	1,116人	20,365人 (70%)	8,876人 (30%)
	池田緑展	12月19日 ～ 3月21日 (74日)	2,436人 (33人)	299人 (92%)	25人 (8%)		324人	173人 (72%)	68人 (28%)		241人	171人 (98%)	3人 (2%)		174人	399人 (92%)	37人 (8%)	436人	1,175人 (48%)	1,261人 (52%)
	計	4回 (251日)	35,573人 (491人)	10,733人 (97%)	294人 (3%)	0人 (0%)	11,027人	7,604人 (95%)	177人 (2%)	202人 (3%)	7,983人	2,461人 (98%)	56人 (2%)	0人 (0%)	2,517人	2,117人 (95%)	115人 (5%)	2,232人	23,759人 (67%)	11,814人 (33%)
合 計			54,792人 (568人)	12,944人 (97%)	453人 (3%)	0人 (0%)	13,397人	7,744人 (94%)	319人 (4%)	202人 (2%)	8,265人	2,461人 (98%)	56人 (2%)	0人 (0%)	2,517人	4,234人 (95%)	229人 (5%)	4,463人	28,642人 (52%)	26,150人 (48%)

